

## 12月9日常任委員会要求資料

- 1 開国博 Y150 の事業を発案した経緯
- 2 150 周年協会の出えん金・職員数・役員名簿・協賛社数・賛助会員数
- 3 市民等が参加あるいは関わった 150 周年記念事業の主な事業一覧
- 4 開国博 Y150 の開催後も含めた社会的貢献
- 5 今回の追加の補助金の公益性の考え方
- 6 政令指定都市のイベントで同様の事例
- 7 博報堂 JV の今回確認された債権額の詳細な内訳
- 8 アサツーディ・ケイ、TSP 太陽の今回確認された債権額の詳細な内訳
- 9 債務超過の増理由である追加イベントの経費一覧
- 10 横浜市が参加した調停の市の内部での報告書
- 11 協会が減額を求めた要因
- 12 平成 19 年度から平成 22 年度までの協会の収支



## 開国博 Y150 の事業を発案した経緯

開国博 Y150 について、事業の発案から実施運営までの経過を以下にとりまとめました。  
(P 4 参考 1-1)

### 1 本市の取組

#### (1) 開港 150 周年に向けた横浜市の体制・・・(P 5 参考 1-2)

- ・ 平成 16 年 6 月 関係局によるプロジェクトチーム設置
- ・ 平成 17 年 4 月 横浜プロモーション推進事業本部に担当課長設置
- ・ 平成 17 年 7 月 庁内組織「横浜開港 150 周年記念事業推進会議」設置
- ・ 平成 18 年 4 月 開港 150 周年・創造都市事業本部 設置
- ・ 平成 20 年 7 月 推進会議を改組し「開港 150 周年記念事業推進本部」設置

#### (2) 横浜市における取組・・・(P 6 参考 1-3)

- ・ 平成 17 年 6 月 「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本ビジョン」策定  
\* 「記念イベントのイメージ像」
- ・ 平成 18 年 6 月 「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本計画」策定  
\* 「ベイサイドステージ」「ヒルサイドステージ」の 2 箇所で展開
- ・ 平成 18 年 12 月 「横浜市中期計画」発表  
\* 重点事業「横浜開港 150 周年記念式典及び記念イベント」
- ・ 平成 19 年 5 月 「横浜開港 150 周年記念事業コアイベント実施計画」策定

#### (3) 市会の取組（開港 150 周年事業推進特別委員会の設置）

- ・ 平成 17 年度 委員会 3 回、視察 2 回
- ・ 平成 18 年度 委員会 3 回、視察 2 回
- ・ 平成 19 年度 委員会 2 回、視察 2 回
- ・ 平成 20 年度 委員会 2 回、視察 2 回
- ・ 平成 21 年度 委員会 2 回、視察 2 回

### 2 財団法人横浜開港 150 周年協会の設立・・・(P 8 参考 1-4)

- ・ 平成 15 年 11 月 「近代日本開国・横浜開港 150 周年記念事業推進協議会」設立
- ・ 平成 18 年 4 月 「横浜開港 150 周年推進協議会」設立
- ・ 平成 19 年 2 月 「財団法人横浜開港 150 周年協会」設立

### 3 財団法人横浜開港 150 周年協会における取組

#### (1) 記念テーマイベント「開国・開港 Y150」実施設計策定

- ・ 平成 19 年 7 月 実施設計・制作運営事業者を選定
- ・ 平成 19 年 10 月 記念テーマイベント概要発表
- ・ 平成 20 年 3 月 「ベイサイドエリア・ヒルサイドエリア」実施設計策定
- ・ 平成 20 年 5 月 「メインコンテンツ決定」発表

#### (2) 開国博 Y150 の開幕準備

- ・ 平成 19 年 10 月 協賛金獲得に向けた「事業説明会」開催
- ・ 平成 20 年 6 月 第 1 期前売入場券販売開始

#### (3) 開国博 Y150 の開催

- ア 平成 21 年 4 月 ベイサイドエリア開幕(4 月 28 日～9 月 27 日 153 日間)
- イ 平成 21 年 7 月 ヒルサイドエリア開幕(7 月 7 日～9 月 27 日[日] 86 日間)

### 4 協会への補助金交付・・・(P 9 参考 1-5)

(参考1-1) 開国博 Y150 開催までの経緯一覧

	横浜市	市会	協会
H15.1			・「近代日本開国・横浜開港150周年記念事業推進協議会」設立
H16.6	・関係局によるプロジェクトチーム設置		
H17.4	・横浜プロモーション事業本部に担当課長設置		
H17.6	・「基本ビジョン」策定	・「特別委員会」開催	
H17.7	・庁内組織「横浜開港150周年記念事業推進会議」設置		
H17.9		・「特別委員会」開催	
H18.1		・「特別委員会」開催	
H18.4	・開港150周年・創造都市事業本部設置		・「横浜開港150周年記念推進協議会」設立
H18.5		・「特別委員会」開催	
H18.6	・「基本計画」策定		
H18.7		・「特別委員会」開催	
H18.12	・「横浜市中期計画」発表	・「特別委員会」開催	
H19.2			・「財団法人横浜開港150周年協会」設立
H19.5	・「実施計画」策定		
H19.6		・「特別委員会」開催	
H19.7			・実施設計・政策運営事業者を選定
H19.10			・記念テーマイベント概要発表 ・協賛金獲得に向けた「事業説明会」開催
H20.1		・「特別委員会」開催	
H20.3			・「ベイサイドエリア」「ヒルサイドエリア」実施設計策定
H20.5		・「特別委員会」開催	・「メインコンテンツ決定」発表
			・第1期前売入場券販売開始
H20.7	・推進会議を改組し「開港150周年記念事業推進本部」設置	・「特別委員会」開催	
H21.4		・「特別委員会」開催	・「ベイサイドエリア」開幕
H21.5		・「特別委員会」開催	
H21.7			・「ヒルサイドエリア」開幕
H21.9			・「ベイサイドエリア」「ヒルサイドエリア」閉幕

## (参考1-2) 開港150周年に向けた横浜市の体制

### 【キックオフ】

- ・ 横浜プロモーション推進事業本部（当時）で開港150周年に向けた準備を行うことを決定。
- ・ 平成16年6月2日、関係局の課長・係長によるプロジェクトチームを作り、開港150周年記念事業に向けたスタートを切る。

### 【専任組織の設置】

- ・ 平成17年4月1日、「開港150周年に向け、総合戦略の構築やイベントの開催支援のため」横浜プロモーション推進事業本部に開港150周年担当課長を置き、「横浜開港150周年～市政120周年～基本ビジョン」の策定に取り組んだ。
- ・ 平成18年4月、横浜プロモーション推進事業本部と文化芸術都市創造事業本部を改組し、「開港150周年・創造都市事業本部」を設置。
- ・ この組織で、「横浜開港150周年～市政120周年～基本計画」を策定し、横浜開港150周年推進協議会と連携しながら、「横浜開港150周年記念事業コアイベント実施計画」を策定。
- ・ また、地元経済界など民間と行政が一体となった財団法人横浜開港150周年協会の設立支援を行ってきた。

### 【庁内組織の確立】

- ・ 平成17年7月8日、「民が主役の開港150周年記念事業」を推進するとともに、それを契機に「チャンスあふれるまち横浜」の実現を図るため、開港150周年に関わる主要な方針の策定や庁内調整を行うことを目的とした「横浜開港150周年記念事業推進会議設置要綱」を制定。
- ・ 同日、市長を議長とし、全局区事業本部長をメンバーとする第1回「開港150周年記念事業推進会議」を開催。効率的な事業の推進に必要な調整を行うため、関係部長で構成する「支援会議」と関係課長・係長からなる2つの部会（関連戦略事業検討部会、盛り上がり創出部会）を設置。
- ・ 平成20年2月7日、開港150周年記念事業実施にあたり、各区局事業本部間の調整が必要な緊急的な課題を解決するために、2つのワーキングチーム（マザーポート事業調整、地域盛り上げ推進）を設置。
- ・ 平成20年7月18日、全庁的に開港150周年記念事業を推進する体制を強化するため、「開港150周年記念事業推進会議」を改組し、副市長を本部長とする「開港150周年記念事業推進本部」を設置。
- ・ この組織に、区局事業本部を横断して対応しなければならない具体的な課題に対応するため、新たに5つの部会（マザーポート事業推進、危機管理、交通対策、接遇・儀典、開港150周年記念式典）を設置。

(参考1-3) 横浜市における取組

【「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本ビジョン」】

- 平成 17 年 6 月 2 日に、平成 21 年に迎える横浜開港 150 周年における記念事業の取組指針となる「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本ビジョン」を公表。

《基本ビジョンの基本理念》

横浜開港 150 周年を契機に、港や先人たちが果たしてきた役割について改めて評価するとともに、「横浜ならではのフロンティア・スピリッツ」など、これまで培ってきた独創性や進取性といった、横浜の誇れるものを、改めて今日の横浜の様々な面に活かすことにより、次世代の横浜が、夢や希望を持てる、そしてチャンスあふれるまちであるための礎を築くということ、この節目となる記念すべき年を、365 万市民全体で盛大に祝福するとともに、これに共感する多くの市内外の人々にも一緒に祝っていただくこと、とした。

このような観点から、開港 150 周年を、5 つの契機としてとらえ、これらの実現をとおして、「チャンスあふれるまち横浜」を創造することをめざすとした。

〔5 つの契機（目標）〕

- ① 港と先人の業績への感謝及び賞賛の契機
  - ② 市民であることの一体感を醸成する契機
  - ③ 次世代の横浜が夢や希望にあふれるまちであるための礎をつくり、再発展を図る契機
  - ④ 「横浜らしさ・ならでは」へのこだわりと創造の契機
  - ⑤ 集客力を高める絶好の契機
- 開港 150 周年記念事業のイメージ像として、「記念イベント」、「民の自主企画事業」、「横浜市の関連戦略事業」の 3 つの枠組みで構成され、「民が主役の開港 150 周年記念事業」を基本的な考え方として、各事業の具体化に向け取り組んでいくこととした。

この中で、「記念イベント」のイメージ像として、

- ① 「来場者が港や船に楽しめるイベント」
- ② 「横浜発祥の出来事・モノにまつわるイベント」
- ③ 「日本初・世界初など国内外からの注目度が高いイベント」
- ④ 「来場者が自由に参加して楽しむことができるイベント」

という 4 つを示した。

【「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本計画」】

- 平成 18 年 6 月 2 日に、「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本ビジョン」の具体化を図る目的で、「横浜開港 150 周年～市政 120 周年～基本計画」を公表。
- 基本計画では、開港 150 周年事業を、「横浜の新たな顔づくり・まちづくり推進プロジェクト」、「市民力・地域力発揮プロジェクト」、「次世代育成・人材育成プロジェクト」、「横浜開港“ハッピーバースデー”プロジェクト」の 4 つのプロジェクトとして推進していくことを示した。

- ・ この中で、開港 150 周年記念イベントは、開港 150 周年記念式典とともに、祝祭として「横浜開港“ハッピーバースデー”プロジェクト」を構成する事業として位置づけられ、『ベイサイドステージ』と『ヒルサイドステージ』の 2 箇所で開催することを初めて示した。
- ① 『ベイサイドステージ』では、みなとみらい地区・日本大通り・大さん橋・象の鼻地区・山下公園などの臨港エリアで、「港」と「歴史」をテーマに 2009 年の 4 月から 9 月にかけて開催することを、
- ② 『ヒルサイドステージ』では、ズーラシア未整備地区で、「自然・環境」、「地域」、「共生」、「市民との協働による制作・運営」をテーマに平成 21 年 6 月から 8 月にかけて開催することを示した。
- ・ その後、平成 18 年 9 月 6 日に、開港 150 周年記念式典及び開港 150 周年記念イベントのプロデューサーを記者発表し、開港 150 周年記念式典のプロデューサーが宮本亜門氏、ベイサイドステージが日比野克彦氏、ヒルサイドステージが小川巧記氏に決定。

### 【「横浜市中期計画」重点事業「横浜開港 150 周年記念式典及び記念イベント」】

- ・ 平成 18 年 12 月に発行された「横浜市中期計画」の重点事業として、開港 150 周年を、横浜の歴史や先人の業績を知る機会にするとともに、「チャンスあふれるまち」の創造に向けて動き出している横浜を発信するため、記念式典並びに記念イベントを開催し、市民とともに祝うことを掲載。

### 【「横浜開港 150 周年記念事業コアイベント実施計画」】

- ・ 平成 19 年 5 月 22 日に、基本計画で示した開港 150 周年記念イベントの開催概要を具体化するため、「横浜開港 150 周年記念事業コアイベント実施計画」を公表。
- ・ この計画では、基本ビジョンに謳われた「5 つの契機」を開催の趣旨とし、コミュニケーションの目標は、『来場者が魅力と活力にあふれる「チャンスあふれるまち 横浜」を感じる』とし、全体テーマは「出航」とした。  
実施概要と基本目標は次のとおり。
- ①事業名称：横浜開港 150 周年記念コアイベント
- ②会 期：平成 21 年 5 月 1 日～9 月 27 日 150 日間
- ③会 場：[テーマステージ] みなとみらい 21 新港地区 8 街区  
[ベイサイドステージ] パシフィコ横浜展示ホール、赤レンガ倉庫イベント広場、大さん橋ホール  
[ヒルサイドステージ] 横浜動物園の森公園(ズーラシア未整備地区)
- ④主 催：財団法人横浜開港 150 周年協会・横浜市
- ⑤集客目標：500 万人以上 (関連イベント含む)
- ・ この実施計画については、基本計画で示された 150 周年記念イベントの開催概要を具体化するため、横浜市が「横浜開港 150 周年記念事業コアイベント実施計画」を策定する事業者をプロポーザル方式で公募し、ベイサイドステージは㈱博報堂 JV、ヒルサイドステージは㈱アサツー ディ・ケイが受託。

(参考 1 - 4) 財団法人横浜開港 150 周年協会の設立

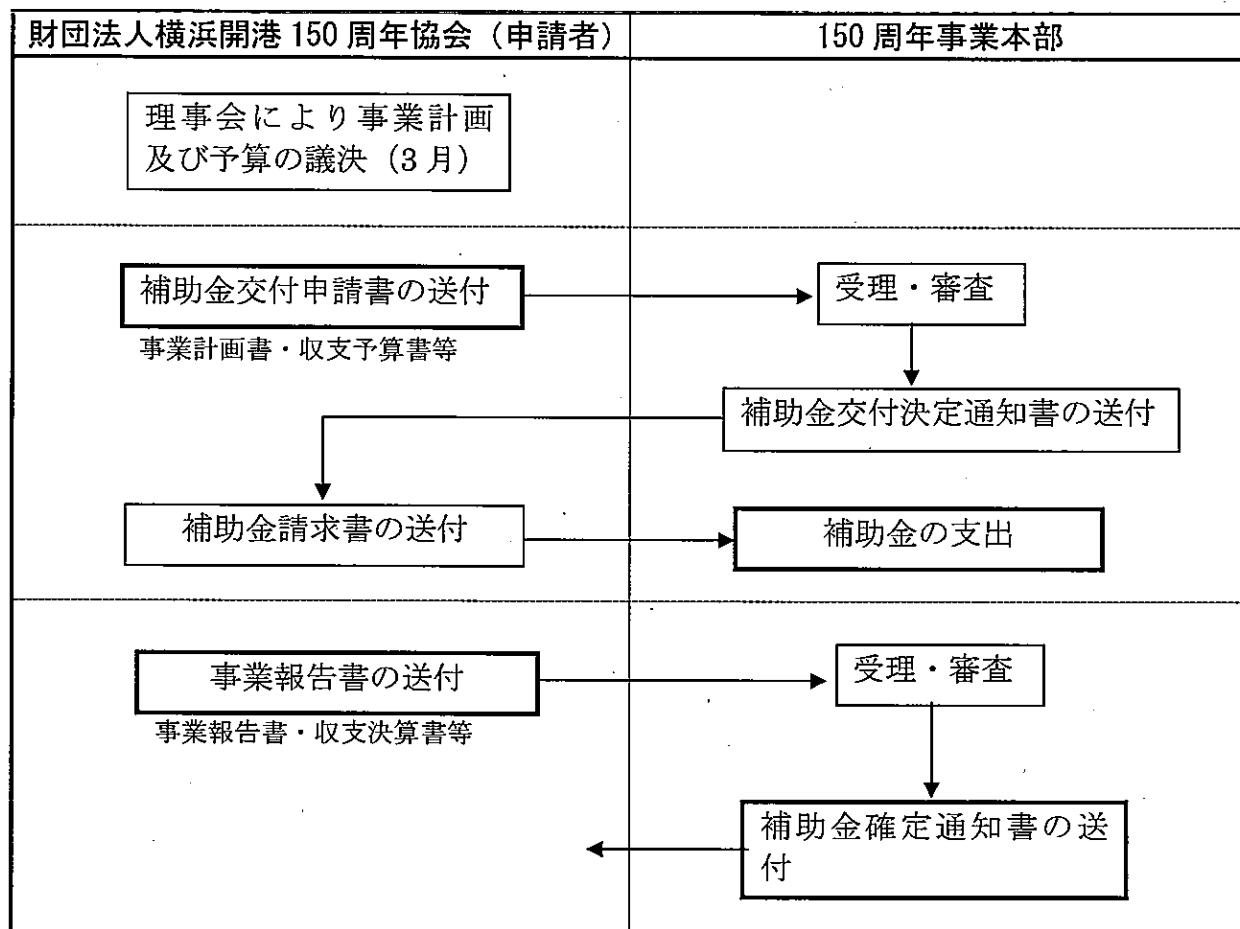
- ・ 開港 150 周年記念イベントを実施する主体については、横浜市と横浜商工会議所が協議し、
- ・ 平成 15 年 11 月 20 日、横浜商工会議所内に「近代日本開国・横浜開港 150 周年記念事業推進協議会」が設立。
- ・ 平成 18 年 4 月 28 日、この組織の再編・強化を図った「横浜開港 150 周年推進協議会」が設立。
- ・ 平成 19 年 2 月 27 日、この組織を母体とした公益法人として、『財団法人横浜開港 150 周年協会』が設立。この際、横浜市では、官民一体となって開港 150 周年記念事業を成功させるため、基本財産の出えん、事業費の補助、職員の派遣協力を行っていくこととした。
- ・ 設立の目的は、「横浜開港 150 周年（2009 年）を迎えるに当たり、横浜開港 150 周年記念に関する事業を実施し、及び支援することにより、神奈川県内市町村、開国 5 か国、開港 5 都市等との国際交流及び地域交流を深め、これまでの先人たちが積み上げてきた実績等を引き継ぐことで次世代の子どもたちを育成するとともに、観光施策を積極的に推進し、もって国際交流の促進及び地域の活性化に寄与することを目的とする」とし、市民・企業・行政が連携して記念事業を進めていくこととした。



(参考1-5) 協会への補助金交付

■ しくみ

- ・ 開国博 Y150 の事業費全体については、19年12月4日の執行会議において決定。



■ 経過

[単位：円]

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	計
補助金	806,515,000	4,122,167,000	3,267,318,000	8,196,000,000



## 150 周年協会の出えん金・職員数・役員名簿・ 協賛社数・賛助会員数

財団法人横浜開港 150 周年協会（以下「協会」という。）設立の目的は、「横浜開港 150 周年（2009 年）を迎えるに当たり、横浜開港 150 周年記念に関する事業を実施し、及び支援することにより、神奈川県内市町村、開国 5 か国、開港 5 都市等との国際交流及び地域交流を深め、これまでの先人たちが積み上げてきた実績等を引き継ぐことで次世代の子どもたちを育成するとともに、観光施策を積極的に推進し、もって国際交流の促進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。」とし、市民・企業・行政が連携して推進していくこととしました。

### 1 出えん金

横浜市、神奈川県、横浜商工会議所、市内の経済界から、以下のとおり出えん金をいただきました。

出えん団体名		出えん金
1	横浜市	1 0 0 0 万円
2	神奈川県	2 0 0 万円
3	横浜商工会議所	8 0 0 万円
4	(株)横浜銀行	3 0 0 万円
5	横浜信用金庫	3 0 0 万円
6	東京電力(株)神奈川支店	1 0 0 万円
7	東京ガス(株)神奈川支社	1 0 0 万円
8	東日本電信電話(株)神奈川支店	1 0 0 万円
9	みなとみらい二十一熱供給(株)	1 0 0 万円
10	横浜みなとみらい 2 1 (株)	2 0 0 万円
計		3 2 0 0 万円

## 2 役員名簿

協会の理事や評議員にご就任いただいている方の構成は、以下のとおりです。

- ・ 市内各界：港湾・経済・貿易・観光・交通・医療・社会福祉・地域等の団体等から 39名
- ・ 公的機関：国6名、横浜市2名（神奈川県はH22.3.31まで1名就任）
- ・ 個人：3名（公認会計士、弁護士、税理士）

### 役員名簿（理事・監事）

	役職員	氏名	職業
1	理事(会長)	佐々木 謙二	横浜商工会議所会頭
2	理事(副会長)	藤木 幸夫	横浜港運協会会長
3	理事(副会長)	小松崎 隆	横浜市副市長
4	専務理事	小野 耕一	
5	常務理事	倉田 好明	
以下 理事(アイウエオ順)			
6	理事	秋山 和美	横浜税関長
7	理事	石渡 恒夫	社団法人神奈川経済同友会代表幹事
8	理事	井上 隆	横浜商工会議所副会頭
9	理事	岡野 誠一	社団法人横浜市商店街総連合会会長
10	理事	岡本 坦	社団法人横浜港振興協会会長
11	理事	小川 是	社団法人横浜銀行協会会長
12	理事	小此木 歌藏	神奈川倉庫協会会長
13	理事	金田 孝之	財団法人横浜港埠頭公社理事長
14	理事	川本 守彦	財団法人横浜市青少年育成協会理事長
15	理事	菊地 弘訓	横浜船主会代表
16	理事	斎藤 文夫	社団法人神奈川県観光協会会長
17	理事	佐々木 寛志	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会会長
18	理事	高橋 忠生	社団法人神奈川県経営者協会会長
19	理事	成田 憲一	財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー 専務理事
20	理事	西田 義博	社団法人横浜貿易協会会長
21	理事	山口 宏	財団法人横浜市体育協会会長
22	理事	横井 正巳	横浜市町内会連合会会長
23	理事	横尾 典克	社団法人横浜青年会議所理事長
24	監事	饗場 正彦	公認会計士
25	監事	早川 敦彦	社団法人神奈川県経営者協会理事

(平成22年12月9日時点)

評議員

	氏 名	職 業
1	市川 能 英	日本銀行横浜支店長
2	今井 三 男	横浜市医師会会長
3	高橋 幹	社団法人神奈川県バス協会会長
4	大塚 茂 夫	郵便局株式会社 南関東支社長
5	大野 清 一	社団法人神奈川県タクシー協会会長
6	上條 清 文	社団法人日本民営鉄道協会会長
7	神谷 光 信	財団法人神奈川産業振興センター会長
8	北山 齊	国土交通省関東地方整備局港湾空港部長
9	細谷 延	株式会社横浜国際平和会議場専務取締役
10	末岡 峰 雄	弁護士
11	高橋 和 也	横浜市 APEC・創造都市事業本部長
12	塚原 良 一	横浜商工会議所専務理事
13	筒井 康 之	社団法人神奈川県トラック協会会長
14	清田 健 司	社団法人日本旅行業協会関東支部神奈川県地区長
15	野島 透	横浜税関総務部長
16	橋本 繁	財団法人横浜市緑の協会理事長
17	長谷川 博	税理士
18	原 範 行	社団法人日本ホテル協会神静山梨支部支部代表
19	藤林 文 夫	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団理事
20	鞆田 周 一	財務省関東財務局横浜財務事務所長
21	森田 信 英	公益財団法人横浜市国際交流協会理事長
22	増田 仁	経済産業省関東経済産業局産業部長
23	屋代 昭 治	財団法人横浜企業経営支援財団理事長
24	矢野 和 義	国土交通省関東運輸局海事振興部長
25	横田 和 浩	社団法人神奈川県商工会議所連合会専務理事

(平成 22 年 12 月 9 日時点)

### 3 協会職員

横浜市、神奈川県、横浜商工会議所に加え、27 の民間企業・団体から職員を派遣していただき、開国博 Y150 の開幕時点では、77 名の組織となりました。

開国博 Y150 開幕時点での職員数

派遣元	派遣職員数 (人)
横浜市	23
神奈川県	2
横浜商工会議所	1
民間企業	26
市・県OB	11
嘱託	3
人材派遣	11
計	77

注) 派遣元民間企業名 (派遣の順番)

財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、株式会社高島屋、株式会社神奈川新聞社、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社テレビ神奈川、横浜エフエム放送株式会社、株式会社アール・エフ・ラジオ日本、相鉄ホールディングス株式会社、コカ・コーラセントラル ジャパン株式会社、京浜急行電鉄株式会社、株式会社アサツーディ・ケイ、株式会社横浜松坂屋、株式会社横浜銀行、株式会社 JTB 首都圏、株式会社博報堂、株式会社東急エージェンシー、東京急行電鉄株式会社、株式会社ファンケル、三菱地所株式会社、株式会社そごう、凸版印刷株式会社、TSP 太陽株式会社、株式会社京急アドエンタープライズ、株式会社コードファイブ、株式会社横浜アーティスト、株式会社相鉄エージェンシー、株式会社旭広告社、(27社)

(職員の給与は派遣元企業が負担)

[協会職員の推移]

	役員	県OB	市OB	市派遣	県派遣	企業派遣	嘱託員	人材派遣	計	
									増減数	総人員
	2		1	9	1	3	2	3	21	21
H19.4.1	・専務理事 市OB ・常務理事 横浜商工会議所		・事務局長	・部長1 ・課長4 ・係長4	・係長	・横浜商工会議所 ・コンベンションビューロー ・高島屋	・総務部(経理)1 ・広報部1	・総務部(事務)3		
H19.4.13				2					2	23
H19.4.16								1 ・企画調整部	1	24
H19.5.1						3 ・神奈川新聞社 ・近畿日本ツーリスト ・テレビ神奈川		1 ・総務部	4	28
H19.6.1						1 ・横浜エフエム			1	29
H19.7.1						3 ・ラジオ日本 ・相模鉄道 ・コカ・コーラセメントジャパン			3	32
H19.7.16						1 ・京浜急行電鉄			1	33
H19.9.1						1 ・アサソーディ・ケイ		1 ・市民参加事業部	2	35
H19.10.1		1 ・県警				4 ・松坂屋 ・横浜銀行 ・JTB首都圏 ・博報堂			5	40
H19.10.15						1 ・東急エージェンシー			1	41
H19.11.1						2 ・東急電鉄 ・ファンケル			2	43
H20.1.1				1 ・係長1					1	44
H20.2.1						1 ・三菱地所			1	45
H20.3.1						1 ・そごう			1	46
H20.3.4					1 ・県警				1	47
H20.4.1		1 ・県警	3 ・消防(課長) ・土木2(課長)	3 ・理事 ・部長 ・係長		1 ・凸版印刷		1 ・財団主催事業部	9	56
						▲1 ・横浜商工会議所	▲1 ・広報・宣伝部		▲2	54
H20.4.3								1 ・広報・宣伝部	1	55
H20.4.7								1 ・事業営業部	1	56
H20.4.14				2 ・職員					2	58
H20.6.1								1 (誘致部)	1	59
H20.7.1				1 ・課長1 ・係長1 ・係長-1				▲1 ・総務部		59

[協会職員の推移]

	役員	県OB	市OB	市派遣	県派遣	企業派遣	嘱託員	人材派遣	計	
									増減数	総人員
H20.7.11						▲ 1			▲ 1	58
						・松坂屋				
H20.10.1		1					2		3	61
		・県警					・市民参加事業部			
H20.10.20						1			1	62
						・TSP太陽				
H20.11.1						2			2	64
						・京急アト ・code five				
H21.1.1		1		5		3			9	73
		・県警		・課長1 ・係長4		・横浜アーチスト ・相鉄エージェンシー ・旭広告社	・県警OB			
H21.3.9								1	1	74
								・財団主催事業部		
H21.3.11								1	1	75
								・広報・宣伝部		
H21.4.1			2						2	77
			・土木(係長) ・土木(職員)							
H21.10.1		▲ 2		▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 3	▲ 9	68
		・県警2		・係長	・県警	・高島屋	・市民参加事業部	・総務部2 ・広報・宣伝部1		
H21.10.11						▲ 1			▲ 1	67
						・相鉄エージェンシー				
H21.11.1		▲ 1		▲ 14		▲ 9	▲ 1	▲ 2	▲ 27	40
		・県警		・部長1 ・課長3 ・係長8 ・職員2		・京急アト ・京浜急行電鉄 ・ラジオ日本 ・旭広告社 ・code five ・そごう ・東急エージェンシー ・近畿日本ツーリスト ・横浜アーチスト	・市民参加事業部			
H21.12.1						▲ 2			▲ 2	38
						・東急電鉄 ・博報堂(代理店)				
H22.1.1				▲ 1		▲ 9		▲ 1	▲ 11	27
				・課長1		・TSP太陽 ・神奈川新聞社 ・コカ・コーラセトル ジャパン ・三菱地所 ・横浜エフエム ・JTBB ・アサツーディ・ケイ ・テレビ神奈川 ・ファンケル	(誘致部)			
H22.2.1						▲ 1			▲ 1	26
						・横浜銀行				
H22.4.1			▲ 6	▲ 4	▲ 1	▲ 3	▲ 1	▲ 4	▲ 19	7
			・事務局長 ・消防(課長) ・土木2(課長) ・土木(係長) ・土木(職員)	・部長 ・課長 ・係長 ・職員	・係長	・コンパニオンビューロー ・凸版印刷 ・相模鉄道	・総務部(経理)	・総務部2 ・財団主催事業部2		

	役員	県OB	市OB	市派遣	県派遣	企業派遣	嘱託員	人材派遣	計
最新人数	2	1		3				1	7



#### 4 協賛社数

94社から目標20億円を上回る約23億円の協賛金をいただくことができました。

オフィシャル・パートナー（5億円以上の規模）（2件）	
日産自動車株式会社	
新日本石油株式会社	
オフィシャル・スポンサー（1億円～5億円未満規模）（6件）	
株式会社横浜銀行	
株式会社ファンケル	
日本発条株式会社	
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社	
日本ビクター株式会社	
株式会社スリーエフ	
スポンサー（1千万円～1億円未満規模）（32件）	
キリンビール株式会社	広友ホールディングス株式会社
株式会社ハンケイ	株式会社サカタのタネ
京急グループ	東京海上日動火災保険株式会社
東京急行電鉄株式会社	東日本高速道路株式会社
相鉄グループ	東日本電信電話株式会社
三菱地所株式会社	株式会社日立製作所
日本財団	富士通株式会社
アサヒビール株式会社	三井不動産株式会社
エバラ食品工業株式会社	横浜農業協同組合
株式会社ブリヂストン	上野グループ
高梨乳業株式会社	横浜エレベータ株式会社
株式会社 INAX	川本工業株式会社
株式会社テレビ神奈川	株式会社いけうち
横浜高速鉄道株式会社	学校法人東海大学
株式会社崎陽軒	能美防災株式会社
TSP 太陽株式会社	株式会社高島屋横浜店

サポーター (1千万円未満規模) (55件)	
杉山管工設備株式会社	社団法人横浜建設業協会
丸紅株式会社	株式会社Jストリーム
社団法人関東建設弘済会	日本光電南関東株式会社
独立行政法人海洋研究開発機構	都市拡業株式会社
中日本高速道路株式会社	トヨタ自動車株式会社
三菱電機株式会社	伊藤忠商事株式会社
山崎製パン株式会社	株式会社石垣・石垣メンテナンス株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行	ぴあ株式会社・凸版印刷株式会社共同事業体
三菱重工業株式会社	明治テック株式会社
株式会社オリテックス	学校法人都築第一学園横浜薬科大学
株式会社京三製作所	レンゴー株式会社
スプレーイング システムス ジャパン株式会社	神奈川中央交通株式会社
中越パルプ工業株式会社	独立行政法人都市再生機構
ピーロート・ジャパン株式会社	日揮株式会社
株式会社ありあけ	野村証券株式会社
富士フイルム株式会社	株式会社横浜スカイビル
株式会社シグマ映像	株式会社みずほ銀行
UCカード株式会社	HSBC サービスーズ・ジャパン・リミテッド
東京電力株式会社	株式会社ジェーシービー
アクセンチュア株式会社	小糸工業株式会社
株式会社そごう横浜店	首都高速道路株式会社
学校法人神奈川大学	横浜トヨペット株式会社
KDDI 株式会社	東洋インキ製造株式会社
電源開発株式会社	国際ロータリー第2590地区
東京ガス株式会社	公立大学法人横浜市立大学 倶進会
日本郵船株式会社	株式会社ジャパンビバレッジ
富士ゼロックス株式会社	
日本電気株式会社	
株式会社臨海セミナー	

(平成22年1月31日現在・敬称略)

## 5 賛助会員

記念事業を円滑に推進するため、事業運営に関わること支援、ご協力をいただく賛助会員制度が、「近代日本開国・横浜開港 150 周年記念事業推進協議会」時代の 2004（平成 16）年度に創設されています。

なお、毎年 1 回、賛助会員に対して、事業報告や意見交換を兼ねた「賛助会員の集い」を実施していました。

- ・ 募集対象者：企業・団体・個人
- ・ 年会費：1 口 30,000 円
- ・ 加入実績

年度	会員数	口数	会費合計
平成 16 年度	286	321	9,630,000
平成 17 年度	454	529	15,870,000
平成 18 年度	522	620	18,600,000
平成 19 年度	630	816	24,480,000
平成 20 年度	713	958	28,740,000
平成 21 年度	658	894	26,820,000
合計（延べ）	—	4,138	124,140,000

### 賛助会員数（50音順）

特別会員（10口会員）（9件）	賛助会員（3口会員）（11件）
あざみ野ローンテニスクラブ	株式会社江戸清
神奈川県土地家屋調査士会	京浜ビル管理株式会社
株式会社崎陽軒	郡リース株式会社横浜支店
京浜急行電鉄株式会社	生活協同組合コープかながわ
株式会社シグマ映像	株式会社大和地所
長田広告株式会社	高梨乳業株式会社
日産自動車株式会社	株式会社内藤ハウス横浜支店
株式会社文明堂	藤木企業株式会社
財団法人横浜港埠頭公社	富士通株式会社神奈川支社
	横濱山田の花火 株式会社ヤマダ
賛助会員（5口会員）（5件）	社団法人横浜サッカー協会
日総ブレイン株式会社	
株式会社パイオラックス	
原田 清朗	
株式会社横浜アリーナ	
横浜冷凍株式会社	

賛助会員（2口会員）（113件）	
株式会社アール・エフ・ラジオ日本	株式会社行政アド
株式会社アール・ティー・コーポレーション	ケイシス株式会社
あいおい損害保険株式会社	広友ホールディングス株式会社
財団法人アジア会館	株式会社小俣組
株式会社ありあけ	学校法人彩煌学園 湘南医療福祉専門学校
株式会社アルテ サロン ホールディングス	相模鉄道株式会社
アローヒューマンリソース株式会社	サクマフーズ株式会社
一幸電子工業株式会社	株式会社ジック
学校法人岩崎学園	株式会社シティコミュニケーションズ
ウインズラジャ	株式会社ジャパンエクスプレス
株式会社エコープ関東	首都高速道路株式会社 神奈川管理局
エバラ食品工業株式会社	株式会社情報科学研究所
株式会社エムズディーエス	新日石不動産株式会社
株式会社オーク	新横浜ステーション開発株式会社
岡部産業株式会社	生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
株式会社岡村製作所	清進電設株式会社
学校法人片柳学園	セイノーロジックス株式会社
神奈川県住宅供給公社	泉陽興業株式会社
社団法人神奈川県宅地建物取引業協会	株式会社そごう
財団法人神奈川県予防医学協会	株式会社ソディック
学校法人神奈川大学	第一船舶企業株式会社
神奈川中央交通株式会社	大和住販株式会社
神奈中観光株式会社	株式会社丹青社
川本工業株式会社	月島機械株式会社 横浜支店
株式会社かんぽ生命保険横浜支店	株式会社テイクフォー
北川商事株式会社	ディップ株式会社
キッズコーポレーション株式会社	株式会社東急エージェンシー
株式会社京三製作所	東急車輛製造株式会社

株式会社東急レールウェイサービス	三井リハウス湘南横浜株式会社
東京急行電鉄株式会社	株式会社ミックコーポレーション
株式会社トヨタレンタリース神奈川	三菱鉛筆株式会社
株式会社トヨタレンタリース横浜	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
日総工産株式会社	メタウォーター株式会社
日本警備株式会社	山形県高島町役場
日本通運株式会社 横浜支店	山田興産株式会社
日本発条株式会社	株式会社ゆうちょ銀行 横浜支店
株式会社日本航空 横浜営業支店	郵便事業株式会社 南関東支社
日本ヒルティ株式会社	ユニー株式会社
日本メックス株式会社	横浜ウィークリー株式会社
株式会社博報堂	株式会社横浜 NKB
パティスポーツ幼児園	横浜エフエム放送株式会社
株式会社ハマ企画	財団法人横浜企業経営支援財団（旧横浜産業振興公社）
有限会社万来舎	社団法人横浜銀行協会
東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	横浜市勤労者福祉共済
有限会社ビジネスデザイン	横浜市ケーブルテレビ協議会
株式会社一口坂スタジオ	株式会社横浜スカイビル
ファーンレス エンジニアリング株式会社	株式会社横浜スタジアム
株式会社フィールオブミュージック	横浜スリッター株式会社
藤沢国際特許事務所	株式会社横浜テレビ局
藤田観光株式会社 横浜ワシントンホテル	横浜パイロット組合
藤壺技研工業株式会社	横浜風船株式会社
富士貿易株式会社	株式会社横浜ベイスターズ
株式会社フューチャーネットワークス	リスト株式会社
株式会社芙蓉ビデオエージェンシー	株式会社リフコム 横浜支店
株式会社北斗商事	リムジンタクシー ジュン（旧 株式会社クワハラ）
松井板金資材株式会社	株式会社WOWOWコミュニケーションズ
株式会社みかんぐみ	

賛助会員（1口会員）（520件）	
株式会社アート宝飾	株式会社伊藤園
株式会社アーバン企画	稲垣薬品興業株式会社
株式会社IHI 横浜事業所	井上鋼材株式会社
株式会社アイネット	株式会社医療情報研究所
明るい横浜をつくる会	岩井の胡麻油株式会社
アクティオ株式会社	株式会社宇徳
浅井建設株式会社	梅沢企業株式会社
株式会社アサツー ディ・ケイ	株式会社永光通商
朝日オフセット印刷株式会社	株式会社エクスポート
旭興業株式会社	株式会社エコー
株式会社旭広告社	株式会社エス・エフ・シー
アサヒビール株式会社横浜支社	エスカル横浜（横浜海員会館）
有限会社旭屋	株式会社江田商会
アジア物性材料株式会社	株式会社エヌイーティーシー
あずさ監査法人	エヌ・ケイ・テクノ株式会社
吾妻印刷株式会社	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
アマノ株式会社	株式会社江ノ電バス横浜
荒木工業株式会社	江原運輸株式会社
株式会社アルテック	株式会社エバラ物流
アルファ工業株式会社	株式会社エルテックス
有限会社イイダ	塩水港精糖株式会社
池田機工株式会社	株式会社オウミ
株式会社石川組	株式会社大川印刷
石橋生絲株式会社	大川原化工機株式会社
株式会社石原商店	株式会社オーチャー
株式会社イスト	株式会社オーテック システム 事業部横浜支店
株式会社イズミ食品	株式会社オートパーク横浜
伊勢佐木町1・2丁目地区商店街 振興組合	奥津 勉事務所
株式会社伊勢隆	株式会社小此木
イツ・コミュニケーションズ 株式会社	株式会社オフサイド

株式会社オリテックス	株式会社川岸
株式会社オリマツ	かをり商事株式会社
株式会社 折目	関東学院大学
皆央運輸株式会社	関東港運株式会社
鶴盛工業株式会社	株式会社 KANTO モータースクール
株式会社勝烈庵	有限会社関内印刷
株式会社カナエル	企画・宣伝協同組合
株式会社神奈川銀行	北沢建設株式会社
社団法人神奈川経済同友会	株式会社キタムラ
財団法人神奈川芸術文化財団	株式会社北村回漕店
社団法人神奈川県経営者協会	木下商事株式会社
社団法人神奈川県商工会議所連合会	株式会社協栄エンタープライズ
社団法人神奈川県建設業協会横浜支部	株式会社共栄社
社団法人神奈川県タクシー協会 横浜支部	協電興産株式会社
社団法人神奈川県トラック協会	協同組合元町エスエス会
社団法人神奈川県バス協会	共同写真株式会社
株式会社神奈川新聞社	共立管財株式会社
神奈川倉庫協会	協和海運株式会社
神奈川ダイハツ販売株式会社	有限会社協和建築設計事務所
神奈川電機株式会社	協和合金株式会社
神奈川都市交通株式会社	共和電気工事株式会社
神奈川トヨタ自動車株式会社	キリンビール株式会社横浜統括支社
神奈川日産自動車株式会社	近畿日本ツーリスト株式会社横浜支店
株式会社神奈川フジカラー	工藤建設株式会社
株式会社神奈川毎日広告社	株式会社クラウドナイン
神奈川横浜ディスプレイ協同組合	株式会社グランツ
神奈川臨海鉄道株式会社	グレイスホテル株式会社
株式会社カナケン	株式会社グローバル横浜警備保障
株式会社金沢臨海サービス	株式会社京急アドエンタープライズ
株式会社上組横浜支店	株式会社京急百貨店
神谷コーポレーション株式会社	京急緑地開発株式会社
株式会社カーリーナ	KDDI 株式会社 南関東総支社
川合機工株式会社	株式会社ケイディエス

警備業横浜協同組合	相模運輸倉庫株式会社
ケイヒン株式会社	THE きもの学院 株式会社 エブリウェイ
京浜警備保障株式会社	株式会社サクライ
京濱港運株式会社	櫻井造園土木株式会社
京浜興産株式会社	サザンアミ・シャンソン・チャリティ ーコンサート実行委員会
京浜通商株式会社	サッポロビール株式会社 首都圏本部横浜統括支社
株式会社ケーエムミュージック	株式会社佐藤印刷所
港栄作業株式会社	沢建商株式会社
株式会社広伸社	株式会社サンオータス
株式会社光電社	三機工業株式会社横浜支店
港北ニュータウン中央商業振興会	山九株式会社 横浜支店
株式会社光和 横浜支店	株式会社山九海陸
株式会社コーケン	三共技研工業 株式会社
株式会社コーセツコンサルタント	株式会社産業貿易センター
コカ・コーラセントラルジャパン 株式会社	三協運輸株式会社
国際警備株式会社	サンケイリビング新聞社 横浜事業本部
株式会社国際興業	サントリー ビア&スピリッツ 株式会社 横浜支店
国際興産株式会社 PLUMM/HOTEL COSMO Y.	山王印刷株式会社
国際埠頭株式会社	山陽印刷株式会社
株式会社互省製作所	三洋ターミナルサービス株式会社
小杉益義税理士事務所	株式会社三洋マネージメント
学校法人 五大	株式会社サンリバティ横浜
株式会社コバ	株式会社シーエスワン
小林紙工株式会社	株式会社 CFS コーポレーション
株式会社サクラ	株式会社シーコム
株式会社サカタのタネ	株式会社ジェイ ワークス
有限会社さかなスタジオ	



株式会社ジェイエアイ コーポレーション	株式会社住友倉庫横浜支店
株式会社JTB首都圏 法人営業横浜支店	株式会社住吉工務店
株式会社システムクルー	株式会社スリーエフ
シティアクセス株式会社	駿台予備学校 あざみ野校
株式会社柴橋商会	駿台予備学校 横浜校
澁澤倉庫株式会社	株式会社清康社
澁澤陸運株式会社横浜ターミナル	成興トレーディング株式会社
株式会社島幸	税理士法人N
株式会社シマソービ	関野運輸株式会社
ジャパントータルサービス株式会社	株式会社センカ・コミュニケーションズ
ジャパン・バン・ラインズ株式会社	株式会社センチュリーアンドカンパニー
株式会社ジャパンビバレッジ	株式会社センチュリー工業
首都高トールサービス神奈川株式会社 (旧 ケイエス株式会社)	全日本空輸株式会社横浜支店
株式会社ショウエイ	相栄フーズ株式会社
湘南ホテルマネジメント株式会社	株式会社相鉄アーバンクリエイツ
昭和電工株式会社横浜事業所	相鉄アメニティライフ株式会社
白鳥運輸株式会社	相鉄ウィッシュ株式会社
新一開発興業株式会社	株式会社相鉄エージェンシー
新一商事株式会社	相鉄企業株式会社
株式会社新川電気	相鉄共済組合
株式会社 神自	相鉄建設株式会社
真生工業株式会社	相鉄興産株式会社
新日本石油精製株式会社	相鉄ゴルフ株式会社
新横浜プリンスホテル	相鉄自動車株式会社
鈴江コンテナ・トランスポート 株式会社	相鉄自動車工業株式会社
鈴木土木株式会社	相鉄ビジネスサービス株式会社
ステイト工業株式会社	株式会社相鉄ビルマネジメント
SPA EAS	相鉄フードサービス株式会社

相鉄不動産株式会社	株式会社たしろ薬品
相鉄不動産販売株式会社	株式会社タックス横浜
相鉄ホーム株式会社	株式会社谷川商店
相鉄ホテル株式会社	株式会社チェリーネットワーク
相鉄流通サービス株式会社	株式会社近澤レース店
相鉄ローゼン株式会社	千歳自動車工業株式会社
株式会社相販	株式会社中萬学院
株式会社ソシア21	株式会社銚子屋
株式会社損害保険ジャパン	株式会社つま正
株式会社ダイイチ	鶴見曹達株式会社
第一港運株式会社横浜支店	株式会社D-サイト
第一相美株式会社	帝蚕運輸株式会社
大栄交通株式会社	帝蚕倉庫株式会社
大黒倉庫株式会社	テクノロジー・リンク株式会社
大黒ふ頭連絡協議会	寺田倉庫株式会社
大成建設株式会社横浜支店	テルウェル東日本株式会社 首都圏南支店
有限会社大地産業	株式会社テレビ神奈川
大東タンクターミナル株式会社	電源開発株式会社 磯子火力発電所
株式会社大八	株式会社電通東日本横浜支社
ダイヤ食品サービス株式会社	東亜建設工業株式会社横浜支店
大洋建設株式会社	東亜鉄工株式会社
太陽油脂株式会社	株式会社東急アド・ コミュニケーションズ
株式会社高島テクノロジーセンター	東急ファシリティサービス株式会社
株式会社高島屋横浜店	株式会社東急モールズデベロップ メント 港北 TOKYU SC 店
高田工業株式会社	株式会社東京エンジニアリング
タカテック株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
タカノ株式会社	東京ガスエコモ株式会社
宝酒造株式会社首都圏支社横浜事務所	東京ガス横浜中央エネルギー株式会社 (旧 コムロ株式会社)
拓陵建設株式会社	東京国際埠頭株式会社
株式会社 竹田設計	東京電力株式会社西火力事業所

東港丸楽海運株式会社	日本交通管制技術株式会社
東神工芸株式会社	財団法人日本船員厚生協会 横浜国際船員センター (ナビオス横浜)
東邦電気株式会社	日本電技株式会社横浜支店
東洋埠頭株式会社 川崎支店	財団法人日本電信電話ユーザ協会 神奈川支部
東和化学株式会社	日本都市整備株式会社
株式会社トーソー	日本農産工業株式会社
凸版印刷株式会社横浜営業所	日本ビクター株式会社
株式会社トミ・管理サービス	日本埠頭倉庫株式会社
富島運輸株式会社	日本木槽木管株式会社
トヨタエルアンドエフ神奈川株式会社	株式会社日本旅行 横浜支店
トヨタ部品神奈川共販株式会社	株式会社根岸の旗や
トレーディア株式会社京浜支店	株式会社ネクスト・ワン
内外日東株式会社	株式会社ねずらむ
永佐化工株式会社	ネスレ日本株式会社
株式会社中西製作所	株式会社野毛印刷社
中丸産業運輸株式会社	野村證券株式会社横浜支店
株式会社なまためプリント	ハーゲンダッツジャパン株式会社
ニッコウ検査株式会社	ハクビ和紙ちぎり絵学院横浜教室
株式会社日興建設	長谷川博税理士事務所
日興テクノス株式会社	ハッスル株式会社
株式会社日産クリエイティブサービス	株式会社ぱど
株式会社 日新	株式会社はとバス
株式会社 日清	パナソニックモバイル コミュニケーションズ株式会社
ニッセイ同和損害保険株式会社 横浜統括支店	浜喜水産株式会社
新田管工株式会社	有限会社 濱進
日発運輸株式会社	早川運輸株式会社
株式会社ニッパツサービス	株式会社葉山ボンジュール
日宝工業株式会社	株式会社萬盛スズキ
株式会社ニフコ	株式会社バンテック
弁護士法人 仁平総合法律事務所	東山工業株式会社
日本海運株式会社	

日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア株式会社	松村運輸株式会社
株式会社日立製作所横浜支社	松村株式会社
株式会社日吉回漕店	松本徽章株式会社
ファミリー製菓株式会社	株式会社松本陽一設計事務所
株式会社フィールドライフ	丸池海運株式会社
フェアストーン株式会社	株式会社丸井マルイシティ横浜
学校法人フェリス女学院	丸五運輸株式会社
株式会社フォレストホーム	丸子電気工事株式会社
吹上サービス株式会社	丸全昭和運輸株式会社
株式会社福寿企画	マルチウ産業株式会社
藤木陸運株式会社	丸美工藝株式会社
富士シティオ株式会社	株式会社丸山
富士倉庫株式会社	株式会社三木組
株式会社富士通ワイエフシー	三沢電機株式会社
株式会社フジヤ東京本社	株式会社水信
株式会社二葉	三井倉庫株式会社 横浜支店
株式会社フランセ	三井埠頭株式会社
株式会社ブリヂストン 横浜工場	三邦産業株式会社
プリンス電機株式会社	三菱地所株式会社
株式会社ブルームーンマリーン	三菱重工業株式会社 横浜製作所
有限会社フルヤ工行社	三菱倉庫株式会社 横浜支店
株式会社ペッププランニング	三菱電機株式会社 神奈川支社
株式会社朋栄	三丸興業株式会社
株式会社ポートサービス	株式会社緑山スタジオ・シティ
株式会社ホテル、ニューグランド ホテルモントレ横浜	有限会社港屋上原酒店
株式会社保土ヶ谷技研	株式会社ミナミ
株式会社ホリハマ	南区商店街連合会
株式会社ホルテック (旧 横浜電工㈱)	株式会社美濃屋あられ製造本舗
株式会社ポンパドウル	宗教法人 妙蓮寺
本牧埠頭倉庫株式会社	村田 恒雄
株式会社松尾工務店	株式会社ムラヤマ 横浜支店
	株式会社村山商店

株式会社明治屋	株式会社横浜国際平和会議場
保田産業合資会社	横浜国際マリン エンターテイメントショー運営委員会
株式会社八楠	横浜市アイス・ソフトクリーム 衛生協会
山崎製パン株式会社 横浜第二工場	株式会社横浜シーサイドピア
株式会社ヤマタネ	社団法人横浜市医師会
株式会社ヤマハミュージック横浜	財団法人横浜市芸術文化振興財団
郵船ナブテック株式会社	横浜市建築設計協同組合
株式会社有隣堂	財団法人横浜市建築保全公社
株式会社豊商会	横浜市剣道連盟
株式会社ユニエックス横浜支店	財団法人横浜市国際交流協会
洋邦企業株式会社	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会
株式会社横浜アーチスト	社団法人横浜市商店街総連合会
横浜植木株式会社	横浜市場冷蔵株式会社
株式会社横浜エージェンシー	財団法人横浜市シルバー人材センター
株式会社横浜エクセルホテル東急	横浜市信用保証協会
株式会社横浜岡田屋	財団法人横浜市青少年育成協会
横浜川崎曳船株式会社	財団法人横浜市体育協会
横浜機工株式会社	横浜シティ・エア・ターミナル 株式会社
横浜共立倉庫株式会社	横浜シティ・マネジメント株式会社
横浜魚類株式会社	株式会社横浜シミズ
株式会社横浜グランド インターコンチネンタルホテル	財団法人横浜市緑の協会
横浜クルージングクラブ	株式会社横浜十番館
横浜ケーブルビジョン株式会社	学校法人横浜商科大学
株式会社横浜港国際流通センター	横浜商工株式会社
社団法人横浜港振興協会	横浜商船運輸株式会社
横浜高速鉄道株式会社	財団法人横浜市臨海環境保全事業団
横浜港ターミナルショップ会	横浜新港倉庫株式会社
横浜交通開発株式会社	横浜新都市交通株式会社
横浜港メガターミナル株式会社	横浜新都市センター株式会社
社団法人横浜港湾福利厚生協会	株式会社横浜ステーションビル

横浜石油株式会社	リコー販売株式会社 神奈川支社
横浜船主会	株式会社ルーツ
横浜ダイヤビルマネジメント株式会社	株式会社ルミネ横浜店
横浜道路標示株式会社	株式会社ロイヤルホール
横浜トヨペット株式会社	株式会社ローズホテルズ・インターナショナル
横浜熱供給株式会社	株式会社六面堂
株式会社横浜八景島	株式会社ワイ・エス・ピー
横浜ビジネスプロモーション株式会社	和英堂興産株式会社
横浜ビル建材株式会社	
株式会社横浜フリエスポーツクラブ	
株式会社横浜ベイホテル東急 (旧パンパシフィックホテル横浜)	
社団法人横浜貿易協会	
株式会社横浜貿易倉庫	
横浜貿易建物株式会社	
横浜マリノス株式会社	
横浜丸魚株式会社	
横浜丸中青果株式会社	
横浜油脂工業株式会社	
株式会社横浜リテラ	
株式会社横浜ロイヤルパークホテル	
吉川商事株式会社	
吉田興産株式会社	
株式会社吉野家神奈川営業部	
株式会社読売神奈川広告社	
株式会社読売PR	
寄神建設株式会社横浜営業所	
株式会社ヨロズ	
萬運輸株式会社	
萬産業株式会社	
株式会社ライトハウスリミテッド	
株式会社リーフ	

(平成21年11月30日現在・敬称略)

(参考)

財団法人横浜開港150周年協会寄附行為

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、財団法人横浜開港150周年協会という。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を神奈川県横浜市中区新港一丁目6番地に置く。

(目的)

第3条 この法人は、横浜開港150周年(2009年)を迎えるに当たり、横浜開港150周年記念に関する事業を実施し、及び支援することにより、神奈川県内市町村、開国5カ国、開港5都市等との国際交流及び地域交流を深め、これまでの先人たちが積み上げてきた実績等を引き継ぐことで次世代の子どもたちを育成するとともに、観光施策を積極的に推進し、もって国際交流の促進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 横浜開港150周年に関する記念事業
- (2) 横浜開港150周年に関する広報宣伝事業
- (3) その他目的を達成するために必要な事業

第2章 資産、事業計画等

(資産の構成)

第5条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 資産から生ずる収入
- (3) 補助金
- (4) 寄附金品
- (5) 賛助会費
- (6) 事業に伴う収入
- (7) その他の収入

(資産の種別)

第6条 資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立の際基本財産として指定された財産
  - (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
  - (3) 理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産
- 3 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(基本財産の処分の制限)

第7条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において、理事の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経、かつ、神奈川県知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(資産の管理)

第8条 資産は、会長が管理し、その方法は、会長が理事会の議決を経て定める。

- 2 基本財産のうち、現金は、確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、又は国債、公債その他確実な有価証券に替えて、保管しなければならない。

(経費の支弁)

第9条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(会計年度)

第10条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第11条 この法人の事業計画及び収支予算は、毎会計年度ごとに会長が作成し、その年度開始の日の7日前までに理事会の承認を得なければならない。これらを変更する場合も同様とする。

(事業報告及び収支決算)

第12条 この法人の事業報告及び収支決算は、毎会計年度ごとに会長が事業概要報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等として作成し、監事の監査を経て、その年度終了後3箇月以内に理事会の承認及び評議員会の同意を得なければならない。

(長期借入金)

第13条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その会計年度の収



入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事の3分の2以上の議決を経、かつ、神奈川県知事の承認を得なければならない。

(義務の負担及び権利放棄)

第14条 第7条ただし書及び前条に該当する場合並びに収支予算で定めるものを除き、この法人が新たに義務を負担し、又は権利を放棄しようとするときは、理事会において理事の3分の2以上の議決を経、かつ、神奈川県知事の承認を得なければならない。

### 第3章 役員及び職員

(役員の種類)

第15条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 専務理事 1人
- (4) 常務理事 1人以上3人以内
- (5) 理事(会長、副会長、専務理事及び常務理事を含む。) 20人以上25人以内
- (6) 監事 2人

(役員を選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会において選任する。

- 2 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事の互選により定める。
- 3 理事及び監事は、これを兼ねることができない。

(役員職務)

第17条 会長は、この法人を代表し、その業務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐してこの法人の業務を掌理し、会長があらかじめ理事会の議決を経て定めた順序により、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。
- 3 専務理事は、会長及び副会長を補佐してこの法人の常務を掌理し、会長及び副会長に事故があるときはその職務を代理し、会長及び副会長が欠けたときはその職務を行う。
- 4 常務理事は、会長、副会長及び専務理事を補佐し、この法人の常務を分掌する。
- 5 理事は、理事会を構成し、この法人の業務の執行を決定する。
- 6 監事は、民法第59条の職務を行う。

(役員任期)

第18条 役員任期は、2年とする。ただし、補欠として選任された役員任期は前任者の残任期間とし、増員により選任された役員任期は現任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、辞任し、又は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員解任)

第19条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会及び評議員会において、理事及び評議員のそれぞれ3分の2以上の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。
- 2 前項の規定により役員を解任しようとするときは、解任の議決を行う理事会及び評議員会において、その役員に弁明の機会を与えなければならない。

(役員報酬等)

第20条 役員は無給とする。ただし、常勤の役員は有給とすることができる。

- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が定める。

(事務局)

第21条 この法人の事務を処理するために、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長その他所要の職員を置く。
- 3 事務局長その他の職員は、会長が任免する。
- 4 事務局及び職員に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が定める。

第4章 名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与

(名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与)

第22条 この法人に名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 名誉会長は、理事会の議決を経て、会長が委嘱する。
- 3 名誉顧問、顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 4 前2項に定めるもののほか、名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が定める。

## 第5章 理事会

### (理事会の構成)

第23条 理事会は、理事をもって構成する。

2 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

### (理事会の権能)

第24条 理事会は、この寄附行為に別に定めるもののほか、この法人の運営に関し、重要な事項を議決する。

### (理事会の開催及び招集)

第25条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 通常理事会は、毎年2回開催する。

3 臨時理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 会長が必要と認めたとき。

(2) 理事の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。

(3) 監事から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。

4 理事会は、会長が招集する。

5 理事会を招集するには、理事に対し、会議の目的とする事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の日の7日前までに文書をもって通知しなければならない。

6 会長は、第3項第2号又は第3号の規定による請求があった場合には、請求の日から30日以内に理事会を招集しなければならない。

### (理事会の議長)

第26条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

### (理事会の定足数及び議決)

第27条 理事会は、理事の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

2 理事会の議事は、この寄附行為に別に定めるもののほか、出席した理事の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (理事会における書面表決)

第28条 やむを得ない理由のため、理事会に出席することができない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において、前条の規定の適用については、出席した理事とみなす。

(理事会の議事録)

第29条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 理事会の日時及び場所
  - (2) 理事の現在数
  - (3) 出席した理事の氏名（書面表決者の場合にあっては、その旨を付記すること。）
  - (4) 議決事項
  - (5) 議事の経過の概要及びその結果
  - (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長のほか、出席した理事のうちからその理事会において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第30条 この法人に、評議員を置く。

- 2 評議員は、理事会において選任し、その数は25人以上30人以内とする。
- 3 評議員は、理事又は監事を兼ねることができない。
- 4 評議員には、第18条から第20条までの規定を準用する。この場合において、これらの規定中「役員」とあるのは、「評議員」と読み替えるものとする。

(評議員会の構成及び権能)

第31条 評議員会は、評議員をもって構成する。

- 2 評議員会は、この寄附行為に別に定めるもののほか、この法人の業務の執行に関する重要な事項につき会長の諮問に応じて調査審議し、その結果を報告し、又は意見を建議することができる。

(評議員会の開催及び招集)

第32条 評議員会は、会長が必要と認めたとき、又は評議員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったときに開催する。

- 2 評議員会は、会長が招集する。
- 3 評議員会を招集するには、評議員に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の日の7日前までに文書をもって通知しなければならない。
- 4 会長は、第1項の規定による評議員からの請求があった場合には、請求の日から30日以内に評議員会を招集しなければならない。

(評議員会の議長)

第33条 評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員のうちから選任する。

(評議員会の定足数及び議決)

第34条 評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開会することができない。

2 評議員会の議事は、この寄附行為に別に定めるもののほか、出席した評議員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(評議員会における書面表決)

第35条 やむを得ない理由のため、評議員会に出席することができない評議員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において前条の規定の適用については、出席した評議員とみなす。

(評議員会の議事録)

第36条 第29条の規定は、評議員会の議事録に準用する。この場合において、同条中「理事会」とあるのは「評議員会」と、「理事」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

## 第7章 賛助会員

(賛助会員)

第37条 この法人の目的に賛同し、その事業を援助しようとする個人、法人又は団体を賛助会員とすることができる。

2 賛助会員は、理事会の定めるところにより、賛助会費を納入しなければならない。

3 前2項に定めるもののほか、賛助会員に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が定める。

## 第8章 委員会

(委員会)

第38条 会長は、専門事項を調査審議するため、理事会の議決を経て、委員会を置くことができる。

2 委員会に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が定める。

## 第9章 寄附行為の変更及び解散

### (寄附行為の変更)

第39条 この寄附行為は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事及び評議員の3分の2以上の議決を経、かつ、神奈川県知事の認可を得なければ変更することができない。

### (解散及び残余財産の処分)

第40条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会及び評議員会において、それぞれ理事及び評議員の3分の2以上の議決を経、かつ、神奈川県知事の承認があったときは解散する。

2 解散のときに存する残余財産は、理事会及び評議員会の議決を経、かつ、神奈川県知事の承認を得て、この法人と類似の目的を持つ法人又は団体に寄附する。

## 第10章 雑則

### (委任)

第41条 この寄附行為の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て会長が定める。

### 附 則

- 1 この法人の設立当初の会計年度は、第10条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成20年3月31日までとする。
- 2 この法人の設立初年度の事業計画及び収支予算は、第11条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 3 この法人の設立当初の役員及び評議員は、第16条第1項及び第2項又は第30条第2項の規定にかかわらず、別紙役員名簿及び評議員名簿のとおりとし、その任期は、第18条第1項又は第30条第4項の規定により準用する第18条第1項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の名誉会長は、第22条第2項の規定にかかわらず、別紙名簿のとおりとする。

### 附 則

この寄附行為は、神奈川県知事の認可のあった日から施行する。

## 市民等が参加あるいは関わった 150 周年記念事業の主な事業一覧

横浜開港 150 周年記念事業は、多くの市民・団体・企業等の参加により支えられるとともに、社会の各方面との関わりをもちながら、進められました。

### 1 開国博 Y150 での取組 . . . . . (P40 参考 3-1)

開国博 Y150 は、市民が自ら企画した事業を実施したり、ボランティアとしてお手伝いいただくなど、多様な市民参加により実施されました。

- ・ ヒルサイド市民創発やベイサイド市民協働での事業の企画・出展・出演
- ・ 会場運営ボランティアとしての来場者の誘導案内や環境美化活動など
- ・ 横浜 FUNE プロジェクトのワークショップへの参加等  
計 10 事業 延べ参加人数 約 8 万 7 千人
- この他、トゥモロウパークステージでの 18 区民デー

### 2 開港 150 周年記念事業としての取組 . . . . . (P44 参考 3-2)

#### (1) 横浜開港 150 周年記念式典

- ・ 天皇皇后両陛下の御臨席、三権の長をはじめ国内外からの来賓と市民が参加
- ・ 500 人の市民参加によるオリジナルショー「ヴィジョン! ヨコハマ」

#### (2) 歴史を学び、体験できる様々な事業

- ア 「開港 150 周年記念図書 横浜港物語」ほか、12 の記念出版
- イ 「開港 150 周年記念『大徳川展』ほか企画展等 5 事業

#### (3) 市民による人の輪と緑にあふれた街づくり

- 150 万本植樹と開港 150 周年の森づくりなど 7 事業

#### (4) 地域の魅力を高め、愛着を深める事業

- ア 横浜 18 区紹介デー 来場者 11 万 3 千人
- イ 各区の 150 周年記念事業 18 区 273 事業
- ウ マザーポートエリアでの街歩き等の取組 19 事業
- エ 地域や民間主体の取組 開港 150 周年後援事業 588 件

#### (5) 創造都市の地域展開

- 身近な地域で文化芸術に親しむ事業 4 事業

#### (6) 次世代育成、国際化等

- 小中一貫英語教育等、次世代育成の取組
- 横浜クリエイティブシティ国際会議、2009 年シティネット横浜大会等

## 1 開国博 Y150 での取組

### ■事業別参加者数

[単位：人]





事業名	実人数	延べ人数	実人数の積算
会場運営ボランティア	2,587	16,484	実人数：参加登録者数
ベイサイド市民協催	7,511	11,047	140 団体参加者数+18 区紹介デー
ヒルサイド市民創発	10,868	18,628	182 プロジェクト ID 発行数 +竹伐採イベント参加者
横浜 FUNE プロジェクト	8,000	18,248	パスポート発行部数
DO-RA-MA YOKOHAMA 150	500	18,674	活動登録者数
横濱・開港キャンドルカフェ	208	208	ボランティア登録者数
マザーポート楽校	615	615	
道志村間伐材プロジェクト	166	339	プラットフォーム推進委員会事業 (注)
イベントをエコにするネットワーク	750	750	プラットフォーム推進委員会事業
地域 SNS「ハマっち！」	2,800	2,800	プラットフォーム推進委員会事業
合計	34,005	87,793	



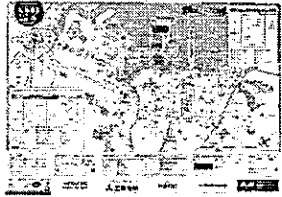

#### (注) 市民参加プラットフォーム推進委員会


開港 150 周年に、市民自らが参加し、様々な市民イベントの展開を応援する仕組みとして「Y150 市民参加プラットフォーム推進委員会」を設置、市民が主役となった「横浜らしい、横浜ならではの」イベントを市内全域で展開することを目的に様々な事業を展開。




■ 事業別概要

	事業名	概要
①	会場運営ボランティア 	Y150 会場運営ボランティアは、会場内でのガイドマップやイベントスケジュールの配布などの誘導案内や環境美化活動、迷子センター補助など、10代から80代までの幅広い年代の市民が参加し、お客様のおもてなしなどの取り組みを行いました。 ボランティア数：2,587人
②	ベイサイド市民協催 	多様な市民（個人、NGO・NPO 等各種団体）が、それぞれの活動を多彩な手法で表現する展示やステージイベントを展開。 開催期間：4月28日（火）～9月27日（日）のうち75日間 参加団体 140団体
③	ヒルサイド市民創発 	ヒルサイドエリアのメインコンテンツ。「私からはじめるこれからの150年」をテーマに公募で集まった市民スタッフ自らが企画・出展を考え手がけ創り上げた180以上の「市民創発プログラム」を「竹の海原」や屋外の広場などの会場各所で実施。
④	横浜 FUNE プロジェクト 	横浜（港）の歴史を彩ってきた実際の船をモチーフにダンボールの「FUNE（船）」を、市民参加型のワークショップで150艘制作し、会期中2回に分けて、ベイサイドエリア大さん橋会場で展示。  平成19年6月16日（土）～8月30日（日）〔807日〕 ／横浜市内の127会場（横浜市内の市民利用施設や中学校など）

⑤	DO-RA-MA YOKOHAMA 150 	<p>舞台出演だけではなく、脚本のネタ探しから舞台技術全般まで、専門家の指導を受けながらすべて市民で創り上げていくという、国内初の試みとして展開。</p> <p>市内9会場、15ステージを上演。</p>
⑥	横濱・開港キャンドルカフェ 	<p>横濱の冬のイベントとして定着しつつあるキャンドルを媒体とした市民参加型イルミネーションイベントを実施。</p> <p>横濱ならではの舞台装置（夜景）の中できらめき輝くキャンドルの灯りが、横濱の歴史や先人たちへの想いを醸造する暖かい空間を創出。</p> <p>平成21年12月19日(土)～12月24日(木)          /ナビオス横濱・運河パーク</p>
⑦	マザーポート楽校 	<p>横濱を訪れる市内外からの来場者が、「開国博Y150」と同時に、横濱の街全体を楽しめる様々なプランを、行政・商店街・企業・市民が協働で考案、実施。地元横浜市民のお薦めスポット情報なども盛り込んだ、横濱の魅力を再発見できるエリア内回遊ルートマップ「たねまるマップ」を作成・配布。</p>
⑧	道志村間伐材プロジェクト 	<p>横濱市の水源である道志村の間伐材を活用して、開港時から伝承する「横浜家具」の技術に触れる「ものづくり」の体験を通じ、「自然」と「生活」のつながりと「横浜の歴史」を知ってもらうことを目的に、ベンチ作りのワークショップを実施し、完成品を「開国博 Y150」会場へ設置。</p>

<p>⑨</p>	<p>イベントをエコにするネットワーク</p> 	<p>横浜で行われるイベントを、エコ・コンシャスな(環境に優しい)ものにし、“横浜のイベントではゴミを捨てる人がいない、環境への負荷をかけない”という文化をつくるため、ガイドラインの作成や各種イベント、エコ活動を実施。</p>
<p>⑩</p>	<p>地域SNS「ハマっち！」</p>	<p>ICTの活用による効率的な市民イベント・プロジェクトや、コミュニティ活性化のための環境づくりを推進するために横浜地域SNSを構築。</p>

18区民デー

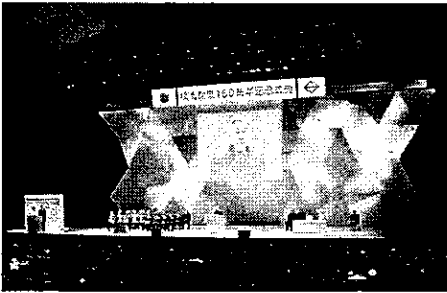

	事業名	概要
<p>①</p>	<p>横浜18区民デー</p> 	<p>主にトゥモローパークステージでのステージイベントなどでの発信の他に、開国博Y150ベイサイドエリア有料会場への来場を促すために、各区の区民デー実施日は、区内の在住・在勤・在学者を対象に区民割引販売を実施。 39団体・838人参加</p>

(参考3-2) 開港 150 周年記念事業としての取組

子どもから高齢者まで、また市民活動団体や企業など、多くの市民が力を発揮し、芸術やスポーツ、環境、福祉活動など多様な事業を展開しました。

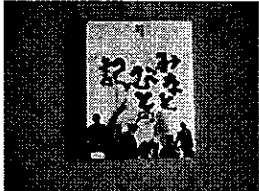
市民レベルの交流や市内各地域の歴史や風土、個性を活かした地域への愛着を深める取り組みを市民とともに進めました。


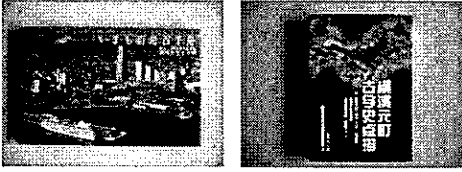
(1) 横浜開港 150 周年記念式典

	事業名	概要
①	横浜開港 150 周年記念式典 	平成 21 年 5 月 31 日 (日) / パシフィコ横浜国立大ホール ・開港 150 周年を多くの市民とともに祝い、日本の近代化を牽引してきた横浜の歴史を再認識し、先人の業績に感謝するとともに、未来への希望を共有し、さらなる発展への契機とするため開催、当日は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰いだことをはじめ、三権の長、開港 5 か国の大使、姉妹友好都市の首長など国内外から 1,690 人の来賓にお越しいただくとともに、御招待された 1,788 人の市民が出席。
②	オリジナルショー 「ビジョン! ヨコハマ」 	・記念式典の第 2 部として、演出家宮本亜門氏の作・演出により上演。横浜ゆかりの俳優やタレント、アーティストなどのメインキャストに加え、オーディションで選考された約 500 人の市民が出演。

(2) 歴史を学び、体験できる様々な事業


ア 横浜開港の歴史を振り返る様々な記念出版

	事業名	概要
①	横浜開港 150 周年記念出版 写真集「昭和の横浜」	・昭和期を対象にした「横浜市史Ⅱ」(全 16 冊)の編集成果を引き継ぐ横浜市史資料室が出版。 ・発行者：横浜市 ・発行部数：3,000 部
②	横浜開港 150 周年記念図書 横浜港物語 ～みなとびとの記～ 	・横浜の原点というべき「港」に焦点を当て、その誕生からの歩みを写真や図書を使って振り返るとともに、多くの困難を克服して現在の横浜の礎を築いた先人の業績やピソットを紹介する記念図書を出版。 ・発行者：横浜開港 150 周年記念図書刊行委員会 ・発行部数：20,000 部



③	横浜開港物語 DVD 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開国博 Y150」で放映した横浜開港の歴史を開港時に活躍した人物を通して振り返る映像「横浜開港物語」をDVD化し、150周年協会から横浜市立学校及び横浜市立図書館に寄贈。</li> <li>・寄贈先：市立学校：513校、市立図書館：18館</li> </ul>
④	開港 150 周年記念 横浜 歴史と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原始・古代から現代にいたる横浜の歴史を、カラー図版とともに振り返る図書を発行。</li> <li>・発行者：財団法人横浜市ふるさと歴史財団</li> </ul>
⑤	かながわの開港都市横浜 DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜開港前後から現在までの発展の歴史を振り返る映像を30分にまとめ、開国博 Y150 の会場内で上映。また、神奈川県内の全小・中・高校や図書館に寄贈。</li> <li>・発行者：財団法人はまぎん産業文化振興財団</li> <li>・寄贈先：県内小・中・高・特別支援学校約1750枚、県内図書館等34枚</li> </ul>
⑥	そのほかの記念出版 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開港 150 周年記念写真集 横濱みなとの唄「いまも百舟百千舟」（社団法人横浜港振興協会）</li> <li>・OLD but NEW～イセザキの未来につなぐ散歩道～（編集：伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合「イセザキ歴史書をつくる会」、発行：神奈川新聞社）</li> <li>・横濱元町古今史点描（編者：「横濱元町古今史点描」編纂委員会、著者：大滝秀人）</li> <li>・聞き書き「横濱中華街物語」（語り：林兼正、聞き書き：小田豊二）</li> <li>・ノゲ劇場「野毛界限一」（野毛地区振興事業協同組合）</li> <li>・横浜タイムトリップ・ガイド（編著者：横浜タイムトリップ・ガイド制作委員会）</li> <li>・ヨコハマ伊勢佐木町復活への道（著者：山田泰造）</li> </ul>


### イ 横浜開港の歴史を体験できる様々な事業の実施

	事業名	概要
①	横浜開港 150 周年記念 横浜能楽堂特別企画公演・特別展 「海を渡った能装束」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本から流出し、約120年前にドイツでオペレッタ「ミカド」の衣装に転用された江戸時代の能装束を里帰りさせ、修復の後に展示。また復元された装束を用い、能とオペレッタ公演を実施。</li> </ul>
②	横浜開港 150 周年記念展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜開港資料館、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館などで、開港にちなんだ企画展や講座、講演会を開催</li> </ul>
③	横浜開港 150 周年記念 よこはま大学開港塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開港以来世界への窓口として日本の発展に大きく貢献した横浜の歴史を振り返り、変化する国際社会の中で、横浜から未来の日本・世界を展望し、切り開くことを目的に横浜市内の大学が連携してリレー形式でシンポジウムを実施。（8大学、延べ10回）</li> </ul>

④	横浜開港 150 周年記念・横浜美術館開館 20 周年記念「大・開港展」	・開港の前後、国家の体制の大きな変革をはさんで、わが国の美術が、江戸時代から何を受け継ぎ、明治になって新たに何を生み出していったかを見る特別展を開催。
⑤	みんなでつくる横濱写真アルバム—市民が記録した 150 年—	・横浜の歴史を記録した写真をウェブサイト「みんなでつくる横濱写真アルバム」に投稿・活用の実施。 


### (3) 市民による人の輪と縁にあふれた街づくり

	事業名	概要
①	150 万本植樹行動と開港 150 周年の森づくり	・平成 18 年度から開港 150 周年の平成 21 年度までの 4 か年で、市民・事業者・行政が協働して 150 万本の植樹を目指す。 
②	「たまくすプロジェクト」樹勢回復記念植樹事業	・通称「たまくす」の木を後世まで伝え、残していくための事業を財団法人横浜市ふるさと歴史財団・横浜開港資料館が中心となって実施。 
③	コラボレーションフォーラム横浜 2009	・身近な地域の課題解決に向けた協働の取組を、多くの市民や行政で共有するためのコラボレーションフォーラムを開催
④	開港 5 都市景観まちづくり会議 2009 横浜大会	・開港 5 都市で活動する市民団体等が「150 年の贈りもの～新たな旅立ちへ」としてまち歩きやディスカッションを実施。 
⑤	開港 150 周年記念障害者スポーツ文化事業	・障害者と健常者が一緒に楽しめるスポーツ・文化事業を、市民や団体など多くの市民の力と協働して、企画・実施。(11 事業)
⑥	横浜ライフデザインフェア 2009	・市民活動団体、企業、行政が一体となり、セカンドステージの働き方、健康、趣味など、様々な提案をパネル展示、フォーラム、ワークショップで展開。

⑦	「はまっ子どうし」事業		・水道局で開港 150 周年記念ボトルを製造・販売。
---	-------------	---	----------------------------

(4) 地域の魅力を高め、愛着を深める取組

ア 18 区紹介デー

	事業名	概要
①	横浜 18 区紹介デー 	・Y150 の会場の赤レンガ倉庫において、地域の多様性を一堂に集め、パネル展やステージイベント、名産や物産等を紹介する「横浜 18 区紹介デー」を開催。

イ 各区の取り組み

市内 18 区において、開港 150 周年を祝うために各区ならではの個性的で元気あふれるイベントや記念事業のほか、周年事業などを協働で展開し、魅力を高め、愛着を深める様々な事業が展開されました。

区名		イベント名	開催時期	開催場所	開催内容	集客数 (H21 年度)
鶴見	1	鶴見区民まつり支援事業 ・三ツ池公園フェスティバル ・つみ臨海フェスティバル	5 月 16 日 11 月 1 日	三ツ池公園 入船公園	開港 150 周年をきっかけに、鶴見のふるさと意識を醸成し、区民相互の交流や親睦を深めました。	80,000
	2	鶴見区 開港 150 周年イベント	4~12 月	区内	開港 150 周年をきっかけに、鶴見区を盛り上げるイベント	50,000
	3	鶴見川サマーフェスティバル	8 月 22 日	鶴見川、佃野公園 周辺	打ち上げ花火で開港 150 周年をさらに盛り上げる。また、花火大会には、区外の方の集客が多く見込まれることから、区民相互の交流はもちろん、区を越えての交流や親睦を深めました。	45,000
神奈川	1	神奈川台場公園魅力アップ事業 (区局連携:環境創造局)	11~3 月 (リニューアル 工事)	神奈川台場公園	平成 20 年度の神奈川台場公園における神奈川台場の発掘調査の結果及び概略設計を踏まえて、「神奈川台場」を生かした公園の詳細設計及び改修を行います。	—
	2	神奈川台場PR事業	2~3 月 (設置工事)	神奈川台場公園	神奈川台場への理解や関心を深めるため、改修工事にあわせて、神奈川台場の当時の絵図や資料、遺構の状況写真などのパネル(屋外用サイン)により、公園内に常設掲示します。	—
	3	神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業	通年	区内史跡、施設、 各商店街等	H20 年度に神奈川区の魅力資源として認定した神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を、区民・事業者等との協働により、イベント実施等に活用し、区民の地域への関心を高め、さらなるまちの魅力アップに取り組みました。	—

	4	かながわ湊フェスタ	4月29日	環境創造局 神奈川区水再生 センター	神奈川区には800年前からの神奈川湊や、400年前から栄えた神奈川宿がありました。開港期に各国の領事館が置かれた寺や、海上警備のための台場など、横浜開港の舞台であった歴史史跡が多数残っています。開港150周年を契機に、これらの史跡を活用して神奈川区の歴史を学んだり、神奈川区の臨海部で海との関わりや環境問題などにも関心をもってもらえるような事業や、異文化に触れるための国際交流まつり等を行ないました。	5000
	5	かながわ区民力発揮プロジェクト	4月～	区内各所	地域の課題等を区民自らが解決するための取り組みに補助金等の支援を行う「かながわ区民力発揮プロジェクト」の対象を開港150周年を記念する事業にも拡大して支援しました。	—
	6	神奈川区民まつり事業	10月11日	反町公園 及び 神奈川区役所 別館1階	地域まつり事業は、地域住民で構成される実行委員会が主体となって企画運営を行うイベントで、ふるさと意識の醸成と地域の活性化に寄与する事業となっています。また、本年度は、開港150周年記念事業として位置づけ取り組みました。	67,000
	7	開港150周年記念特別企画 ヨコハマ大道芸ステージショー	10月10日	神奈川公会堂	横浜大道芸公演。大道芸人による子供から大人まで楽しめる笑いあり、驚きありの演技を披露。随所に開港150周年であることをPRする台詞などの演出を織り交ぜPRしました。	430
西	1	西区ふれんど ship	5月23日 8月15日	横浜美術館	開港150周年事業のプロデューサーの一人である日比野克彦氏の作成したダンボール船を横浜美術館に展示し、展示期間中、船をテーマにワークショップを展開。	60
	2	西区マザーポートクリーンアップ作戦	5月30日	横浜駅周辺 桜木町駅周辺	開港150周年記念事業の舞台となるマザーポートの清掃活動を行いました。	1150
	3	西区キャンドルアート	12月19日	グランモール公園 (横浜美術館前)	横浜開港150周年協会が開催するキャンドルカフェと連携して、区民に参加を呼びかけてキャンドルで、たねまるを表現したり、もったいない探偵団のエコキャンドルを点灯したり、子ども会によるメッセージソートの作成など、西区らしい演出を行いました。	1,500
	4	西区虫の音を聞く会	8月1日	掃部山公園	横浜開港は大老に就任した当時の彦根藩主「井伊直弼」の功績であり、その銅像が西区の掃部山公園にあります。西区虫の音を聞く会は、この公園で、「井伊直弼」ゆかりのお茶会等を行うお祭りで、ステージ及び万灯により、開港150周年のPRを行いました。	7,000
	5	詩情展	6月8日～14日	みなとみらいギャラリー	西区の詩情をテーマとした絵画・写真・書の展示と詩の発表会	1,000
	6	彦根・横浜友好交流事業	10月31日～ 11月3日	彦根市	横浜開港は大老に就任した当時の彦根藩主「井伊直弼」の功績であり、その銅像が西区の掃部山公園にあることから、これまで西区は彦根市と交流をしてきましたが、交流の輪をさらに深めるため、委員会メンバーが彦根市を訪問し、横浜のPRを行いました。	—
	7	西区民まつり	11月1日	戸部公園、西前小学校等	戸部公園・西前小学校・西区役所等で開催されるお祭りの中で、開港150周年事業をPRしました。	30,000
	8	平沼橋壁画事業	9月9日	平沼橋	開港150周年を記念し、軽井沢中学校及び岡野中学校生徒が壁画を作成し、平沼橋～岡野町歩道に掲出しました。	500
	9	みなとみらい盆踊り	8月21日 ～22日	臨港パーク	みなとみらい地区で盆踊り大会を開催し、地域住民の交流を深めました。	9,000
	10	ヨコハマカーニバル(彦根・横浜友好交流)	8月22日 ～23日	横浜駅西口周辺	ヨコハマカーニバルの会場周辺で彦根市の物産展やPRイベントを行いました。	156,500
	11	横浜かもんやま能	11月22日	横浜能楽堂	開港の立役者である井伊直弼ゆかりの能、狂言を上演し、パンフレット等により開港150周年をPRしました。	480



	12	西区ハマのウォーキングフェスティバル	12月6日	区内	西区の歴史、文化を再発見し、併せて健康増進を図るため区内を2つのコースに分けて歩きます。ゴールで開港150周年を祝う。	1,800
	13	西区民合唱祭	1月23日	県立音楽堂	西区で活動する合唱団によるジョイントコンサート。テーマは“にじ・ゆめ・みらい”とし、開港150周年の今後の区民交流、連帯を深める契機としました。	1,000
	14	西区歴史街道改訂	平成22年3月末まで	—	西区内の史跡マップの改訂	—
中	1	吉田町アート&ジャズフェスティバル	4月26日、27日	吉田町通り・福富西公園	「アート市場」のほか、会場数箇所ではジャズステージを展開。	30,000
	2	チューリップ・アート・ブロード	4月24日	山手の西洋館・公園	山手の西洋館と公園に、チューリップの花茎で、開港150周年にちなんだデザインの花絵パネルを作製・展示	20,000
	3	マザーポートエリア クリーンアップ作戦	5月30日	中区内	マザーポートエリアのクリーンアップ	2,462
	4	中区民ダンスフェスティバル	5月30日	関内ホール	中区民のダンスの発表会	800
	5	ステンドグラス完成イベント	4月26日	開港記念会館	横浜開港に深いかわりのある開港記念会館で市民と共に製作したステンドグラスの完成イベントを開催しました。	2,000
	6	区役所 タイムスリップ150	6月1日～5日	中区役所	区職員が明治・大正時代などの時代衣装を身に付け、来庁者に開港150周年をアピールするとともに窓口案内サービス向上を図りました。	—
	7	横濱地図博覧会 2009 vol.1	6月2日～5日	大さん橋ホール	開港150周年にちなみ、横浜の歴史、生活文化に深く関わってきた様々な地図を、今昔交えて展示	—
	8	象の鼻パーク トワイライトコンサート	6月3日～5日	創の鼻パーク	コンサート	1,000
	9	中区開港ルネッサンス	6月6日・7日	日本大通り、象の鼻パーク	日本大通りタイムストリート、パレード、象の鼻ステージ	245,000
	10	多文化フェスティバル	6月6日・7日	なか区民活動センター 日本大通り	多文化共生と共に、国内外からさまざまな人が訪れる横浜の中心地・中区で外国人が快適に滞在・活動し、活発な交流が行われる国際性豊かなまちづくりを進めました。	1,650
	11	海を渡った能装束・オペレッタ「ミカド」	6月6日・7日	開港記念会館	オペレッタ	800
	12	ジャックまるわかり講座	6月11日、18日、25日	開港記念会館	講演会	100
	13	開港記念日記念イベント	6月2日	開港記念会館	開港記念日に関わるイベント(ジャックの塔にのぼってみよう、ステンドグラス教室)	500
	14	中区童謡の会	6月12日	開港記念会館	開港150周年を記念する童謡コンサート	300
	15	エンドレスドリーム ヨコハマの夜明け	6月1日～15日	大さん橋ホール	五大路子、企画・主演の料亭「富貴楼」お倉の物語	2,000
	16	山手ブロードコンサート	6月13日	山手聖公会	古楽器コンサート	200
	17	花と器のハーモニー	6月13日～21日	山手西洋館	開港150周年を記念し、レトロ山手をテーマに開催	
	18	開港記念会館一般公開	6月15日	開港記念会館	開港記念日に関わるイベント	500
	19	開港から150周年 きものは語る いまむかし	6月19日～21日	開港記念会館	幕末からの服飾の展示、ファッションショー	1,200
	20	朗読音楽ライブ 横浜夢語り	6月20日	開港記念会館	朗読コンサート、写真展	450
	21	開港記念会館で楽しむパッハの市民音楽	6月21日	開港記念会館	古楽器コンサート	300
	22	エディット・ピアフ愛の賛歌コンサート	6月26日	開港記念会館	愛を求める孤独な魂 歌うために生まれてきた一人の女 エディット・ピアフのドラマティックな生涯を歌い、語る音楽物語	442
	23	日米交流セミナー	6月27日	開港記念会館	日米関係に関するシンポジウム	300
	24	全国童謡サミット in よこはま	7月17日～18日	開港記念会館	講演会、コンサート	505

	25	環シルクロード リレートークイベント 横濱、原三溪、インド～そして1枚の写真	7月19日	開港記念会館	農学博士の藤本実也がまとめた『原三溪翁伝』の稿本を読み解きリレートーク、新シルクロード光りのコンサート	300
	26	音楽でたどる横浜とフェリス	7月20日	開港記念会館	開港当時から現代までの西洋音楽の系譜、横浜の歴史を、音楽学部教員・学生による演奏と大西教授によるレクチャーコンサートで迎える	400
	27	山下会子どもフェスタ	7月26日	山下公園	子供向けイベント	900
	28	中区まち・ひと音楽祭	8月18日	大さん橋ホール	中区内の施設を利用している団体、グループの発表会	1,200
	29	NHKとの共同事業(ボイス・オブ・アスリート)	8月29日	開港記念会館	子供向けイベント	150
	30	第29回YOKOHAMA本牧ジャズ祭	8月30日	本牧市民公園	野外のジャズコンサートの草分け的な存在であり、全国からファンの集まるこのジャズ祭で、開港150周年をアピールしました。	1,500
	31	黒船物見遊山2009 横浜あきないまちウォークラリー	9月6日	市内4コース	大さん橋をゴールに市内4コースのウォークラリー	
	32	NHKとの共同事業(ラジオ深夜便のつどい)	9月8日	開港記念会館	ラジオ公開番組	350
	33	横濱地図博覧会2009 vol.2	9月22日～25日	赤レンガ倉庫	開港150周年にちなみ、横浜の歴史、生活文化に深く関わってきた様々な地図を、今昔交えて展示	—
	34	文明開化ウォークラリー	10月11日	中区内	誰もが楽しく参加でき、文明開化発祥の地を歩くウォークラリーを実施	362
	35	中区民祭り ハローよこはま2009	10月11日	根岸森林公園	区民の連帯意識を深め、区民相互の交流と調和を図り、独創性を活かした事業を展開。今年が開港150周年記念イベントとして位置づけ区民の総合発表会として展開することにより、開港150周年を盛り上げました。	110,000
	36	開港150周年コンサート「口琴～音のひろがり」	10月12日	開港記念会館	ヨーロッパ・アジアに広く分布する、世界一小さな楽器である口琴のコンサート。日本においても江戸時代に人気を博し、幕末には幕府が「風紀のためよろしからず」と禁止したほど。	
	37	横浜開港150周年記念舞踊公演 インド古典舞踊バラタナティヤム	10月22日	県民小ホール	南インド古典舞踊バラタナティヤム『舞踊劇ラーマヤナ』の舞踊劇と語りのコラボレーション	
	38	中区民文化祭音楽祭	10月25日	開港記念会館	区民の器楽演奏の発表会。開港時から現在までの音楽の歴史を織り交ぜた演奏会し、全体合奏の「かもめの水兵さん」など開港150周年をアピールしました。	350
	39	野毛大道芸オータムフェスティバル	10月3日、4日	野毛地区周辺	大道芸	110,000
	40	中区民文化祭区民の作品展	11月7日～13日	市民ギャラリー	区民の美術作品の発表会。開港150周年を記念して、課題作品として海を取り上げ展示。	1,300
	41	09秋の収穫祭	10月31日・11月1日	ヨコハマNEWSハーパー 日本大通り	「かながわワールド～あすの地球と子どもたち～」を礎に地産地消をテーマとした「食」について考える場を提供し、中区の地域振興にも寄与しました。	100,000
	42	横浜開港150周年/横浜リヨン姉妹都市提携50周年記念 横浜・荷風・リヨン	11月29日	開港記念会館	1907年、横浜正金銀行の行員として『ふらんす物語』の舞台となるリヨンに降り立った若き日の荷風。その荷風を通して、リヨンの魅力に迫る。講師は法政大学教授の加太宏邦氏	400
	43	中区民文化祭合唱祭	12月6日	関内ホール	区民の合唱の発表会。	600
	44	横浜ハーバーライトファンタジー2009	12月22日・23日	山下公園	キャンドルイベント	10,000
	45	中区民ミュージカル「象の鼻のミケ」	1月24日	関内ホール	開港150周年を振り返り、開港当時のエピソードを盛り込んだロマン溢れるミュージカルの上演。	1,000
南	1	みなみ商店街いきいき事業	4月～12月	南区内商店街 他	南区内の魅力を再発見する絵地図を作成しました。商店街等と協力し150周年などを広報PRしました。	2,000

	2	第34回南まつり	7月25日～26日	蒔田公園	南区民相互の交流を深めるまつりを開催し、まつりの特色である絵どろろうで、開港150周年にちなんだ作品を展示しました。	50,000
	3	寺内タケシとブルージーンズコンサート～開港150周年記念イベント～	11月28日	南公会堂	区民が主体のみなみ区民文化振興事業実行委員会が主催し実施。開港150周年を記念し、曲目に市歌等を取り入れました。	550
	4	開港150周年記念誌「みなみの歴史探検」	8月	—	小学生を対象に、開港から現代までの南区の歴史をふりかえる冊子を作成	—
	5	横浜開港150周年みなみ探訪ウォーク	9月12日	横浜弘明寺商店街さくら橋など		—
	6	南なんデー	10月4日	大岡健康プラザ	子どもから高齢者まで多くの区民が集まる健康福祉まつりの会場で、開港150周年や横浜の歴史についての展示やスタンプラリー等を実施しました。	15,000
	7	第34回南区文化祭	10月31日～11月8日	南公会堂、大岡地区センター	ステージイベントや作品展示	4,500
	港南	1	京急電鉄杯 第31回港南区健康ランニング大会	平成22年1月17日	野庭中学校	区内で毎年行うランニング大会。誰でも参加できるように、長短コースを設定して実施。
2		こうなんストリートダンスコンテスト2010	平成22年3月	ひまわりの郷	高校生が主体的に進める恒例のダンスコンテスト。市内高校生を対象に実施。	500
3		港南区綱引大会	11月22日	港南スポーツセンター	区体育指導員連絡協議会による綱引大会(新規イベント)	1,000
4		講演会「地域で考える(介護)心豊かに安心して暮らせるまちへ～」	9月26日	港南公会堂	タレントの小山明子氏による講演。民生委員活動のPRやアンケートもあわせて実施。	500
5		港南区ひまわり管弦楽団第15回定期演奏会「第九演奏会」	9月21日	みなとみらいホール大ホール	区民公募のコーラスとひまわり管弦楽団のコーラボレートによる第九コンサート	2,000
6		区民文化祭	10月11日	公会堂・ひまわりの郷・福祉保健活動拠点	文化交流協会主催の各種文化芸術の祭典。複数の会場で様々な発表や展示を実施。	1,550
7		港南区制40周年記念式典ひまわりカーニバルIN港南ふれあい公園	10月10日	港南ふれあい公園	区制40周年を記念する式典と、区民表彰	2,000
保土ヶ谷	1	たねまるイルミネーション	4月1日～6月13日	天王町スカイハイッ	天王町スカイハイッ(高層マンション)の壁面にLEDを使用した「たねまるイルミネーション」を点灯	近隣住民ほか不特定多数
	2	開港150周年ウォーキング	5月下旬～	(保土ヶ谷区を中心に周辺区を歩く、全7コース)	今年度、作成中の横浜開港と保土ヶ谷区の歴史を訪ねるマップによりウォーキングを実施。	400
	3	保土ヶ谷かるた	7月～	区内	開港150周年を機に保土ヶ谷の魅力・伝統・歴史を生かし、かるたを作成し、地域行事等でかるた大会を実施。	250
	4	ブルガリアン・コスミック・ヴォイセス合唱	7月2日	保土ヶ谷公会堂	保土ヶ谷区とソフィア市との都市間交流協定に基づき合唱団を招聘し開港150周年記念イベントとして開催	500
	5	ほどがやバンドバトル	9月19日	保土ヶ谷公会堂	開港150周年を盛り上げるため、高校生・大学生によるバンドイベントを区青少年指導員連絡協議会が開催。	370
	6	保土ヶ谷区手作り紙ヒコキ大会	7月5日	保土ヶ谷スポーツセンター	幼稚園児から大人までの保土ヶ谷区民を対象にした滞空時間を競う手作り紙ヒコキ大会を実施し、開港150周年をPRしました。	300
	7	たねまるモニュメント・花フェスタ	5月16日	へそ広場	保土ヶ谷花フェスタにおいて、来場者に協力してもらい「たねまるモニュメント」を作成。	1,000
	8	区民大合唱	4月～3月	区内ほか	区の歌並びに横浜にちなんだ楽曲をほどがや区の歌合唱団を中心に区内イベント等で開港150周年イベントとして実施。	10,000
	9	ほっしいーのわいわいフェスティバル	11月8日	星川地域ケアプラザ	大道芸、フリーマーケット、模擬店	2,000
	10	うすいまさと発達障害コンサート「つどい」	12月17日	上菅田小学校	3人の発達障害児を持つシンガーソングライター、うすいまさとさんが贈る発達障害啓発ライブとトークメッセージイベント	800

旭	1	ズーラシア駅伝	2月14日	ズーラシア	駅伝競技を通じて健康増進を図るとともに基礎体力及び競技技術の向上を推進することを目的として、よこはま動物園ズーラシアを会場とした駅伝競走大会を開催しました。	1,200
	2	第1回あさひフォーラム	2月21日	旭公会堂	地域福祉保健計画の活動団体と区民活動団体の発表を同日に実施しました。第2回を平成22年2月に開催予定です。	350
	3	松本梨香とたねまるファミリーコンサート	3月22日	サンハート	旭区役所の協賛で、相鉄グループ開港150周年記念事業の一環として、アニメ「ポケットモンスター」シリーズの主人公サトシ役でおなじみの声優 松本梨香さんと開港150周年公式キャラクター「たねまる」のファミリーコンサートを開催しました。	300
	4	春のあさひ いけばなと呈茶席	4月1日～17日	旭区役所1階特設会場	新年度の最初の記念イベントとして、区民の皆様が、自由にいけばなを鑑賞しながらお茶を楽しむことで、第20回全国「みどりの愛護」のつどいを歓迎し、記念年を祝いました。	350
	5	リレー植樹	4月19日～	ズーラシア隣接地区	第20回全国「みどりの愛護」のつどいを契機に、地域の方々による植樹をリレー形式で進め、良好な環境作りに取り組む。各地区において植樹とともに、「区誕生40周年リレー植樹」などを表示したプレート、樹名板等を設置しました。 ◇5/9 シンボル植樹	1,100
	6	旭あさがおいっぱい運動	4月～9月	区内各所	区内公共施設や区民の方々の希望者に朝顔の種を配布し、区の花朝顔を広めます。また、横浜開港150周年・ズーラシア開園10周年記念共同企画として、ヒルサイド及びズーラシアにおいて、日比野克彦氏プロデュースによる朝顔苗植え・収穫等の特別イベントを行いました。	400
	7	記念切手発行	6月	—	区内各所の四季折々の写真を切手シートにし、発行しました。 ◇1シート:80円切手10枚つづり1,200円×1,000シート	—
	8	旭区民スポーツ祭	6月～11月	旭公会堂	6月から11月にかけて開催される区内19連合地区対抗のスポーツ祭を実施しました。11月には総合表彰式を行い、各種目で40周年記念賞を設けました。	11,000
	9	プラチナ世代ベタンク大会	6月9日	南本宿公園	旭区誕生40周年記念とし、老人クラブ主催でベタンク大会を開催しました。	100
	10	畠山重忠公慰霊祭	6月22日	鶴ヶ峰本町 薬王寺	平安時代末期から鎌倉時代初期に活躍した武将でしたが、幕府の権力争いに巻き込まれ、鶴ヶ峰付近で討ち死にした畠山重忠公をしのび慰霊祭を開催しました。	100
	11	採れたて野菜フェア	7月4日ほか	区内各所	野菜の地産地消の奨励や食育を兼ね、区内農地での収穫体験、また区役所で試食及び直売を実施しました。	1,000
	12	相鉄ジャズトレイン	7月18日	特別運行電車(二俣川～厚木往復)	旭ジャズまつりのPRも兼ね、記念事業、地域連携事業として実施。抽選により選ばれた市民を招待し、走る列車内で、ジャズライブ演奏を行いました。	100
	13	ヒルサイド旭区ステージ	7月20・21・22日	ヒルサイド	①旭ジャズまつりPRステージ:ジャズライブ演奏(20日) ②旭区民ミュージカル公開稽古&パフォーマンス:歌と踊りの披露(21日) ③竹と太陽のウェーブ:竹と太陽をテーマに三曲、インドネシア民族舞踊、ハワイアンフラダンスの披露(22日)	700
	14	ジュニアボランティア育成事業	8月～12月	区内各所	区内小学校5.6年生(約200名)が「ジュニアボランティア」として、地域で行われるボランティア活動を体験することにより、地域福祉への理解と関心を深めました。	350
	15	旭ジャズまつり	8月2日	こども自然公園野球場	今年20回目を迎える旭区の夏の風物詩。アマチュアステージとプロステージの2部構成で開催しました。	2,350

	16	ベイサイド旭区デーステージ	8月8日	ベイサイド	区民ミュージカルPRパフォーマンス、ジャズライブステージ	300
	17	プラチナ世代ゲートボール大会	9月15日	南本宿公園	旭区誕生40周年記念とし、老人クラブ主催でゲートボール大会を開催しました。	120
	18	記念ウォーク	9月26日	ふるさと尾根道	グリーンロードおすすめコースを使ったヒルサイドまでのウォーキングなど、旭区の魅力を再発見するウォークを実施しました。	300
	19	旭記念コンサート	9月27日	旭公会堂	旭区に在住、活躍するプロの音楽家・小中学校・アマチュアの団体が集い記念演奏会を開催。	500
	20	あさひ安全安心フェア	9月30日	旭公会堂	功労者表彰やアトラクションを通じて、防犯・防災・交通安全に関する啓発を行います。	500
	21	旭区誕生40周年記念式典	10月17日	旭公会堂	旭区誕生40周年を記念して、区政の発展に貢献していただいた個人、団体等の方々に対して功績を称え、その労に感謝して表彰を行いました。	500
	22	旭区誕生40周年記念刊行物発行	10月17日	—	「ひと」や「まち」の魅力を再発見し、旭区の現在を次世代につなぐ架け橋となるような刊行物を発行しました。 ◇2,000部発行	—
	23	多世代学芸祭	10月17日	旭公会堂	こどもから高齢者までが参加し、お遊戯やダンス、合唱などを発表する学芸祭を開催しました。	500
	24	旭ふれあい区民まつり・健康フェア	10月17日、18日	旭公会堂ほか	区誕生40周年を記念し、2日間開催しました。	50,000
	25	対抗つなひき大会	10月18日	区民まつり会場	区内19連合地区対抗のつなひき大会を開催しました。	380
	26	区民ミュージカル「RISING SUN」	10月23日～25日	サンハート	公募により集まった区民(小1～シニア)約80名が、プロのレッスンを受け本格的なオリジナルミュージカルに挑みました。	1,500
	27	旭区民みんなのアトリエ	11月15日	旭公会堂	絵画・書道・水墨画・写真・いけばな・お茶といった芸術文化を、気軽に体験できるイベントを開催しました。	380
	28	プラチナ世代グラウンドゴルフ大会	11月27日	若葉台公園	旭区誕生40周年記念とし、老人クラブ主催でグラウンドゴルフ大会を開催します。	140
	29	旭区社会福祉大会	12月9日	旭公会堂		
磯子	1	第3回いそごい蠟燭能	6月1日～9月30日	磯子公会堂杉田劇場区内希望小、中学校	①第3回蠟燭能公演(7/4) 開港150周年に華をそえる新作能「黒船」を企画②能楽パネル展(6月中旬) 杉田劇場等で能面の展示を企画③能楽入門講座(6月) 区内希望小中学校2校	4,454
	2	シンポジウム「もうひとつのミナト・ヨコハマ…根岸湾は飛行艇の海だった」	6月19日	杉田劇場	昭和15年に根岸地区鳳長埋立地の「大日本航空海洋部横浜支所」で大型飛行艇によるパラオ島ほか南洋諸島への日本初の海外定期航空便が始まりました。開拓者精神に溢れた乗員たちは島影を探りながら海上十数時間の困苦に耐え、またここで使用した飛行艇は戦後米国に渡り世界最優秀と評価されました。平和が続けば根岸からアメリカ行き、オーストラリア行き空路が誕生していたかもしれませぬ。杉田の「日本飛行機」「石川島航空工業」も飛行艇・水上機や航空エンジンの生産で知られ、富岡の横浜海軍航空隊と合わせて根岸湾はまさに「飛行艇の海」でし	440
	3	N響メンバーによる磯子コンサート	6月20日	磯子公会堂	開港150周年を記念して、NHK交響楽団のメンバーによるクラシックコンサートを開催しました。港や海をイメージした曲目を演奏し、曲目や楽器の解説をするなど、単なる演奏会ではなく、初めてクラシックコンサートに訪れる区民でも楽しめる企画となりました。	420

	4	みんなでわいわい梅まつり Part II	7月1日～7日	杉田劇場 地域ケアプラザ他	その昔、親梅にきた人で賑わい、江戸の文化人の憧れだった梅の郷、杉田。多くの区民と梅について検証、体験してもらい、改めて地域の宝としての梅林復活に向けて梅と親しみました。 ①磯子と梅についてのパネル展示、梅製品の展示販売 ②梅干、梅ジュース等の体験教室 ③梅収穫体験 ④梅花飯をつくろう！梅料理教室 ⑤みんなでわいわい、梅まつり	650
	5	Y150 記念 磯子の夢・みんなの夢	7月1日～平成22年1月31日	夢たま 地域ケアプラザ等	開港 150 周年のお祝いして、地域が元気になるイベントや講座などを実施しました。 ・磯子ビデオフェスティバル ・夢に向かって、「夢宣言イベント」等を予定	450
	6	横浜開港 150 周年記念 汐見台夏まつり	8月22日	汐見台商店街前 広場	恒例の夏祭りイベントを開港 150 周年をテーマとして実施。(昨年はビンゴ大会とピエロショー)	600
	7	横浜開港 150 周年記念 第3回花火大会	8月23日	岡村公園 野球場又は多目的広場	昨年、プレ開港 150 周年記念の下に、第2回花火大会を実施。過去2年とも非常に好評であり、今年も実施の希望が絶大である。また、花火は地元地域に限らず近隣区からの好評も得ている。地域の活性化・老若男女への憩いの時間の提供を目的に、今年も実施。尚、今後地域で行う大きな行事(賀詞交換会、梅まつり)に、同ロゴを使用。	1,000
	8	磯子まつり	4月～11月	日清オイリオグループ横浜磯子事業場、磯子区役所、杉田劇場など	日清オイリオまつり、磯子区健康づくりフェスタ、地区まつり等	48,978
金沢	1	開港 150 周年記念サンドアート・フェス in 海の公園	9月20～23日	海の公園	海の公園の砂浜を利用して、砂の造形を競った。(共催:臨海保全事業団)	5,000
	2	金沢まつり花火大会	8月22日	海の公園	第35回金沢まつり花火大会(横浜開港 150 周年記念花火実施)	270,000
	3	金沢まつりいきいきフェスタ	10月17日	海の公園	バザー・事業 PR コーナー、フリーマーケット、パレード等実施	155,000
	4	ペリー艦隊 小柴沖 碇泊記念碑	年内	海の公園	開港の契機となったペリーの来航を、開港 150 周年にあたり、金沢との関係を区民だけでなく、金沢を訪れる多くの市民に知ってもらうため、記念碑を設置する。	—
	5	ロイヤルウイング区民無料乗船	1月2日～4月17日	ロイヤルウイング	金沢区民を対象としたエンターテイメント・レストラン船「ロイヤルウイング」クルージング無料乗船(飲食代は有料)。広報よこはま金沢区版(1月号)を提示すれば5名まで無料乗船可能。	5
	6	開港 150 周年記念クイズラリー (金沢七福神と同時開催)	1月10日	横浜金沢七福神及び横浜八景島	毎年観光協会で開催している横浜金沢七福神「御開扉」にあわせ開港 150 周年を記念して、クイズラリーを実施。(クイズカードを配り「開国博 Y150」の文字を完成させる。)	1,000
	7	開港 150 周年記念書き初め大会 (どんど焼きと同時開催)	1月17日	海の公園	毎年観光協会で開催している「どんど焼き」にあわせ開港 150 周年を記念して、書き初め大会を実施。(書き初めの手本は「開国博 Y150」、「横浜開港 150 周年」他)	1,000
	8	旧川合玉堂邸イベント	3月7日 5月2日 10月3日	旧川合玉堂別邸	旧川合玉堂別邸において「野点」や「音楽イベント」を実施する。(計3回)	1,215
	9	世界遺産ライトアップ(称名寺、富岡八幡宮)	①4月26日～5月7日 ほか	称名寺・富岡八幡宮	区内の称名寺・富岡八幡宮において夜間一定期間ライトアップを行い、区民の地域文化・歴史的遺産への関心、愛着を深める ①4月26日(日)～5月7日(木) ②12月28日(月)～平成22年1月3日(日)…称名寺 * 大晦日は午後5時から翌朝まで ③11月5日(木)～11月8日(日)…富岡八幡宮	

	10	子育て講演会 「子どもが元気に育つ子育て支援てなあに？」	6月29日	金沢公会堂	子育て支援の推進と充実のため講演会を開催。(講師:秦野 悦子氏(白百合女子大学児童文化学科発達心理学専攻教授) 内容:「子どもが元気に育つ子育て支援てなあに？」～最近気になることもたち・こどもの育ちとかかわり～)	143
	11	塩田による塩づくり	7月26日	海の公園	金沢区の独自産業であった塩田による塩づくりを学び、体験し、文化伝承と地域愛着を図りました	85
	12	健康横浜 21と食の安全 (健康づくり月間)	11月11 ～15日	能見台イトーヨー カドー センターコート	健康づくりと食の安全パネル展示(5日間)・ 野菜を使った料理の試食(1日)等	1,500
	13	金沢区物忘れフォーラム・ 認知症講演会	11月27日	金沢公会堂	厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10 ヶ年」キャンペーンに基づき、多くの区民のみ なさんに、認知症について正しく理解してい ただき、認知症になっても安心して暮らせるま ちをつくっていくことを目的として、認知症につ いての講演会や、関係者によるシンポジウム、 区民の方々による寸劇、認知症サポーターの 会「かなざわささえ隊」などの活動紹介、展示 等。	400
	14	金沢文庫駅西口 歩行者 空間整備事業	6月18日～14 日	金沢文庫駅西口	金沢文庫駅西口歩行者空間整備事業の完成 に伴い、開通式を実施。	—
	15	金沢区第38回ロードレー ス大会 第18回小学生駅伝大会	2月11日	海の公園・八景島	スポーツの普及・啓発、体力向上に寄与し、 併せて区民の交流を図るため、区内在住・ 在勤・在学者を対象に小学生駅伝及びロード レース21種目を実施	1,812
	16	フォーラム KANAZAWA	3月7日	能見台地区センタ ー	金沢区内の「街の先生」と生涯学習団体が一 堂に会し、相互交流や区民との交流により、 金沢区において生涯学習をはじめのきっかけ 作りと生涯学習活動のネットワーク作り等に寄 与しました。	670
	17	称名寺薪能	5月3日	称名寺境内特設 舞台	歴史的遺産である称名寺を舞台に区民と協 働で薪能を実施。能「橋弁慶」 櫻間右陣ほ か・狂言「附子」野村萬斎ほか	1,033
	18	区内木遣りと囃子の競演	5月16日	金沢公会堂	区内に伝わる木遣りと囃子が一堂に会し、開 港150周年を祝賀しました。	500
	19	第21回金沢区区民文化祭	9月16～20日 10月18日～ 12月13日	金沢地区センター 金沢公会堂	公募による区民の作品展(絵画全般・写真・ 書道・文芸・手工芸)	—
	20	アメリカン・アンカレッジ～ 横浜・金沢 もうひとつの開港150周 年～	4月28日 ～9月27日	横浜八景島、海の 公園	◇開港、開国の紹介金沢区の紹介 ◇アンカレッジの紹介 ◇写真、パネル展 ◇環境保全体験、海のふれあい学習	30,258
	21	国史跡称名寺境内平橋・ 反橋完成記念渡り初め(教 育委員会)	4月4日	称名寺境内反橋 前広場	「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録候補遺産 である「称名寺境内」において、平成19年度 から2ヶ年にわたり改修工事をすすめていた 「平橋」「反橋」が完成したので渡り初めを行 いました。	—
	22	「開港150周年の森づくり」 植樹イベント(環境創造局)	6月11日 11月1日	旧小柴貯油施設	旧小柴貯油施設等において、開港150周年を 記念し、150万本植樹行動の一環として、市 民から寄せられた苗木を用いた植樹イベント を実施しました。	855
	23	旧伊藤博文別邸復元事業 (環境創造局)	10月31日	野島公園内旧伊 藤博文金沢別邸	野島公園内で現在復元された、旧伊藤博文 金沢別邸の竣工に合わせて完成記念式典を行 いました。	70
港北	1	記念式典	9月13日	公会堂	スタンドグラス竣工式や記念式典を開催	450
	2	区民提案記念事業	～12月20日	港北区内	アニバーサリー提案事業として、20年度公募 により選定された実施団体への補助する。	—
	3	出張なんでも鑑定団	7月5日(収 録)	公会堂	なんでも鑑定団を招致し、区内PRを行い区 制70周年記念を盛り上げました。	600
	4	記念誌作成事業	～8月	港北区内	「鉄道に見る港北区の発展」をテーマにした 記念誌を発刊し、配布しました。	—

	5	未来へつなごう!「光のメッセージ」製作事業	9月13日(除幕式)	新田地区センター	伝統文化を再認識し後世につなぐため、横浜マイスターの協力を得て区民の手でステンドグラスを製作し、区庁舎に設置しました。	630
	6	広報PR事業(キャラクター・ロゴ作成)	通年	港北区内	区版やタウンニュースなどの媒体を活用するとともに、キャラクターやロゴを利用し、啓発活動を行い、区制70周年の意識を高めます。	—
	7	ペットボトルロケット大会	9月5日	鶴見川樽町公園 多目的広場	地域の青少年指導員による、ペットボトルロケット地区対抗戦や変り種ロケットの発表会を開催しました。	1,800
	8	ふるさと港北ふれあいまつり	10月17日	新横浜駅前公園 少年野球場	ふるさと港北の意識高揚を図るイベント、「ふるさと港北ふれあいまつり」開催しました。	80,000
	9	地区健民祭	9月~10月	区内各地域	地区連合町内会単位で地域住民が自主的に開催する健民祭を開催しました。	1,500
	10	広報よこはま特別版 PR紙	—	港北区内	区版やタウンニュースなどの媒体を活用し、港北区制70周年・開港150周年記念事業を盛り上げました。	—
	11	フラッシュダンス事業	4月12日	菊名小学校体育館	公募で集まった中・高校生により結成されたダンスユニットが、プロの振付家の指導のもと、レッスンを積み重ね発表しました。	400
	12	中学生ジャズコンサート	5月9・10日	港北区内施設等	区内高校の吹奏楽部を中心に、ビッグバンドを結成し、プロのミュージシャンの指導のもと、ジャズ公演を開催	175
	13	フェスタ・ムジカーレ(コーラス大会)	9月6日	公会堂など	港北芸術祭参加型事業である「港北区コーラスの集い」	500
	14	芸術文化振興事業	~12月13日	港北区内施設等	参加型事業やデーモン小暮、赤い靴など鑑賞型事業を実施。	
	15	小机城址まつり	4月5日	小机城址	150年前の衣装を纏ったパレードとイベントを開催しました。	15,000
	16	大倉山観梅会	2月28日~3月1日	大倉山梅林	開港150周年記念ステージ、開港歴史パネル展、港北写真展	50,000
	17	福祉保健区民フォーラム	10月31日	公会堂	公会堂などで活動交流集会を実施し、区民や事業者等の福祉保健への活動意欲を維持するとともに、開港150周年・区制70周年を広報アピールし、区民意識を高めました。	1,500
	18	地産地消・区民フォーラム	~11月	公会堂など	「地産地消」をテーマとした区民フォーラムの開催や港北区の地産地消情報を集めた冊子を作成する。また、地場産物を使用した調理体験イベントを実施しました。	
	19	緑のカーテン事業	~12月	区内小学校など	地域や学校との協働により、ヒートアイランド対策のモデル的取組みとして校舎の壁面緑化を図る。	
	20	スポーツフェスティバル(ベタンク大会・グランドゴルフ等)	~8月30日	港北区内	港北区体育指導委員連絡協議会及び港北区体育協会への活動補助や区内スポーツ関係団体とのスポーツフェスティバルの共同開催などスポーツを通じて、区制70周年・開港150周年への機運を高めました。	500
	21	港北の観光写真コンクール	募集中 ~22年1月 表彰・展示 22年2月	港北区役所 地下鉄新横浜駅	港北区内の「梅」をテーマにした写真と、史跡や文化財等観光スポットをテーマにした写真のコンクールを行い、港北区の魅力を掘り起こしました。	
緑	1	区制40周年記念事業	10月3日	緑スポーツセンター	幅広い層の区民参加による区制40周年記念式典を実施しました。	500
	2	廃食用油でゴミ収集車を走らせよう	10月18日	四季の森公園	①区内の〇〇地区で、廃食油を回収(区) ②回収油をプラントでディーゼル燃料化(委託) ③旧式ディーゼルのゴミ収集車で区内を試走(局)	
	3	「水と緑と花の回廊」	3~10月	【候補地】三保配水池(三保市民の森入口)[水道局]、梅田川沿い、長津田みなみ台西調整池、中山北緑道先	区制40周年記念植樹(150万本植樹行動)	



4	緑区制40周年記念切手	5月	—	40周年を記念したオリジナルデザイン切手(80円切手)を1,000シート(10枚/シート)作成。	—
5	区制40周年記念第1回「緑区ガーデニングコンテスト」	9月14日～18日	緑区役所1階エントランス及びロビー	①「戸建て編」「マンション編」等に部門を分け、区民から写真を募集。表彰。②みどり愛護のつどいの会場において「ハンギングバスケット」展示。表彰。	—
6	緑区民ロードレース大会	3月1日	十日市場小・中学校周辺道路	区内でのフルマラソンはコース設定上無理なので、3～5キロ程度の短い距離を設定して、ロードレースを実施。	482
7	40周年記念メニューの発売	10月	—	商店街などを通じて公募した区内の飲食店に、はまなしといった緑区の地場の品物を使用するなどした記念メニューを作ってもらい、それらの紹介パンフレットを作成、記念メニューのコンテストを開催しました。	—
8	みんなの社会科見学!	8月21日 9月5日	区内	白山ハイテクパーク内の小野測器等の企業や三保地区にあるJ-SATの衛星管制センター、雪印の横浜チーズ工場、区内の神社仏閣など、日頃見ることができない場所の見学ツアーを開催する。また、見学の様子や協力企業の紹介等を記載したパンフレットも作成しました。	—
9	区民まつり事業	10月18日	四季の森公園	ステージイベント:区民参加による踊り・音楽演奏等 サブイベント:ストラックアウト(開港歴史ボードの的当て)、こども動物園・ウォークラリー・大道芸等 各種出店:ミニ地下鉄運行、展示PR・模擬店・ゲーム等	66,000
10	緑区制40周年記念誌発行事業	5月	—	記念冊子の発行:3000部(1000部配付、2000部販売(500円))	—
11	区制40周年PR事業	6月	—	タウンニュースへの掲載	—
12	みどり多文化フェスタ	10月11日	十日市場地区センター	世界の歌や踊りや遊び、スタンプラリー、民族衣装の試着、物品販売やフリーマーケット。	1,000
13	緑区民音楽祭事業	6月21日 9月13日 12月6日	緑公会堂	区民が身近な場所で音楽に触れる機会を提供。	1,500
14	緑区コーラスのつどい事業	10月25日	緑公会堂	区内で活動しているコーラスグループが集まり、日ごろの練習の成果を披露し、交流を深める合同発表会。今年は、ゲストに女性デュオのふうりん、TBSこども音楽コンクールでの最優秀賞受賞実績もある玉川学園ハンドベル・クアリアをお迎えし、「横浜市歌」等を一緒に歌いました。	500
15	みどり区民アート展	10月27日～ 11月1日	緑公会堂	開港150周年にちなんでテーマで募集した特別展を、「みどり区民アート展」に合わせて開催しました。	1,000
16	創造と森の声2009	7月～10月	横浜動物の森公園	森の自然を生かした美術作品の公開製作・展示やワークショップを行ないました。	1,000
17	緑・芸術祭その他事業	6・10・12・3月	—	サークルミニギャラリー、緑・芸術祭企画運営委員会の委員会運営経費等、参加イベント募集・支援	—
18	グリーンフェスタ in 八朔	5月10日	北八朔公園広場	ステージ発表や開港150周年パネル写真展、八朔特産品の販売、模擬店の出店	2,000
19	子ども達の夢の緑区づくり事業	平成22年3月	—	「夢みどり50プラン」の中で子ども達が描いた10年後の緑区を実現するために、どのような取り組みをすればよいかを、子ども会議のメンバーを中心に検討するとともに、実現可能なものから適宜取り組んでいきます。また、その取り組みを多くの区民にPRし広める場として、「夢みどりフェスタ」を開催。	—

	20	緑区G30・ストップ温暖化フェスタ'2010	平成22年3月	緑区市民活動支援センター、中山子どものはらっぱ	より良い環境を未来の子ども達に残せるよう、緑区が取り組んでいる「G30」ごみの減量と、地球温暖化防止の啓発や発表をするとともに、リユース食器を全面導入し、ごみの出ない環境に配慮したエコイベントを実施。	3,000
	21	未来へつなぐまちの魅力アップ事業(緑区ガイドボランティア養成講座)	年度	—	緑区の「緑と水の回廊ルート」を案内する市民ボランティアを養成	—
	22	未来へつなぐまちの魅力アップ事業(緑区の魅力PRツールの作成)	9月	—	区内の魅力スポットをめぐるルートの紹介や、歩いて楽しめる観光施設・おすすめスポット等の情報を盛り込んだPR誌の発行等	—
	23	未来へつなぐまちの魅力アップ事業(なかやま駅えきちか☆ステージの開催)	7月、9月、11月、2月	中山駅	グリーンライン中山駅構内を利用して、地域と協働で、区民参加型のイベント・音楽コンサート・ダンスなどのパフォーマンスを実施	—
	24	暮らしの衛生推進事業	8月	—	食の安全・安心をテーマに講演会を実施(緑をたっぷり召し上がれ事業と共催)	—
	25	健康づくり講演会	10月3日	緑公会堂	健康づくりをテーマに講演会・パネルディスカッションを実施	—
	26	緑をたっぷり召し上がれ事業	11月	—	野菜摂取量増加のため緑区で収穫される野菜を使った料理メニューを募集、優秀な作品に表彰するイベントを開催します。応募作品のレシピ集を発行し、有償配付しました。	—
	27	四季の森公園まつり	4月27日	四季の森公園	野外ステージ、模擬店、PRテント	20,000
	28	長津田ジャズまつり	11月14日	長津田駅	緑区出身のボーカルも参加する、18人のビッグバンドが出演。	520
	29	鴨居駅コン	9月20日	鴨居駅	鴨居駅コンコースを利用してコンサートを開催	300
	30	中山商協大盆踊り大会	8月29日			10,000
青葉	1	青葉区制15周年記念誌発行	11月	—	区内の各種店舗を紹介するタウンガイドを青葉区商店街連合会にて発行しました。ガイドには青葉区特集として青葉区の特徴、歴史等、区制15周年の記念となる内容を掲載しました。(50,000部)	—
	2	青葉区制15周年・横浜開港150周年記念 チューリップまつり事業	4月12日	横浜青葉スポーツ広場	横浜青葉スポーツ広場で色とりどりのチューリップ110,000本が咲き誇り、区民の皆様にも、自然の素晴らしさを満喫していただくとともに、花摘みを体験していただく。子供向けイベントやフリーマーケットや、開港150周年ブースや花文字により区民への開港機運を高めました。	20,000
	3	横浜開港150周年・区制15周年記念 青葉区民まつり事業	11月3日	青葉区役所周辺	ふるさと意識の醸成と地域連帯を図るため「あおば区民まつり・健康フェスティバル」を開催。青葉区制15周年・横浜開港150周年記念イベントとして、ステージを設け、開港機運を高め、啓発等を大々的に行いました。	50,000
	4	150万本植樹	—	こどもの国国線	子どもの国線西側350mで小学生と植樹イベントを実施	—
	5	横浜北部美術公募展開催事業(あおばアートの風プロジェクト)	7月21日～8月2日	アートフォーラム あざみ野	地域における芸術文化活動振興の一環として、横浜北部地域(港北区、緑区、都筑区、青葉区)の市民が美術に親しみ創作する環境を醸成するため、横浜市民ギャラリーあざみ野との協働による公募展を開催。	3,000
	6	青葉区制15周年・横浜開港150周年記念「青葉音楽プロジェクト」事業	10月4日	こどもの国	平成21年(2009年)の周年事業として、区民の手による記念ミュージカルや、街角音楽祭等、音楽にあふれたまち青葉を象徴する「青葉音楽プロジェクト」事業に取り組みました。	10,000
	7	郷土の歴史を未来に生かす事業	10月～	—	平成21年(2009年)が横浜開港150周年・青葉区制15周年に当たるのを記念し、郷土の歴史を振り返り未来に生かすため、記念誌の作成や記念事業の実施に取り組みました。	2,000
	8	あおば音楽ひろば事業	年間を通じて	青葉区役所ほか	毎月1回区役所1回ホールで区内で活動している音楽家の演奏会を実施し、区民が気軽に音楽を楽しむ機会を提供。	2,500
	9	青葉音楽プロジェクト事業	10月4日 平成22年1月22日～24日	こどもの国 青葉公会堂	青葉音楽フェスティバル(10月)、青葉区小中学生ミュージカル開催(1月)	1,500

	10	タイムカプセル 2009	～11月(受付)	区民まつり会場	親から子どもへの手紙を預かり、15年後の区制30周年に子どもたちに届けました。	—
	11	日本体育大学実演会区民招待	11月6日	ヨコハマアリーナ	日本体育大学で2年に一度開催している体操祭を区との共催事業として開催	1,000
	12	親子で行こうベイサイドエリア見学会	平成21年7月31日	横浜港およびベイサイドエリア	区民を横浜港および周辺施設に招待	80
	13	区制15周年記念式典	11月3日	青葉公会堂	区制15周年を節目の機会として、記念式典や伝統芸能を实践している団体を中心としたアトラクション等を実施	500
	14	あざみ野まつり	8月29日	小学校予定地(あざみ野1-15)	子どもの故郷意識を育み、地域住民相互のコミュニケーションを深めるため、体験型のまつりを実施。	20,000
都筑	1	区民まつり&アニバーサリーウィークウエルカムつづき	11月3日	センター南駅センター北駅みなきたウォーク	開港150周年とともに区制15周年にちなんだイベントを盛り込み、より多くの区民が楽しめる区民まつりとなりました。	150,000
	2	つづきウォーク&フェスタ	6月7日、11月23日	区内	区制15周年(11月)、開港150周年(6月)をテーマに親子で楽しめる催しを実施しました。つづき世界の市場と同時開催	3,000
	3	つづき世界の市場	6月7日	すきっぷ広場	在住外国人や外国人支援を行なっている日本人サポートボランティアによる各国の文化紹介を行ないました。つづきウォーク&フェスタと同時開催。	20,000
	4	都筑野菜の普及・促進	通年	都筑区役所	都筑区の特産である野菜を広く区民にPRするため、農家の協力を得て庁舎での直売会を開催。	—
	5	歴史的記録写真収集	随時	—	区内の風景写真・景観写真を広く収集・蓄積し、区の歴史的資料として保存・活用する。収集した写真をウェブページ等で広く紹介・周知する事によりふるさと意識の醸成を図る。	—
	6	記念植樹	11月	都筑区役所	区制15周年、開港150周年を記念し、区役所に「ローザ・つづき」を利用したバラガーデンを整備。	50
	7	都筑こどもエコ・フェスタ	11月14日	都筑公会堂 都筑区民ホール	区内保育園、小学校、中学校や区内立地企業等によるエコ活動の発表や展示、エコキャラクター大集合や白井貴子さんのトーク等を行ないました。	1800
	8	つづきジュニア編集局	随時	—	青少年が開港150周年や区制15周年関連行事などを取材し、区のホームページで記事を発信する事で、市政・区政への関心を高め、社会と関わることで人と人とのつながりの大切さを学ぶとともに、記念事業に関わることでふるさと意識の醸成を図りました。	40
	9	都筑区制15周年式典	11月7日	都筑区民ホール 都筑公会堂	区制15周年を記念し、記念式典を開催しました。 【第1部】 都筑区制功労者の表彰 中村礼子さんユニホーム寄贈式 スピーチ 【第2部】 記念コンサート(ダ・カーポ)	300
	10	つづきミュージックバトル	11月8日	都筑公会堂	中学生・高校生を対象にした音楽コンテストにおいて、音楽を通じた夢づくを支援しました。	570
	11	福祉農園	10月25日	JA横浜多目的広場	障害者と地域住民によるアトラクションといも堀体験	2,000
	12	都筑区民生委員児童委員協議会・都筑区制15周年記念講演会	11月14日	都筑公会堂	高齢者にとっての都筑区の魅力を語る。	500

	13	あったかハートつづき 安心・安全フェア	11月15日	すきっぷ広場	次世代の「つづきっ子」が夢や希望を持ち、都筑区が「安全・安心を実感できる街」となるよう、今後の消防の体制を区民にアピールしました。 ・ステージコーナー わんわん消防隊足式、音楽隊演奏、救助演技、消防団寸劇等 ・体験コーナー 放水体験、煙体験、子どもレンジャー体験等 ・常設コーナー 車両展示、防災相談コーナー等	3,000
	14	区民の森(仮称)整備事業	11月23日	整備予定地	横浜市へ寄贈された約3,000㎡の樹林地を都筑区制15周年を記念する「区民の森(仮称)」として整備し、都市緑地として保全するため、関係者及び仲川小学校児童による植樹を行いました。	63
戸塚	1	戸塚区制70周年記念式典	5月10日	戸塚公会堂	区民栄誉賞、区マスコットのデザイン・愛称優秀作品、70周年写真集優秀作品の表彰や区民オーケストラによる記念コンサートを行いました。	500
	2	戸塚駅周辺魅力アップキャンペーン in 柏尾川	通年	戸塚小学校体育館・グランドおよび柏尾川河川敷	柏尾川の魅力を高め、皆が親しめるきれいな川にするための啓発イベントとして、展示やステージイベントを中心に行いました。	700
	3	戸塚フリーステージ	通年	戸塚駅東口遊歩スケア(ペDESTリアンデッキ上)ほか	駅周辺の活性化のために、文化芸術イベントや子供とのふれあいイベントを行いました。	20,000
	4	とつか夢結び応援事業～戸塚区制70周年・横浜開港150周年に向けた区民活動支援～	通年	区内各地	※補助金交付事業:戸塚区の魅力の再発見、創造、広報に関する事業や、区制70周年、開港150周年に関する事業等を行う区民組織等への補助金交付	-
	5	戸塚ふれあい区民まつり 戸塚ふれあい文化祭	11月3日 13～15日 21～23日	東戸塚小学校、戸塚公会堂、戸塚地区センター、戸塚図書館	区民まつりを開催しました。また、区民が日ごろの文化活動の成果を発表するとともに、文化活動を通じた地域住民との交流を図る文化祭を開催しました。	30,000
	6	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	8月、10月、1月	戸塚公会堂ほか	区内児童・生徒による音楽・美術の発表会を開催しました。	1,600
	7	戸塚区民ゴスペルコンサート	11月28日	戸塚公会堂	公募により集まった市民クワイアが、プロの指導を受けてゴスペルを練習の上、コンサート当日にプロのステージの一部に参加し、プロ・観客と一緒にゴスペルを歌いました。	500
	8	戸塚クラシックコンサート	10月17日、平成22年3月	戸塚公会堂	オーディションによって選ばれた演奏家が10月と3月のコンサートに出演し、区民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供します。	1,000
	9	とつかお結びフォーラム	6月27日	戸塚小学校	各分野で活躍する活動団体や企業などの交流イベントを行いました。	700
栄	1	キャンドルナイト in さかえ 2009 夏	7月18日	本郷台駅前広場	地球温暖化防止等の啓発を目的に、「地球にやさしい広場」のシンボルイベントとしてキャンドルナイトを実施しました。	3,000
	2	横浜開港150周年記念栄区民絵画展	7月～	本郷中学校ファンケルギャラリー	昨年度に引き続き、「開国開港」をテーマに絵画を募集し、区民まつりやファンケルギャラリーに展示。区民まつりで表彰も行いました。	10,000
	3	横浜開港150周年栄区記念モニュメント製作事業「本郷台駅前に栄区の未来を描こう。」	7月～10月	本郷台駅前広場等	栄区内の小学生たちが、地球環境保護や未来の栄区をテーマに描いた150枚のタイルを本郷台駅前の花壇に設置・展示しました。	
	4	世界子どもスポーツサミット in 横浜	8月22日	上郷森の家	開港150周年を記念して、キッズを含めた国際トライアスロンを開催。参加する子どもたちが上郷森の家に宿泊するため、栄区の子どもたちと交流を図りました。	200
	5	栄区民まつり	10月31日	横浜市立本郷中学校	子どもから高齢者までの多くの区民が楽しめる、地域住民の「ふれあいの場」としての定着化と、幅広い区民の参加を推進するために、栄区連合町内会をはじめとする各種団体による実行委員会を組織し、区民による、区民のための「まつり」を行いました。	45,000

	6	夏休みコンサート	7月26日	栄公会堂	交響楽団による音楽を親子・家族で楽しむ機会を提供することにより、文化振興を図りました。	600
	7	栄区民芸術祭	10月11日～11月14日	栄公会堂 栄区民文化センター	栄区内で文化振興事業を目的として活動している個人、団体の技術の向上を支援するとともに、発表の場を作り、地域、文化交流のきっかけとしました。また、区民が音楽をはじめ、さまざまな芸術に触れる機会を増やし、栄区の文化振興の発展を図りました。	15,000
	8	横浜開港150周年記念区民プロデュース事業	7月～平成22年3月	栄公会堂他	区民の手によって企画された講座に、受講生として区民が参加しました。	—
	9	各地区連合での盛り上げ事業	4月～	各地区	各地区連合自治会等で実施される記念事業の盛り上げに対して、のぼり旗や展示等により支援を行いました。	—
泉	1	150記念ソフトボール大会	4月12日～5月31日	区内グラウンド	生涯スポーツであるソフトボールを通して、小学生からシニアまでの愛好者を対象に開港150周年記念大会を開催。	7,000
	2	150記念自治体交流サッカー大会	7月25日～26日	神明台スポーツ広場	2002サッカーワールドカップ関連事業の一環として、同じ「泉区」という縁で、仙台市泉区を対戦相手として実施。	700
	3	150記念歴史パネル展	6月～	区内各施設	開港当時の泉区の歴史の変遷を地域が保有する資料や写真等の展示を通して開港と泉区の関りを再発見する。また、小学生を対象に泉区の歴史がひと目でわかるリーフレットを作成して配布。	3,000
	4	このよこはまにまさるあらめや	5月29日～30日	泉公会堂	舞踊発表会	600
	5	健康横浜21 野菜を多く食べよう	6月18日～19日	相鉄ローゼン	食育イベント	1,000
	6	150 いずみ盆踊り大会	7月23日	和泉遊水地	地域住民による納涼イベント	400
	7	150記念交通安全親子教室	7月29日	中田小学校	親子を対象とした150周年記念安全教室	300
	8	Y150 記念無線局開設	8月30日～31日	和泉遊水地	総務省より「8N1Y」というコールサインで特別局免許を取得。その開局式を挙げる。	80
	9	150記念 湘南の舞	9月19日	泉公会堂	舞踊発表会	700
	10	泉区横浜開港150周年記念中央イベント	11月3日	和泉遊水地	ステージショー、模擬店、体験コーナー	31,000
	11	150記念青少年フェスティバル	11月29日	和泉遊水地	ブラスバンドやマーチングバンド演奏、模擬店、昔あそび、紙ヒコーキ大会等	2,000
	12	150記念チャリティー芸能大会	12月5日	泉公会堂	カラオケと舞踊の披露	1,000
	13	150記念さわやかスポーツ大会	12月6日	和泉遊水地	区内30チームによるソフトバレー大会	100
	14	地区・団体開催イベント支援事業	通年	区内	区内の各地域において地区連合や各種団体が実施する150周年記念イベントに対して実行委員会が支援を行なう。	—
	15	150記念キャンドルナイト(主催:相模鉄道)	11月3日	和泉川地蔵原の水辺	キャンドル煌めく水辺での野外コンサートや家族で楽しめる飲食ブース等を開設。	15,000
	16	開港150周年の森記念植樹	11月16日	神明台処分地	神明台処分地において、開港150周年を記念し、150万本植樹行動の一環として、地元小学校が参加して、ドングリの苗を記念植樹しました。	250
	17	健康づくり活動フェア	11月11日～15日	イトーヨーカドー立場支店	身近な場所でお子様から大人まで体験できる健康チェックや野菜たっぷりメニューの紹介など	2,050
瀬谷	1	花いっぱい野外ギャラリー	3月14日～11月9日	瀬谷駅北口駅前広場	区民、事業者・団体等が協働で仮設花壇を設置し、区民ボランティアが花を育てます。横浜の西の玄関瀬谷駅を花で彩るとともに、様々な世代の人々・立場の人が交流することで地域活性化を図る。	900

2	育苗モデル事業「花まるプロジェクト」	・ 通年	瀬谷区橋戸3丁目 (通称:育苗センター)	区民自ら花苗・苗木を育成して、地域に育苗のノウハウを伝承するとともに、花いっぱいの野外ギャラリー等に苗の供給を行う。	50
3	瀬谷フェスティバル	11月1日	上瀬谷通信施設 のはらっぱ	「セーフティせや」「エコ&健康」「やさしさ交流」を内容とする、「SEYAスタイル」の推進・区民への定着を図るとともに、瀬谷区制40周年・開港150周年をPR。	50,000
4	せやキッズデイ	5月17日	二つ橋小学校	すべての子どもたちが参加し交流できるイベント「せやキッズデイ」に、開港150周年区制40周年に関連するプログラムや展示ブース等を設け、お祝いの気運を高め、地域交流の活性化を図る。	3,000
5	瀬谷区制40周年記念式典	10月3日	瀬谷公会堂	瀬谷区制40周年を記念して、多くの区民の皆さまとともに、区政40周年をお祝いしました。当日は、記念式典の他に、区内の小学校、中学校による演奏会などを行ないました。	400
6	スタンプラリー「せや魅力再発見！」	4月27日～ 平成22年3月 31日	区内	区民に瀬谷区の魅力を再発見してもらうため、年間を通して様々な関連事業が対象となるスタンプラリーを実施。	10,000

## ウ マザーポートエリア

### ① 各商店街の取組

開港 150 周年を契機として多くの観光客が横浜に来るこのチャンスを活かすため地元商店街が新たな取組を行いました。

事業名	団体名	開催日程	事業概要	開催地
開国博 Y150 開催記念 みなとみらい21タッチdeゲットM Mさんぽ/プレゼントラリー&み なとみらい21クーポンブック	みなとみらい21SP推 進委員会	4/28 ～ 9/27	みなとみらいの参加各施設と、開国博 Y150 の 会場内、東急線渋谷駅にタッチポイントを設置 し、交通系ICカードや携帯電話を使用して、気 軽に参加できるキャンペーンとして、相互の集 客、回遊性の向上をはかりました。	みなとみらい21地区 ランドマークプラザ クイーンズスクエア横 浜/開国博 Y150 会場 外8箇所
横浜開港 150 周年プレミアム アイスクリーム発祥記念イベント2 009	馬車道商店街協同組 合	5/7 ～ 5/9	馬車道あいす街頭プレゼント、アイスクリーム 発祥記念「馬車道マルシェ」、馬車道寄席、馬 車道シアター「幕末あいすくりん伝説 房蔵くん がゆく」開港 150 周年馬車道オリジナルフラッ グの掲出	馬車道通り、馬車道広 場、関内ホール
ファイヤードラゴン	横浜ドラゴンポートレ ース協議会	5/30	山下公園前の海上にて、かがり火を点けたド ラゴンポート「ファイヤードラゴン」のパフォー マンスを行うことで開港 150 周年を祝うとともに、 新たな100年に向かって新生横浜の未来を 照らす灯りとして、横浜における港湾活性化と 海洋環境の向上に寄与した。	横浜港 山下公園前 海上、山下公園内
横浜開港 150 周年記念ZANGIRI ヘアショー	Y150 ザンギリヘア ショー実行委員会	6/2	開港 150 周年を記念し西洋理髪処発祥の地が 横浜で、あることを広く周知し、理容・美容業の 発展に寄与するとともに、商店街の振興を行っ た。	JRAエクセル伊勢佐 木、イセザキ・モール 1・2St .
横浜開港 150 周年記念事業祝賀 パレード	セントラルベイYMC 協議会(中華街発展 会、元町SS会、山下 公園通り会)(横浜開 港 150 周年記念事業 祝賀パレード実行委 員会)	6/20	地元関係団体が連携し、開港 150 周年のパレ ードを実施します。 山下公園→横浜中華街→横浜元町→山下公 園通り→山下公園 をパレード行進。	山下公園 横浜中華街 横浜元町 山下公園通り
中華街文化フェア～灯籠會	横浜中華街発展会協 同組合	8/12 ～ 10/12	開港 150 周年を記念して、「多文化の共存」の 願いを込めた、中華街の「混合文化」を過去の 写真や大型ランタン(灯籠)を用いて行った。ま たシンポジウムを開催し、横浜開港の歴史に 携わってきた中国人の役割を再認識するとと もに、今後の中華街の在るべき姿を考えまし た。	横浜中華街 横浜開港資料館
大通り公園納涼ガーデンまつり	横浜開港 150 周年記 念「大通り公園納涼ガ ーデンまつり」実行委 員会(中区第一地区 中部連合町内会、 (財)緑の協会、 (財)YCVB、(財)造園 協会、商工会議所、 市)	8/17 ～ 8/26	「空調に頼らず涼風の中で夏の夕を過ごす」を コンセプトに、再整備を進めている大通り公園 を、環境をテーマとして有効活用することによ り、環境にやさしい夏の過ごし方を提案すると ともに、地域の活性化と開港 150 周年の盛り 上げを図った。	大通り公園 石の広場 周辺
第31回ヨコハマカーニバル	ヨコハマカーニバル実 行委員会	8/22 ～ 8/23	「ハマこい踊り」などを通して、横浜の文化の創 造に寄与すること及び、横浜市等と連携し開 港 150 周年記念事業の一環として、横浜の元 気を全国に発信することを目的として実施しま した。	Y150 トゥモローパーク 会場外
横浜開港 150 周年記念キッズマ ーチングパレード	Y150 キッズマーチ ングパレード実行委員 会	9/5	開港 150 周年を記念し、日本初のマーチング バンドといわれている関東学院や神奈川県警 察音楽隊の地元、横浜で、未来の横浜を担う 子ども達の盛大なパレードを実施するとと もに、商店街の振興を行った。	イセザキ・モール1～7 St .

親子そろってそば祭り	神奈川県種類生活衛生同業組合、伊勢佐木、山手、南第一、南第二、磯子、金沢、保土ヶ谷、西、神奈川支部	9/6	市内商店街とそばや業界が開港150周年のにぎわいの中で活性化につながるイベントに参加して地域のはなやかさと各店舗の改革につなげます。「マザーポートエリア」内で回遊をしていただき賑やかさと楽しさを創出することを目的としました。	大さん橋大ホール
スローフードニッポン2009 国際スローフードウィーク in 横浜	スローフードニッポン実行委員会	10/16 ～ 11/1	開港150周年を記念して、ベイエリアの各所に舞台を設定して展開される、スローフードの国際的なイベント。スローフードをテーマに、マーケットやピクニック、エクスカージョン(遠足)、映画祭、期間限定の特別ディナーなどおおいしく楽しいイベントを開催。	横浜市内各所
横浜開港150周年記念 ヨコハマ開外・大通り公園ジャジーフェス「トライアル」	ヨコハマ開外・大通り公園ジャジーフェス実行委員会	10/24	近隣の町内会が声掛けあい、大通り公園をステージに、開港150周年を記念して、ジャズやブルースなどライト・ミュージック系の演奏ステージのほかアートなどのコラボレーションや地元学校生徒との交流など、のびやかに気軽に楽しめる市民イベント広場の開設にトライアルしました。	JRAエクセル伊勢佐木、イセザキ・モール1・2St
開港150周年記念 ガス灯の魅力PRイベント	馬車道商店街協同組合	10/31	・開港150周年を機に横浜の開港の歴史的資源であるガス灯を観光都市横浜としてPRした。 ・馬車道まつりの一環のガス灯点灯式や観光資源であるガス灯を効果的に活用しマザーポートエリアの回遊性・集客性を図るイベントを実施する。 ・ガス灯を効果的にPRしていく。	馬車道通り 馬車道広場 開内ホール
横浜開港150周年記念 元町ショッピングストリート X'masイルミネーション	協同組合元町エスエス会	11/7 ～ 12/25	開港150周年を記念して、煌めくホワイトLEDイルミネーションを追加！スノーシャワーイルミネーションやLEDスポットライトの導入によってイルミネーションに動きを付加しました。またストリートツリーはデザインを一新し20台がモール全体にとびきりの美しさを演出します。元町に訪れるお客様のために素敵なホワイトクリスマスをプレゼントしました。	元町商店街

## ② 横浜開港資料館ライトアップ・オープンカフェ事業

横浜の歴史を見つめてきた“開港場よこはま”のシンボルであり、たねまるのモデルにもなった当館中庭にある『たまぐす』と、横浜市指定文化財である『旧英国総領事館』をライトアップし中庭を夜間開放し、あわせて、当館喫茶室「Aujardin de Perry (ペリーの庭で)」も夜間営業を開始し、くつろぎある空間を提供。(ライトアップ・中庭夜間開放：平成21年4月28日～9月27日)

## ③ 臨時案内拠点の設置

マザーポートエリア内の回遊性を高めるために、臨時の観光案内拠点を設置し、周辺のイベントや観光情報等を発信。



## ④ 横浜ちよこつと観光インフォメーション～コンビニエンスストア3社との連携～

財団法人横浜観光コンベンション・ビューローと横浜市で、開港150周年を契機に、観光やコンベンションで横浜を訪れる方の「顧客満足」を高めるため、平成17年2月から推進している、民間観光案内所事業を拡充。(マニュアルの作成・研修の実施、観光のご案内、周辺の道案内、観光客がトイレ利用できるよう協力いただいた)

### ・協力事業者

H17.2事業開始時 21事業者 26か所⇒H21.5.1現在 87事業者 182か所

(〔内〕：参加コンビニエンスストア：スリーエフ：13店舗、セブンイレブン：15店舗、LAWSON：28店舗)



- ⑤ ヨコハマまち歩き 150 (Y150 マザーポートまち歩きコース)  
開国博 Y150 開催期間に合わせ、ボランティアガイドによる「まち歩き」ガイドツアーを実施。

- ⑥ マザーポートエリア クリーンアップ作戦  
マザーポートエリアを美しく、過ごしやすい街にするため、横浜を愛する市民ボランティアをはじめ、地元商店街・町内会、企業、高校等との協働で、5月30日「ごみゼロの日」にマザーポートエリアの一斉清掃を実施。





## エ 地域や民間主体の取組

- ① 150円商店街  
横浜市商店街連合会が主体となり、市内の多くの商店街が連携し、「150円商店街」を実施。
- ・開催日：6/13、8/8、10/10、12/12、2/13（偶数月第2土曜日）
  - ・会場：開催商店街 各店舗店頭
  - ・開催商店街数：第1回 113 商店街、第2回 115 商店街、第3回 116 商店街、第4回 117 商店街（※市商連加盟商店街数：317 商店街）

## ② 開港 150 周年後援事業

文化芸術	H19 59 件	JAZZ BY THE SEA、横浜ジャズチャリティーコンサート、横浜レゲエ祭 2007、Asia Art Festival 2007、アートリンク他
	H20 98 件	10,000 SAMBA!、サザンオールスターズ「真夏の大感謝祭」30 周年記念 LIVE、第 28 回 YOKOHAMA 本牧ジャズ祭他
	H21 58 件	戸塚混声合唱団第 12 回演奏会、横浜スカーフ展、横浜市歌制定 100 周年を祝うコンサート、都響スペシャル「横浜公演」他
スポーツ	H19 8 件	ヨコハマ・スポーツ・ワールド 2007、黒船物見遊山 2007、日産スタジアム駅伝大会他
	H20 41 件	横浜開港記念特別ゲーム 2008、プロ野球オールスターゲーム 2008、「横浜港ポート天国」横浜開港 150 周年記念横浜 AA カップ他
	H21 16 件	第 3 回 YSCC 横浜開港記念ミニサッカー大会、日米青少年ベースボールキャンプ 2009
歴史	H19 10 件	近代水道創設 120 周年記念講演会、「日本近代漫画の始祖チャールズ・ワグマンとジョルジュ・ビゴーが見た幕末・明治のニッポン」展他
	H20 29 件	井伊直弼と開国 150 年祭歴史講演会&近江みちの国講座、ハワイ日系人歴史絵巻展、横浜開港 150 周年記念横浜開港と宣教師—翻訳聖書の誕生—他
	H21 17 件	横浜開港 150 周年記念講演会「近代横浜を生きた女たち」、慶應義塾創立 150 年記念「福澤諭吉と神奈川」、横浜中華街 150 年 落地生根へ歳月他
その他イベント	H19 46 件	国際花火大会、ワールドフェスタ インターナショナル ポートショー、イベント JAPAN 2008、横浜・開港キャンドルカフェ 2007、春の大道芸
	H20 138 件	国際花火大会、横浜国際マリンエンターテイメントショー、世界こどもサミット in 横浜、第 9 回横浜健康散策他
	H21 68 件	開港 150 周年祝賀パレード、〈地球環境と子供の未来を考える〉「冰山ルリの大航海」、DAYS 横浜国際フォトジャーナリズム・フェスティバル他
合計	588 件	

(5) 創造都市の地域展開

	事業名	概要
①	クラシック・ヨコハマ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本学生音楽コンクール全国大会の横浜での開催をきっかけに始まったクラシック音楽の音楽祭。</li> <li>・2009.11～2010.1の期間、8箇所で開催。</li> </ul> 
②	文化芸術の創造性を活かした地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷区制40周年を記念し長屋門公園及び長屋門プロムナードで七夕灯籠祭りを開催。</li> </ul>
③	横浜あかりアーツコラボレーション 2009「春霞金港夢—Asian Dream—」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中韓を代表する舞踊家によるオムニバス形式の新作舞踊劇を横浜美術館前・グランモール公園特設会場上演。(6/14開催)</li> </ul> 
④	横浜アートサイト2009	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心臨海部における先進的なアート活動を全市的に展開。</li> <li>・2009.7～2009.12の期間、6区で開催。</li> </ul>

(6) 次世代育成・国際化

	事業名	概要
①	<p>小中一貫英語教育</p> 	<p>・地域特性を活かした語学教育戦略を進めるために、国語教育を充実するとともに、小中学校で一貫した英語教育を推進し、国際都市・横浜の未来を担う人材を育成。全小学校に、英語指導助手（AET）を配置し、外国人非常勤講師（IUI）を派遣。</p>
②	<p>横浜開港 150 周年記念副読本発行事業 ～小学生用副読本『わたしたちの横浜』、中学生用副読本『わかるヨコハマ』～</p>	<p>・横浜開港 150 周年を迎えるのを機に、横浜の子どもたちが、自分たちのふるさと「よこはま」の価値を確認する取組を企画</p> 
③	<p>横浜サイエンスフロンティア高等学校の整備</p>	<p>・先端科学技術の知識を活用して、世界で幅広く活躍する人間を育成することを教育理念として、平成 21 年 4 月に横浜市鶴見区に開校。</p> 
④	<p>横浜クリエイティブシティ国際会議 2009</p> 	<p>・横浜市がこれまで進めてきたクリエイティブシティ・ヨコハマの取組を国内・外に発信するとともに、今後の創造都市の新たな方向性及び戦略を国内・外の多様な参加者で検討する国際会議を開催。</p> <p>平成 21 年 9 月 4 日（金）～9 月 6 日（日） ／関内ホール、横浜開港記念会館、ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター他 会議参加者 約 2,000 人</p>
⑤	<p>2009 年シティネット横浜大会</p> 	<p>・横浜市が会長都市を務める「シティネット（正式名称：アジア太平洋都市間協力ネットワーク）」の 4 年に一度の大会が横浜で開催。気候変動、防災、インフラ整備など都市が抱える様々な課題に対する一層の都市間協力の推進について議論。</p> <p>平成 21 年 9 月 7 日（月）～9 月 11 日（金） ／パシフィコ横浜会議センター、神奈川県民ホール 参加者数 約 2,000 人</p>



## 開国博 Y150 の開催後も含めた社会的貢献

### 1 開国博 Y150 の取組 . . . . . (P70 参考 4-1)

財団法人横浜開港 150 周年協会は、開国博 Y150 開催にあたり、市の開港 150 周年基本ビジョンをもとに、8つの具体的なテーマを設定して、事業に取り組みました。これらの取組は、「横浜開港 150 周年 基本ビジョン」や「横浜開港 150 周年 基本計画」を踏まえたものであり、社会に貢献する公益的な取組と考えられます。

#### (1) 歴史

「Y150 教育プログラム」、横浜開港 150 年の歴史等の映像・体験型展示等による、横浜の開港、近代日本の開国の歴史や先人たちの軌跡を学ぶ機会の提供。

#### (2) 港・海・船

黒船乗船体験や多種多様な船舶の市民等への一般公開等による、港横浜のアピール。

#### (3) 教育

博物館等周辺施設と連携し「歴史・港」「環境・科学技術」等の計 38 コースの「Y150 教育プログラム」の実施、(549 校約 210, 878 人参加)

#### (4) 市民力の発揮

運営ボランティアやベイサイド市民協催、ヒルサイド市民創発、区民の力で 150 艘の船を製作した横浜 FUNE プロジェクト等、延べ約 87, 000 人の市民参加。新たな市民活動のきっかけづくりとグループ間の新たなつながりを促進。

#### (5) 環境

地球環境の保全等環境メッセージを含んだコンテンツの展開、会場全体で環境を考える仕掛けづくり。緑化壁の設置等による「環境への取り組み」の重要性のアピール。

#### (6) 様々な主体 (国・県・他都市・企業等) との連携

生糸貿易に縁の 1 都 5 県 37 市町村による展示・出展、開港 5 都市・5 か国の展示紹介・物産展、神奈川県下 32 市町村の物産展、宇宙航空研究開発機構等の協力による船舶や宇宙に関する展示、JR デスティネーションキャンペーンなど、様々な主体との連携強化。

#### (7) 都市プロモーション

マザーポートエリア (周辺地区) 及び市内商店街等との連携による、来街者の回遊性の向上。

### 2 開国博 Y150 の開催に伴う各種効果 . . . . . (P78 参考 4-2)

上記 1 の取組により、様々な社会的貢献がなされたと考えられますが、定量的に把握できる効果としては、以下のとおりです。

- (1) 誘客効果 : 総来場者約 717 万人、観光入込客数 約 5, 428 万人  
(対前年比 1, 175 万人増)
- (2) 経済波及効果 : 開国博 Y150 (プレイベント含む) 効果が約 407 億円
- (3) 市民力向上効果 : 10 事業 延べ約 87, 000 人の市民参加
- (4) イメージ向上効果 : メディアへの掲載 6, 871 件 広告換算金額 約 110 億円

### 3 開国博 Y150 開催後の「市民の力」継承例 . . . . . (P82 参考 4-3)

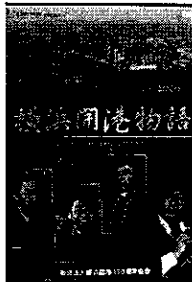

開国博 Y150 開催後も、参加した市民等が活動を継続しています。

・アフターヒルサイドによる活動発表、象の鼻サポーターとしてのボランティア活動ほか

(参考4-1) 開国博 Y150 の社会的貢献の取組

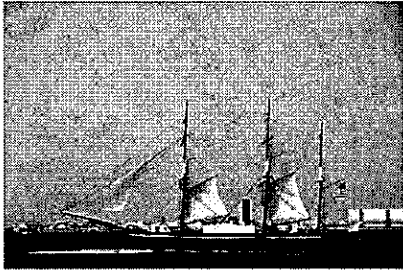
(1) 歴史

市立小中学校等を対象とした、「Y150 教育プログラム」での歴史の学習、会場内での横浜開港 150 年の歴史や開国・開港の時代の映像、体験型展示のほか、神奈川新聞発行の「横濱開港新聞」をはじめ、マスメディアや各種団体の記念図書を通じて開国・開港の歴史を紹介するなど、横浜の開港、近代日本の開国の歴史や先人たちの軌跡を学ぶ機会を、会場のみならず、周辺施設や広くマスコミを通じて、紹介、周知しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>市立小中学校等を対象として、Y150 教育プログラムを設定し、Y150 はじまりの森会場と歴史を学習できる周辺施設を見学し、次世代を担う子どもたちに「横浜の開港の歴史」の学習の場を提供した。</li> <li>会場内「横浜ものがたり」ゾーンにおいて、横浜開港 150 年の歴史や開国・開港の時代を、映像や体験型展示で展開し、横浜の先人たちの足跡をたどるとともに、日本の近代化に果たした横浜の役割を紹介した。</li> <li>神奈川新聞により、横浜開港からの時代の出来事を中心に「横濱開港新聞」を発行し、横浜開港の歴史への理解と、150 周年の周知を図った。</li> <li>「絹の道」都市間連携として実施した企画の中で、各関係地方新聞（神奈川新聞、信濃毎日新聞、山梨日日新聞、上毛新聞）が、「絹」をテーマに、「人」「地域」の歴史を楽しみながら理解できる内容で、各社 50 回にわたる連載をし、横浜・神奈川だけでなく、長野、山梨、群馬、東京の都県に横浜開港の歴史を紹介した。</li> <li>横浜開港 150 周年記念図書「みなとびとの記」、写真集「横濱みなとの唄」を発行し、近代日本の開国・開港の歴史を紹介した。</li> <li>市民・企業から投稿した開港当時の写真をインターネット上で公開するとともに、スライド写真展「横濱アーカイブ」の開催し、近代日本の開国・開港の歴史（横浜の素顔）を紹介した。</li> <li>関連施設入館 5～9 月実績 <table border="1" data-bbox="239 1612 1069 1904"> <tr> <td>神奈川県立歴史博物館</td> <td>81,597 人</td> <td>前年比</td> <td>23.0%増</td> </tr> <tr> <td>日本郵船歴史博物館</td> <td>16,786 人</td> <td></td> <td>28.4%増</td> </tr> <tr> <td>横浜開港資料館</td> <td>49,933 人</td> <td></td> <td>63.2%増</td> </tr> <tr> <td>日本新聞博物館</td> <td>25,992 人</td> <td></td> <td>27.0%増</td> </tr> <tr> <td>横浜税関資料展示館</td> <td>52,953 人</td> <td></td> <td>67.0%増</td> </tr> <tr> <td>横浜市歴史博物館</td> <td>131,489 人</td> <td></td> <td>11.7%増</td> </tr> </table> </li> </ul>	神奈川県立歴史博物館	81,597 人	前年比	23.0%増	日本郵船歴史博物館	16,786 人		28.4%増	横浜開港資料館	49,933 人		63.2%増	日本新聞博物館	25,992 人		27.0%増	横浜税関資料展示館	52,953 人		67.0%増	横浜市歴史博物館	131,489 人		11.7%増		<p>「海と歴史コース」 426 校 93,531 人</p> <p>22 回 計 570 万部</p> <p>総発行部数 (4 紙計) 143 万部×50 回 =7,150 万部</p> <p>図書 20,000 部 写真集 5,000 部 投稿写真約 5,600 点 インターネットアクセス 数 約 45 万件 来場者 約 5,000 人</p> 
神奈川県立歴史博物館	81,597 人	前年比	23.0%増																							
日本郵船歴史博物館	16,786 人		28.4%増																							
横浜開港資料館	49,933 人		63.2%増																							
日本新聞博物館	25,992 人		27.0%増																							
横浜税関資料展示館	52,953 人		67.0%増																							
横浜市歴史博物館	131,489 人		11.7%増																							

(2) 港・海・船

3期にわたる黒船乗船体験や国・大学等の協力による多種多様な船舶の市民等への一般公開により、港横浜のアピールとともに、科学技術の先端を紹介し、市民等に大いに楽しんでいただきました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>黒船乗船体験 5月、6月、8月と3回に分けて黒船「観光丸」の公開 約1時間程度の航路にて1日4回運行(1回300名の乗船) 夜は、山下公園沖にてライトアップ</li> </ul>		<p>延べ日数44日 乗船人数約48,000人</p>																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育プログラムでの乗船体験 黒船、東海大学望星丸、横浜市はまどり、ロイヤルウイングに乗船体験</li> </ul>		<p>「海と歴史コース」 426校 93,531人</p>																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶一般公開 防衛省・海上自衛隊、海上保安庁、メキシコ及びコロンビア大使館、海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学等の協力により、様々な機能を持つ船舶の一般公開</li> </ul>		<p>公開延べ日数40日 乗船人数 約127,000人</p>																								
<p>【公開船舶】</p>																										
<p>防衛省・海上自衛隊 (護衛艦ひゅうが、護衛艦しらゆき) 海洋研究開発機構 (よこすか、なつしま、かいよう、かいいい、白鳳丸) 東海大学 (望星丸) メキシコ (軍帆船クワウテモック号) コロンビア (軍帆船グロリア号)</p>																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>関連施設入館実績</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>横浜みなと博物館</td> <td>72,094人</td> <td>前年比</td> <td>72.6%増</td> </tr> <tr> <td>5~9月実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>帆船日本丸</td> <td>83,643人</td> <td></td> <td>79.7%増</td> </tr> <tr> <td>日本郵船氷川丸</td> <td>122,267人</td> <td></td> <td>18.3%増</td> </tr> <tr> <td>海上保安資料館</td> <td>179,611人</td> <td></td> <td>69.6%増</td> </tr> <tr> <td>大棧橋客船ターミナル</td> <td>1,177,055人</td> <td></td> <td>36.6%増</td> </tr> </table>	横浜みなと博物館	72,094人	前年比	72.6%増	5~9月実績				帆船日本丸	83,643人		79.7%増	日本郵船氷川丸	122,267人		18.3%増	海上保安資料館	179,611人		69.6%増	大棧橋客船ターミナル	1,177,055人		36.6%増	
横浜みなと博物館	72,094人	前年比	72.6%増																							
5~9月実績																										
帆船日本丸	83,643人		79.7%増																							
日本郵船氷川丸	122,267人		18.3%増																							
海上保安資料館	179,611人		69.6%増																							
大棧橋客船ターミナル	1,177,055人		36.6%増																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光船実績</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>マリーナルージュ</td> <td>34,610人</td> <td></td> <td>7.2%増</td> </tr> <tr> <td>マリーナシャトル</td> <td>60,870人</td> <td></td> <td>2.7%増</td> </tr> <tr> <td>水上バス</td> <td>20,986人</td> <td></td> <td>23.0%増</td> </tr> <tr> <td>シーバス</td> <td>416,300人</td> <td></td> <td>18.6%増</td> </tr> <tr> <td>ロイヤルウイング</td> <td>140,841人</td> <td></td> <td>22.8%増</td> </tr> </table>	マリーナルージュ	34,610人		7.2%増	マリーナシャトル	60,870人		2.7%増	水上バス	20,986人		23.0%増	シーバス	416,300人		18.6%増	ロイヤルウイング	140,841人		22.8%増					
マリーナルージュ	34,610人		7.2%増																							
マリーナシャトル	60,870人		2.7%増																							
水上バス	20,986人		23.0%増																							
シーバス	416,300人		18.6%増																							
ロイヤルウイング	140,841人		22.8%増																							

### (3) 教育


イベントの開催意義・内容と学習テーマを勘案した推奨ツアーとして、「歴史・港」「環境・科学技術」「生命・アート」「経済・国際」の計38コースを設定し、市立小・中・高・特別支援学校のほぼ全校の児童生徒（508校約205,000人）が参加し、校外学習として活用していただき、次世代を担う子供たちにとって、開港以来の歴史や自然環境の取り組みなどを学習する意義深い取り組みを行いました。

また、横浜市立の学校以外にも横浜の私立学校、町田・相模原・八王子の市立学校にも参加していただきました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ベイサイドエリア・ヒルサイドエリアと周辺施設を組み合わせ、イベントの開催意義・内容と学習テーマを勘案した推奨ツアーを、「歴史・港」「環境・科学技術」「生命・アート」「経済・国際」の計38コースを設定し、市立小・中・高・特別支援学校のほぼ全校の児童生徒が参加し、校外学習として活用した。</u></li> <li>・ <u>横浜市立の学校以外に横浜の私学、町田・相模原・八王子の市立学校も参加した。</u></li> </ul>	<p>市立 508 校 約 205,000 人</p> <hr/> <p>41 校 約 6,000 人</p>
---	---

### (4) 市民力の発揮

約2,600名の運営ボランティア、149団体約4,900人によるベイサイド市民協催、182プロジェクトのヒルサイド市民創発、区民の力で150艘の船を製作した横浜FUNEプロジェクト、市民(500人)の手によるドラマ公演DO-RA-MA YOKOHAMA 150、その他キャンドルカフェ、市民参加プラットホームなど全体で延べ約90,000人の市民がボランティアとして参加し、新たな市民活動グループの結成と活動の継続につながったほか、様々な活動を行っているグループの新たなつながりを促進し、市の重要施策である「市民力の発揮」の推進の礎を作りました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>運営ボランティア</u>：約2,600名のボランティアが、案内サービス、環境美化活動など来場者へのホスピタリティアップを図った。</li> <li>・ <u>ベイサイド市民協催</u>：子ども、国際交流、環境、文化などのテーマごとに、NPOや市民団体をはじめ149団体約4,900人による、ミュージカル、ステージパフォーマンス、展示を実施した。</li> <li>・ <u>ヒルサイド市民創発</u>：公募で集まった市民が、自然・環境・共生などの様々な182プロジェクトを展開した。</li> <li>・ <u>横浜FUNEプロジェクト</u>：横浜港の歴史を彩ってきた実際の船をモチーフにダンボールなどの素材を使って、各区の地区センターや小中学校などにおいて区民の力で150艘の船を製作した。</li> <li>・ <u>DO-RA-MA YOKOHAMA150</u>：企画、演出、出演すべてが市民(500人)の手によるドラマ公演を実施した。</li> <li>・ <u>その他キャンドルカフェ</u>（来場者：311,000人）、<u>市民参加プラットホーム等</u></li> <li>・ <u>区民デー</u> 「Y150」会場内で、各区の区民デーを設け、横浜の様々な地域の特色や魅力をステージイベント等を行って情報発信した。</li> </ul>		<p>市民延べ約16,500人</p> <p>市民延べ約11,000人 見学者10万人強</p> <p>市民延べ約18,600人 見学者約10万人強 各区地区センター 127箇所で作成</p> <p>市民延べ約18,200人 公演；延べ12回</p> <p>市民延べ約18,700人 見学者約7千人</p> <p>市民延べ約4,700人</p> <p>13日間17区が出演 39団体</p> <p>市民延べ約800人</p>
---	--	--



## (5) 環境

新たな会場建設による環境負荷を最小限に抑制し、環境負荷の低減に取り組みました。また、地球環境の保全等環境メッセージを含んだコンテンツの展開に加え、ヒルサイドエリアは、会場全体が環境を考える仕掛けとしました。

さらに、緑化壁の設置、グリーン購入の推進、簡易包装の推進、カーボンオフセットを実施したほか、公共交通機関による来場を促したことや横浜市の廃棄物発電電力（金沢工場から有料施設4か所に給電）の利用により、イベントの運営に伴うCO<sub>2</sub>の排出抑制にも取り組みました。

これら多くの環境への配慮を行うことにより、来場者に「環境への取り組み」の重要性を訴えました。

- ・ 会場設定における配慮：赤レンガ倉庫・大栈橋ホール・トリエンナーレ会場・象の鼻パーク・山下公園など既存施設を活用した会場設定により、新たな会場建設による環境負荷を最小限に抑制し環境負荷の低減に取り組んだ。
- ・ 環境メッセージを含んだコンテンツの展開：アースバルーンにより地球環境保全のメッセージを発信、スーパーハイビジョンシアターで日本の自然の美しさなどを発信。さらに、NISSAN Y150 ドリームフロントでは環境技術の紹介や地球環境を守るために一人ひとりができることに取り組むことを訴求。ENEOS館では、未来のエネルギー利用について子どもたちを中心に学習する場の提供。ヒルサイドエリアは、会場全体が環境を考える仕掛けになっており、多様な視点から環境について考え・行動する数多くの市民創発プロジェクトを展開。
- ・ 会場内での環境配慮装置等の採用・紹介：企業出展や協賛により、燃料電池や電気自動車を展示したほか、ハイブリッド型発電機やウォーターミスト、緑化壁、光触媒テントなどを設置し、来場者に環境技術に触れていただく仕掛け作り。 イベント創造プラットホームの取り組みとして、横浜市の水源地の一つである山梨県道志村の水源涵養林間伐材を使用したベンチづくりを市民参加で行い、生命の源である水について考えていただく機会とするとともに、制作したベンチを会場に設置。
- ・ イベントの制作運営面における配慮：グリーン購入の推進、レンタル・リースによる物品調達、印刷物への環境配慮、省エネルギー、簡易包装の推進、会場建設部材のリサイクル、分別ボックスの設置及び分別啓発、苗木等の配布など一般的な取り組みのほか、道志村の水源涵養林の管理を行うことにより、ヒルサイドシャトルバス運行に伴うCO<sub>2</sub>排出量を相殺するカーボンオフセットを実施。
- ・ 都市型イベントならではの取り組み：公共交通機関による来場を促したほか、廃棄物を処理する際に発生する電力（廃棄物発電電力）を、横浜市資源循環局の協力を得て、同局金沢工場から有料施設4か所に給電してもらうことにより、イベントの運営に伴うCO<sub>2</sub>の排出抑制に取り組んだ。

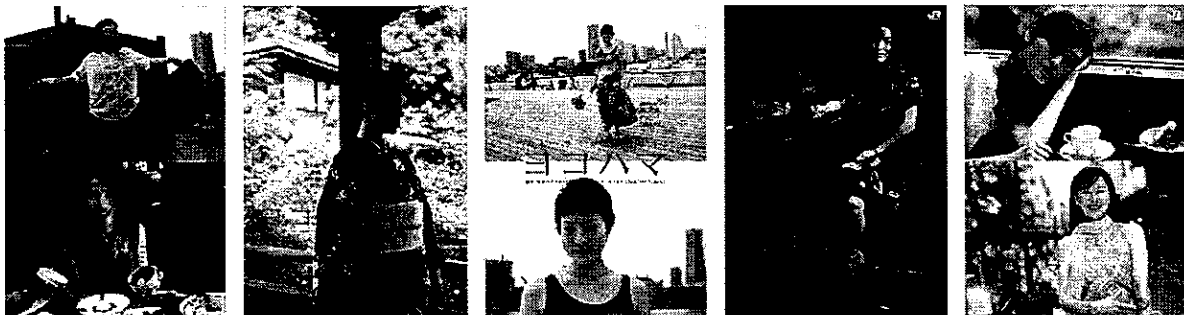


(6) 様々な主体（国・県・他都市・企業等）との連携

① 横浜市との連携

JR デスティネーション、海のエジプト展の共催事業や海フェスタよこはま等の市主催の 150 周年事業と連携・協力しました。また、ヒルサイドとズーラシアの共通券の発行や 18 区紹介事業を実施し、横浜市全体で、150 周年を祝う多くの催しを開催し、その情報を全国発信することにより、横浜の 150 周年の周知と集客に貢献しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR デスティネーション、海のエジプト展 共催事業として、JR デスティネーションでは、全国に横浜・神奈川の紹介を、また海のエジプト展では、「Y150 ベイサイドセット券」の企画や広報宣伝など、連携協力により相互の集客を高めた。</li> <li>・ 市の主催行事との連携 横浜開港 150 周年記念式典、「ヴィジョン・ヨコハマ」公演、世界卓球大会、海フェスタよこはま、トライアスロン、フラワーアートフェスティバルなど市主催の 150 周年事業と連携・協力を行い、相互の集客を高めた。</li> <li>・ 市関連施設との連携 ヒルサイドとズーラシアの共通券を企画し、相互の集客を高めた。</li> <li>・ 18 区紹介事業 赤レンガ倉庫および広場において、各区の紹介、物産・ブランドを紹介。</li> </ul>	<p>JR 前年度 8.9%増 (暫定データ)</p> <p>海のエジプト展 来場者約 70 万人</p> <p>来場者数 約 1,565,000 人</p> <p>7~9 月実績前年比較 ズーラシア 62.2%増</p> <p>来場者数約 125,800 人</p>
--	--



② 他都市との連携

横浜開港当初は生糸の貿易が主流だったことから、2008（平成 20）年 10 月に「絹の道都市間交流連携会」を発足させ、1 都 5 県 37 市町村による物産展（赤レンガ会場テント内）展示、出展（赤レンガ会場）及びシンポジウムを開催するとともに、開港 5 都市（函館、新潟、神戸、長崎）、5 か国（アメリカ、ロシア、フランス、イギリス、オランダ）の展示紹介と物産展及び神奈川県下 32 市町村の物産展を開催し、絹の道を通じて、わが国発展の歴史と横浜港の役割を広く発信したほか、横浜のリーダーシップのもと新たな都市間連携の種を蒔きました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜開港当初は、生糸の貿易が主流だったことから「絹の道都市間交流連携」を発足させ、1都5県37市町村による物産展（赤レンガ会場開国・開港の街）展示、出展（赤レンガ1号館）およびシンポジウムを開催（開港記念会館）</li> </ul> <p>【構成他県市町村】</p> <p>群馬県、前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、富岡市、他2市4町村  埼玉県、本庄市、川越市、熊谷市  長野県、上田市、岡谷市、須坂市、駒ヶ根市他1町  山梨県、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、甲州市、甲斐市、他1町  町田市、八王子市、相模原市、海老名市、厚木市、愛川町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県を6つのブロックに分け、各地域の物産展（赤レンガ会場 開国・開港の街）【神奈川県下 32市町村 ※相模原市は「絹の道」で参加】</li> <li>開港5都市（函館、新潟、神戸、長崎）5か国（アメリカ、ロシア、フランス、イギリス、オランダ）の展示紹介と物産展を開催</li> </ul>	<p>【絹の道関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物産展 35日間約111,000人</li> <li>展示 49日間約67,000人</li> <li>シンポジウム 374人</li> </ul>
--	--

③ 国・神奈川県との連携

防衛省、海上自衛隊、海上保安庁、メキシコ及びコロンビア大使館、海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学等の協力により、様々な機能を持つ船舶の一般公開を行いました。

また、宇宙航空研究開発機構、国土交通省、財務省（関東財務局）、宮内庁、旧郵政省（日本郵政）及び神奈川県からも協力をいただき、多くの市民が、船舶や宇宙に関する展示の一般公開に参加し、船舶や宇宙に対する知識・理解を深めると同時に、横浜の開港は近代日本の開国との共通意識のもと、今後の横浜と国・神奈川県との連携強化につながりました。

<ul style="list-style-type: none"> <li><u>防衛省、海洋研究開発機構他</u> 防衛省・海上自衛隊、海上保安庁、メキシコ及びコロンビア大使館、海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学等の協力により、様々な機能を持つ船舶を一般公開。</li> <li><u>宇宙航空研究開発機構</u> 8月1日から閉幕まで宇宙天文年開催し、RVT（再使用型ロケット実験機）の特別展示、月周回衛星「かぐや」と陸域観測技術衛星「だいち」撮影映像などを公開。</li> <li><u>国土交通省、財務省（関東財務局）</u> 協会事務所用地、ベイサイド会場用地の提供</li> <li><u>宮内庁</u> 徳川将軍家と幕末明治の美術を紹介展示する「大・開港展」に、宮内庁所蔵品を公開（横浜美術館）</li> <li><u>旧郵政省（日本郵政）</u> 3か年にわたり「横浜開港150周年」の記念切手の発行</li> <li><u>神奈川県</u> 「横浜開港百五十年 ー神奈川・世界との交流ー」（神奈川県立歴史博物館） 「日英友好150年の礎を築く第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展」（同上）</li> </ul>	<p>【再掲】</p> <p>公開延べ日数40日  乗船人数  約127,000人</p> <p>来場者数  約35,000人</p> <p>発行部数  38,000部</p> <p>来場者数  約16,000人  約8,900人</p>
---	---

④ 企業との連携

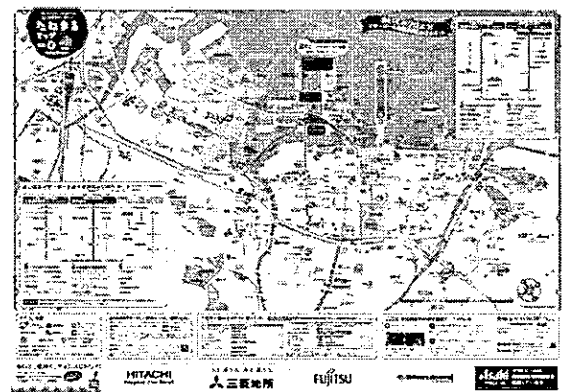
企業（銀行、鉄道、旅行、百貨店、地元企業）からの職員派遣やマスメディア、鉄道各社、横浜に本拠地を置くプロスポーツ企業などの協力による「Y150」の広告宣伝により、今年が横浜の開港、近代日本の開国 150 周年という位置づけを全国に発信しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協会への職員派遣（銀行、鉄道、旅行、百貨店、地元企業）</li> <li>・ 企業による「Y150」の広告宣伝             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川・読売新聞など 4 紙、日経トレンディなど雑誌 10 誌ほか、NHK ほかテレビ・ラジオ等マスメディアを通じて Y150 を紹介</li> <li>・ 鉄道各社による、駅貼ポスター、車内ポスター、イベント列車の運行等での紹介</li> <li>・ 横浜ベイスターズ、横浜 F・マリノス、横浜 FC によるヘルメット、ユニホームでのロゴ掲出や看板掲出などでの紹介等</li> </ul> </li> </ul>	<p>27 企業</p>
---	--------------

(7) 都市プロモーション

マザーポートエリア（周辺地区）及び市内商店街等との連携により、来街者の回遊性を向上させ、イベント開催効果を面的に広げ、未曾有の賑わいをみせるとともに、より横浜のアピールに貢献しました。

- ・ マザーポートエリア（周辺地区）との連携
  - ・ 横浜駅周辺から山下・山手地区をマザーポートエリアとして設定し、回遊ルートやイベント情報の「たねまるマップ」3 期に分けて作成し、24 か所で 165 万枚を配布。
  - ・ マップにより、みどころいっぱいの横浜をテーマ別（アート、歴史、中華街、夜景など）に「ヨコハマ街歩き」を展開。
  - ・ マザーポートエリアでは、有料入場券提示で割引を実施。



- ・ 市内商店街等との連携
  - ・ 市商店街連合会を通じて、市内各商店街でのポスター掲示やのぼり旗を掲出。
  - ・ その他百貨店、ショッピングセンター、ホテル等でのポスターを掲出。

<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>関連施設実績</b> (21年7~9月実績と20年度同期比較) </li> </ul>				
観光施設	市全体	8,572,970人	20年度比	<u>13.4%増</u>
	みなとみらい・桜木町	2,726,148人		<u>9.0%増</u>
	山下・関内・伊勢佐木	1,186,309人		<u>53.6%増</u>
宿泊施設	市全体	1,211,403人	20年度比	<u>0.4%減</u>
	みなとみらい・桜木町	384,989人		<u>0.9%増</u>
	山下・関内・伊勢佐木	349,690人		<u>0.8%増</u>
観光交通機関		638,433人	20年度比	<u>17.2%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>鉄道関係</b> </li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>JR (JR東日本管内の近距離切符発売実績)</b> </li> </ul> </li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>☆ゴールデン期間 (4/24~5/6)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	JR東日本管内	7,055.0万枚	20年度比	<u>1%減</u>
	横浜駅	176.5万枚		<u>2%増</u>
	桜木町駅	44.6万枚		<u>10%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>☆夏休み期間 (7/17~8/18)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	JR東日本管内	17,528.0万枚	20年度比	<u>1%減</u>
	横浜駅	433.0万枚		<u>増減なし</u>
	桜木町駅	101.1万枚		<u>11%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・市営地下鉄 (4~9月乗車人数)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	横浜駅	12,086,272人		<u>4.2%増</u>
	桜木町駅	2,905,299人		<u>12.8%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・みなとみらい線 (4~9月1日乗降客数)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	総数	171,922人		<u>6.4%増</u>
	みなとみらい駅	59,864人		<u>7.2%増</u>
	馬車道駅	34,733人		<u>9.5%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・相模鉄道線 (4~9月乗降客数：除く定期)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	総数	86,702,214人		<u>0.7%減</u>
	横浜駅	40,118,858人		<u>1.5%減</u>
	鶴ヶ峰駅	5,256,135人		<u>0.9%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・東急東横線 (4~8月乗客数：除く定期)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	総数	67,278,324人		<u>0.8%増</u>
	横浜駅	25,535,283人		<u>1.6%増</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>・京浜急行電鉄 (4~9月乗降客数：除く定期)</b> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
	総数	90,530,769人		<u>0.7%減</u>
	横浜駅	28,852,042人		<u>0.3%減</u>

(参考4-2) 開国博 Y150 の開催に伴う各種効果

(1) 誘客効果

開国博 Y150 は、有料入場者数は約 124 万人に止まったものの、無料の周遊会場も含めた会期中の総来場者数は約 717 万人となりました。

2009 年の横浜では、開国博 Y150 をはじめ多くの記念イベントが開催されたほか、象の鼻パーク整備やマリインタワーのリニューアルオープンなど、開港 150 周年にあわせた観光施設の新設などがあり、年間の観光入込客数が初めて 5,000 万人を超え、対前年度 1,175 万人増の 5,428 万人となるなど、多くの人が横浜を訪れました。

(増分の 1,175 万人のうち、開港 150 周年記念事業に伴う集客効果は、1,052 万人となっています。)

観光入込客数内訳 (詳細)

(単位：人)

区分	平成 21 年	平成 20 年	増減	増減率
観光施設等 (日帰り客) 計	38,850,798	37,398,138	1,452,660	3.9%
観光施設	28,174,898	27,186,442	988,456	3.6%
鶴見周辺	949,770	889,274	60,496	6.8%
みなとみらい・桜木町	9,768,715	9,670,379	98,336	1.0%
山下・関内・伊勢佐木町	3,921,442	3,179,892	741,550	23.3%
山手・本牧・根岸	1,856,637	1,825,806	30,831	1.7%
磯子・金沢	6,669,846	6,888,191	△218,345	△3.2%
その他	5,008,488	4,732,900	275,588	5.8%
観光交通機関 (観光船等)	2,032,909	1,943,069	89,840	4.6%
観光イベント	8,642,991	8,268,627	374,364	4.5%
宿泊施設 (宿泊客) 計	4,907,486	5,134,032	△226,546	△4.4%
鶴見周辺	253,253	301,057	△47,804	△15.9%
みなとみらい・桜木町	1,402,534	1,451,335	△48,801	△3.4%
山下・関内・伊勢佐木町	1,566,039	1,591,860	△25,821	△1.6%
山手・本牧・根岸	13,750	14,898	△1,148	△7.7%
磯子・金沢	103,442	126,311	△22,869	△18.1%
その他	1,568,468	1,648,571	△80,103	△4.9%
開港 150 周年に伴う集客効果 計	10,522,657	0	10,522,657	全増
開国博 Y150 入場者累計	7,477,300	0	7,477,300	—
既存施設・イベント重複分	△1,559,930	0	△1,559,930	—
マザーポートエリア集客イベント	4,605,287	0	4,605,287	—
合計	54,280,941	42,532,170	11,748,771	27.6%

観光入込客数推移 (過去 10 年)

(単位：人)

	合計 (a)	観光施設等 (日帰り客)	宿泊客 (b)	宿泊率 (b/a)	対前年増△減 (率)
平成 21 年	54,280,941	49,373,455	4,907,486	9.0%	11,748,771 ( 27.6%)
平成 20 年	42,532,170	37,398,138	5,134,032	12.1%	1,460,582 ( 3.6%)
平成 19 年	41,071,588	36,385,798	4,685,790	11.4%	1,115,597 ( 2.8%)
平成 18 年	39,955,991	35,385,318	4,570,673	11.4%	16,939 ( 0.0%)
平成 17 年	39,939,052	35,391,984	4,547,068	11.4%	1,031,698 ( 2.7%)
平成 16 年	38,907,354	34,535,373	4,371,981	11.2%	4,242,523 ( 12.2%)
平成 15 年	34,664,831	30,529,580	4,135,251	11.9%	128,550 ( 0.4%)
平成 14 年	34,536,281	30,412,232	4,124,049	11.9%	752,672 ( 2.2%)
平成 13 年	33,783,609	29,836,271	3,947,338	11.7%	△41,359 ( △0.1%)
平成 12 年	33,824,968	30,095,282	3,729,686	11.0%	△350,053 ( △1.0%)

※ 調査開始時期：昭和 44 年 (1969 年)

## 横浜市過去最高

# 観光客5000万突破

横浜市内を訪れた観光客数（観光入込客数）が2009年は前年に比べ1175万人増え5428万人と、初めて5千万人を突破、過去最高となった。同年開かれた横浜開港150周年記念イベント「開国博Y150」に伴う効果が1052万人と集客を押し上げた。

（宮崎 功一）

内訳は、開国博効果のほか、観光施設などへの日帰り客が3885万人と前年よりも3.9%増加した。横浜マリニタワいのリニューアルオープンや、前年に改修のため閉鎖していた複数の施設が再開したことなどによって、客足を増やした。国際仮装行列など例年開催されている観光イベントも集客力が伸びた。一方で、景気低迷によるビジネス客の減少や新型インフル

## 開国博効果増 1175万人

エンザの影響で宿泊客数は4.4%減の490万人にとどまった。横浜への観光客数はここ数年、増加傾向をたどり07年、08年は4千万人台で推移。市経済観光局は「09年は開国博イベントも含め開国博Y150の集客が全体を押し上げた。特殊要因がなくても今後も観光客数は増加傾向を続けるのではないかとみている。」

（2010年3月31日 神奈川新聞 掲載）

## 観光客、最多1億8356万人

### 開国博効果で5年連続更新

県は7日、2009年に横浜開港150周年記念イベント「開国博Y150」年比123.8万人増の1億8356万人となり、5年連続で過去最高を更新したと発表した。観光客数の増加は、県内の雇用創出につながり、経済波及効果も期待できることから、県はPR活動などを強化し、観光客のさらなる増加を目指す。

09年は、新型インフルエンザや長引く天候不順などのマイナス要因が多かったが、県内では、横浜市内で

横浜開港150周年記念イベント「開国博Y150」が開かれたことが、観光客数を押し上げた。

地域別では、横浜・川崎地域が、開国博の影響で156万人増の6754万人。箱根・湯河原地域は、円高の影響でアジアを中心とした外国人観光客数が減ったことが響き、133万人減の3196万人で、4年ぶりに前年割れ。

三浦半島地域は、ドラマ「坂の上の雲」の影響で戦艦三笠が保存されている

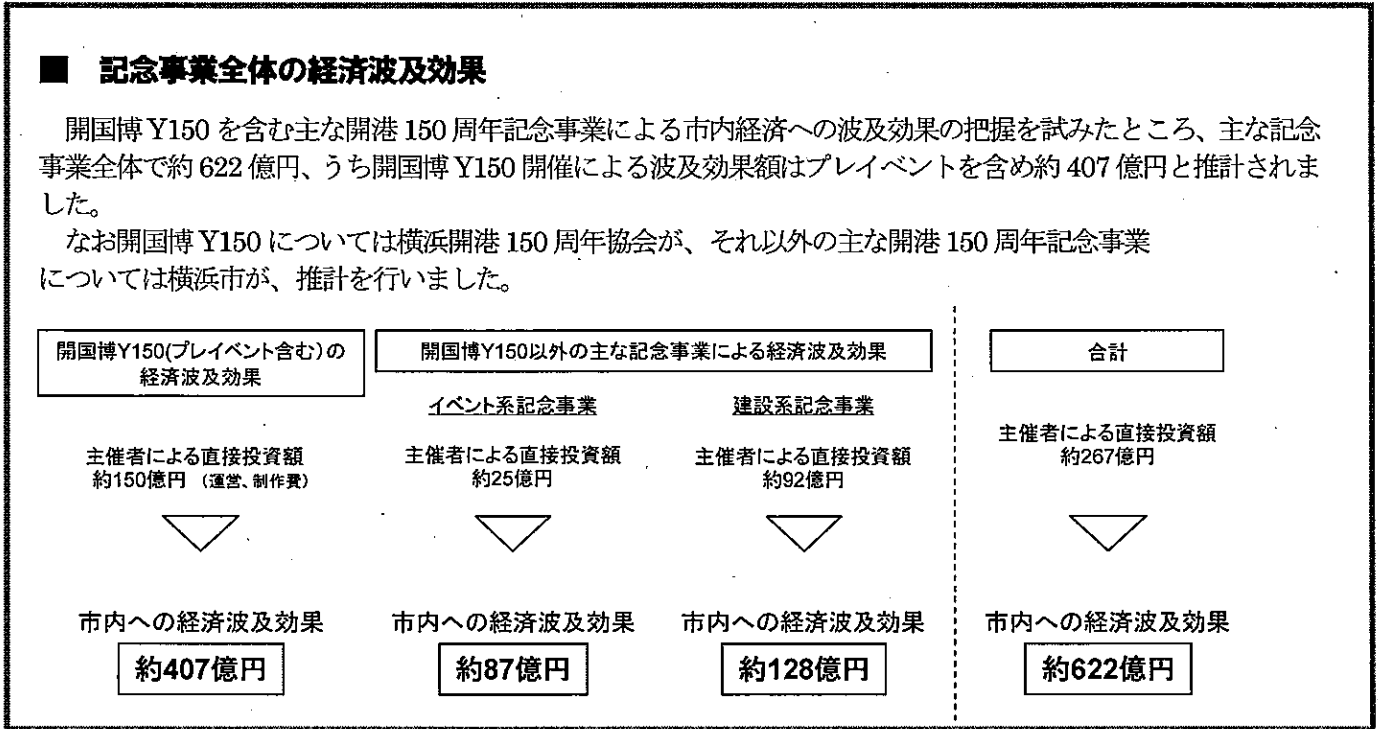
「三笠公園」が40万人増となったが、天候不順の影響で、全体では4万6000人減の1409万人だった。丹沢・大山地域は、ご当地B級グルメを集めた厚木市の「神奈川フードバトル」の集客効果もあり、14万人増の1397万人となった。

県観光課は、「今年もこの勢いが続くよう、各自治体などと協力して神奈川をPRしていきたい」としている。県内観光客数は、県内の市町村が取りまとめた宿泊者数や、海水浴場など観光地の利用者数、イベントに集まった人の数などを県が集計したもの。

（2010年6月8日 読売新聞 掲載）

(2) 経済波及効果

- ・ 開国博 Y150 の開催による市内への経済波及効果は約 407 億円(横浜銀総合研究所推計)と推計。
- ・ 開国博 Y150 以外の主な記念事業の経済波及効果を加えると、市内への経済波及効果は約 622 億円(横浜銀総合研究所推計)と推計。



(注) 端数処理のため合計値と内訳の合計が合わないことがある。

(3) 市民力向上効果

- ・ 開港 150 周年記念事業の一つの特長が「多様な市民参加」
- ・ アンケート結果では、参加者の 70%以上が満足、80%以上が今後も参加したいと回答。(開催期間中実施)

【開国博 Y150 関係市民参加事業 参加者数】(再掲)

[単位: 人]

事業名	実人数	延べ人数	実人数の積算
会場運営ボランティア	2, 587	16, 484	実人数: 参加登録者数
ベイサイド市民協催	7, 511	11, 047	140 団体参加者数+18 区紹介デー
ヒルサイド市民創発	10, 868	18, 628	182 プロジェクト ID 発行数+竹伐採イベント参加者
横浜 FUNE プロジェクト	8, 000	18, 248	パスポート発行部数
DORAMA YOKOHAMA 150	500	18, 674	活動登録者数
横濱・開港キャンドルカフェ	208	208	ボランティア登録者数
マザーポート	615	615	
道志村間伐材プロジェクト	166	339	プラットフォーム推進委員会事業
イベントを元にするネットワーク	750	750	プラットフォーム推進委員会事業
地域 SNS 「ハマっち!」	2, 800	2, 800	プラットフォーム推進委員会事業
合計	34, 005	87, 793	



#### (4) イメージ向上効果

- ・ 全国のネットモニターに対する WEB 調査では、2009 年が横浜開港 150 周年であることの認知度は、市民ではほぼ 100%、全国で見ても 6 割超と、大幅に向上。
- ・ 開国博 Y150 だけでもメディア掲載件数は 6,871 件、広告媒体換算で約 110 億円に相当する効果。
- ・ 都市イメージについても、「国際的」や「おしゃれ」とのイメージの定着とともに「活気がある」などの動的なイメージや、歴史的なイメージも上昇。

#### 【メディア掲載数】

(件)

	平成 20 年度	平成 21 年度	合計
新聞・フリーペーパー	2,128	2,987	5,115
雑誌	259	478	737
テレビ	232	321	553
ラジオ	34	90	124
WEB	28	238	266
その他	17	59	76
合計	2,698	4,173	6,871

#### 【広告媒体換算金額】

(千円)

	平成 20 年度	平成 21 年度	合計
新聞 (フリーペーパー含)	922,268	1,502,533	2,424,801
雑誌	104,061	340,730	444,791
テレビ	937,441	5,191,985	6,129,426
ラジオ	90,213	365,234	455,447
WEB	32,151	177,497	209,648
交通広告	454,905	633,815	1,088,720
その他	17,395	244,887	262,282
合計	2,558,434	8,456,681	11,015,115

注) 算定期間は本格的に広報・宣伝活動を開始した平成 20 年 4 月から「開国博 Y150」が閉幕した平成 21 年 9 月まで。

(参考4-3) 開国博 Y150 開催後の市民の力継承例

(1) 市民等の独自の取組例

取組名	概要
<p>アフターヒルサイドの実施 (市民創発参加団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜動物園ズーラシアにおいて、昨年のヒルサイド会場に参加した市民創発の団体の一部が、市民創発プロジェクトの報告及びその後の活動を紹介するためのプロジェクトを展開。(H22.9.25~10.1)</li> <li>14団体が参加。</li> </ul>
<p>横浜セントラルタウンフェスティバル「Y151」の実施 (Y151 実行委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「横浜セントラルタウン」とも言うべき、「馬車道」「関内」「山下公園通り」「中華街」「元町」「山手」の6つのエリアで、昨年来次世代につながる夢のある未来を創造するための取組みとして実施。(H22.6.4~6)</li> <li>各エリアでのイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>馬車道：馬車道ジャズフェスティバル</li> <li>関内：日本大通り「秋じゃないけど収穫祭」</li> <li>山下公園通り：インターナショナルフリーマーケット、街の記憶写真展</li> <li>中華街：テンプルコンサート、Y151 祝賀パレード</li> <li>元町・山手：元町オリジナルコレクション発表等</li> <li>メイン会場他：音楽祭、ウォークラリー、仮装コンテスト等</li> </ul> </li> <li>実行委員会構成組織：馬車道商店街、関内を愛する会、山下公園通り会、中華街発展会、元町SS会(山手地区含む)、神奈川新聞社、tvk、FM横浜</li> <li>「Y152」実施予定。</li> </ul>
<p>横浜Y. Y 150円商店街の実施 (横浜市商店街連合会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内商店街の各店が選り抜きの150円商品を用意し、商店街全体を150円ショップに見立てるイベントを2009年から実施。</li> <li>今年度は、市内43の商店街で統一開催日として、6月12日・13日、11月27日・28日の2回、また、各商店街でのイベント開催日と連動して実施。</li> </ul>
<p>横浜開港150周年の記念碑の建立 (横浜開港150周年記念碑設置協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「開国博 Y150」を実施した証と横浜の礎を築いた先人の業績への感謝とこれからの横浜の発展に願いを込めて、象の鼻パークに、横浜開港150周年の記念碑を設置。</li> <li>記念碑は、市民、企業、団体の協賛(1口1万円)を得て設置。(H22.12頃から設置開始予定)</li> <li>また、記念碑には、横浜開港200周年に開封するタイムカプセルを設置し、象の鼻パークを訪れるたびに、横浜開港150周年の記憶を思い出しながら、未来の横浜に夢を馳せていただく。</li> <li>タイムカプセルへのメッセージは、小学生及び一般公募。</li> </ul>

(2) 横浜市の取組例

取組名	概 要
<p>みなとみどりサポーター制度の設置 (横浜市港湾局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の皆様「みなと」に対する愛着を深めていただきとともに、横浜らしい水辺の魅力づくりを市民と協働で行うために、象の鼻パークで美化活動等を行うボランティア活動「みなとみどりサポーター」制度の設置。(H22.3.10)</li> <li>開国博 Y150 でご活躍いただいたボランティアのOB (つながりの丘、Y150 たまくす会) も含め、13 団体を認定。</li> <li>活動内容は、清掃、案内ガイド、除草など、各団体が週1回～2箇月に1回程度実施。</li> </ul>
<p>マザーポートエリア活性化推進事業補助 (横浜市 APEC・創造都市事業本部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市では、「文化芸術創造都市」の取組を踏まえつつ、開港 150 周年を契機とした盛り上がりを継承し、引き続き賑わいのあるまちづくりを推進している。市民力や地域力を発揮し、マザーポートエリアの魅力向上と活性化を図るイベント等の事業の一部を支援する制度。</li> <li>平成 22 年度は、芸術・文化・食文化・歴史・まち歩きなど、26 件の多彩な事業に補助することを決定。</li> </ul> <p>《支援事業名》</p> <p>全船協 Week in 帆船に本丸/ヨコハマコスティックフェスティバル 2010/ちぐさアカイブプロジェクト『野毛にちぐさがあった』/第1回関内ハイカラ市/第5回横浜山手芸術祭/「川の駅：大岡川桜棧橋」Eボート・Pボート乗船体験会/市民がつくる・市民がつかう よこはまマザーポートエリアマップ～たねまるマップリニューアル&amp;おもてなし計画/横浜駅東口地下街ポルタ 30 周年記念「横浜市中・高校生吹奏楽 LIVE」/2010 Halloween CATS&amp;KIDS/かながわ花フェスタ 21 第2回アライデザインコンテスト クイーンカップ /「はまおたプロジェクト」～横浜におけるサブカルコンテンツの発信、およびコミュニティの形成に向けたイベントの開催/横濱万国橋覧会/横濱から横浜へ～近代測量図と歴史の旅/みなとみらい秋まつり/大通り公園納涼ガーデンまつり/ガス灯の魅力 PR イベント 2010/結婚はダンゼン横濱プロジェクト/ヨコハマフォトフェスティバル プレイベント 2011/Y151 メリアル春節燈花/クリエイティブシティ・ヨコハマまち歩きガイド / (仮称) ヨコハマリテイジ 山手ウイーク /「駅からハイク」(期間限定型) 横濱駅歴史散歩/第3回横浜ブランドアート Tsyatu コンパニオン大賞展 2010/横濱キッズルックフェ/横浜下町パラダイスマツリ/横浜市政で盆踊り</p>
<p>INVITATION to OPEN YOKOHAMA 2010 の実施 (OPEN YOKOHAMA 実行委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい港の風景、歴史的な建物、中華街や野毛をはじめとする豊かな食文化、ジャズプロムナードなどの音楽イベント、多彩なアートのスポットやクリエイター達の活動・・・こうした横浜ならではのまちの魅力・楽しさを、人との出会いを通して体験してもらいたい。そんな願いを込めて、アート・文化・歴史・食など 200 を超えるさまざまなイベントをまち歩きで楽しくことを提案するために開催。 (H22.9.10～11.3)</li> <li>対象エリア：関内・関外地区を中心とした横浜駅～元町・中華街駅周辺、日の出町駅・黄金町駅周辺</li> </ul>



## 今回の追加の補助金の公益性の考え方

本市としては調停委員会に対し、「仮に市が追加で支援するためには、地方自治法上の公益性の要件を満たすほか、法的妥当性が必要」であると意見し、これらを踏まえ、調停委員会から特定調停法に基づく「公正かつ妥当で経済的合理性を有するもの」として調停条項案が示されました。

調停条項案の提示を受け、本市としては地方自治法232条2項に定める公益上の必要があるものと判断し、調停条項案への合意をするものです。

### 1 事業の公益性

#### 【調停条項案 前文より】

協会が事業主体として実施した「開国博 Y150」をはじめとする横浜開港 150 周年記念事業が、横浜市ないし横浜港の歴史を振り返り、未来への発展を期するという目的を持って行われ、社会的な貢献をしたことを認めつつ

本市は、開国博 Y150 を、横浜開港 150 周年記念事業という本市にとって極めて重要な施策の中核的な事業として位置づけ、「横浜市・横浜港の歴史を振り返り、未来への発展を期する」という公益的な目的で行われたこと。

また、収支問題という残念な結果を残したものの、開催に伴う誘客効果、経済波及効果、広告宣伝効果や市民力向上など、横浜市の発展に寄与する様々な成果をあげたこと。など、極めて公益性の高い事業である。

### 2 本市の事業への関与

#### 【調停条項案 前文より】

本件事業を当初発案し、本件事業について多大な関与と支援をしてきた横浜市

本市は、開港 150 周年記念事業の総括的な立場で、協会設立以前の早い時期から、この事業を発案し、開港 150 周年記念事業の中核的な事業として位置づけるとともに、実施主体となる協会の設立を主導し、市民・企業・団体など多くの関係者に協力を求め、共に事業を実施してきた。

### 3 社会的・道義的責任

#### 【調停委員会の本市の呼出理由】

横浜市は、開港 150 周年記念事業の総括的な立場で、本件事業を発案し、協会の設立を主導し、協会を補助金等で支援してきた経緯があり、社会的・道義的責任があるとも考えられるため、横浜市が利害関係人として参加することが相当である。

「社会的責任」：開国博 Y150 をはじめ、開港 150 周年記念事業という、社会的にも影響の大きい公益的な事業を行い、法的責任がないとの理由で、結果として残った課題解決に取り組まないことは社会的観点から妥当ではない。

「道義的責任」：市は、この事業を発案し、多くの市民や関係者に働きかけ、共に事業を推進したにも関わらず、法的責任がないとの理由で、結果として残った課題解決に取り組まないことは道義的観点から妥当ではない。

これらを重く受け止める必要がある。

### 4 課題解決がされないことによるデメリット

#### (1) 市民意識

収支問題が未解決であると、事業全体がマイナスイメージとなり、協力いただいた方に残念な思いが続くこと。

#### (2) 市政への信頼

社会的・道義的責任を公の存在として果たさないことによる信頼回復の遅れ。

#### (3) 地元経済

博報堂 JV 内の地元企業への支払ができず、市内経済に悪影響

#### (4) 都市ブランド

対外的な横浜のイメージダウンとなり、観光・誘客等に様々なマイナスの影響。

#### (5) 負担増

長引くことによるコスト増

以上のことを総合的に勘案し、「債権者である博報堂 JV も一定の損失を負担すると同時に、本市も概ね 2 分の 1 相当額を補助」し、「本件問題の妥当かつ早期の解決に資するために、調停を成立させる。」との調停委員会からの調停条項案を受け、協会に対して補助を行うことは、公益上の必要性にかなうと判断し、調停条項案に合意するものです。

#### 【参考】

##### 民事調停法

第 11 条 2 調停委員会は、相当であると認めるときは、調停の結果について利害関係を有する者を調停手続に参加させることができる。

##### 特定調停法

第 15 条 調停委員会が特定調停に係る事件の当事者に対し調停条項案を提示する場合には、当該調停条項案は、特定債務者の経済的再生に資するとの観点から、公正かつ妥当で経済的合理性を有する内容のものでなければならない。

## 政令指定都市のイベントで同様の事例

### 1 世界デザイン博覧祭

- (1) 主催：財団法人世界デザイン博覧会協会
- (2) 開催市：名古屋市
- (3) 会期：平成元年7月15日～11月26日
- (4) 入場者数：約1518万人
- (5) 総事業費：約263億2500万円
- (6) 収支不足

名古屋市が、博覧会の諸施設・物件を買取り、約10億3600万円。

【参考】追加の支出に関し住民訴訟が提訴され、最終的に名古屋市勝訴。

「本件契約の締結については、裁量権の逸脱、濫用があったものとは認められず、その他の違法事由も認められない。」

### 2 北九州博覧祭 2001

- (1) 主催：北九州博覧祭協会
- (2) 開催市：北九州市
- (3) 会期：平成13年7月4日～11月4日
- (4) 入場者数：約216万人
- (5) 総事業費：約105億円
- (6) 収支不足

収支不足額 約17.85億円 / 北九州市追加負担 約17.85億円

※ 平成元年以降の政令指定都市が開催した地方博覧会。

---

#### 【参考】

##### ■横浜博覧会

- (1) 主催：財団法人横浜博覧会協会
- (2) 開催市：横浜市
- (3) 会期：平成元年3月25日～10月1日
- (4) 入場者数：約1333万人
- (5) 総事業費：約412億円
- (6) 収支差額：約4.1億円





横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」ベイサイドエリア実施業務委託(平成21年度)

《 内 訳 》

業務内容	数量	単位	金額(円)		増▲減
			概算契約	確定	
1 プロデュース業務	(1)	式	73,192,000	73,192,000	0
総合プロデュース費			(73,192,000)	(73,192,000)	(0)
2 新港8街区事業	(1)	式	992,886,868	884,235,138	△ 108,651,730
撤去工事費			(121,208,545)	(12,556,815)	(△ 108,651,730)
ラ・マシ(会期前パフォーマンス含む)			(659,157,283)	(659,157,283)	(0)
運営			(171,596,040)	(171,596,040)	(0)
NEP映像・役者(歴史展示説明キャスト)			(40,925,000)	(40,925,000)	(0)
3 新港7街区事業	(1)	式	1,158,712,674	1,146,935,518	△ 11,777,156
撤去工事費			(53,540,000)	(26,084,839)	(△ 27,455,161)
コンテンツ①映像制作費(ブログ製作含む)			(400,757,750)	(400,757,750)	(0)
コンテンツ②主催イベント事業費(オープニング、スペシャル)			(65,824,000)	(82,674,000)	(16,850,000)
コンテンツ③バルーン夜間ショー演出費			(411,907,204)	(411,907,204)	(0)
バルーン撤去				(△ 1,171,995)	(△ 1,171,995)
運営			(216,683,720)	(216,683,720)	(0)
ステージ事務局費			(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
4 新港埠頭事業	(1)	式	65,428,000	65,428,000	0
会場施工			(6,600,000)	(6,600,000)	(0)
運営			(58,828,000)	(58,828,000)	(0)
5 象の鼻事業	(1)	式	48,566,289	48,566,289	0
コンテンツ①トリックアート制作費			(17,221,601)	(17,221,601)	(0)
コンテンツ②アートワーク運営費			(14,261,500)	(14,261,500)	(0)
コンテンツ②アートワーク施工費			(17,083,188)	(17,083,188)	(0)
6 山下公園事業	(1)	式	223,783,200	206,933,200	△ 16,850,000
コンテンツ①黒船来航パフォーマンス(1期、2期、3期)			(223,783,200)	(206,933,200)	(△ 16,850,000)
7 マザーポート事業	(1)	式	28,743,000	28,743,000	0
コンテンツ①回遊ルートマップ			(25,883,000)	(25,883,000)	(0)
コンテンツ③マザーポートエリア内プロモーション			(2,860,000)	(2,860,000)	(0)
8 サイン関係事業	(1)	式	100,000,000	100,000,000	0
サイン製作設置、演出事業費			(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
9 運営事業	(1)	式	507,878,100	467,878,100	△ 40,000,000
JV本部ディレクター経費			(89,100,000)	(89,100,000)	(0)
共通運営(警備、清掃、他)			(360,658,100)	(360,658,100)	(0)
什器備品			(18,120,000)	(18,120,000)	(0)
光熱水費			(40,000,000)	(0)	(△ 40,000,000)
10 追加業務			0	171,589,018	171,589,018
通常運営追加費				(129,182,454)	(129,182,454)
危機管理費				(17,978,704)	(17,978,704)
協賛予算案件費				(19,072,050)	(19,072,050)
光熱水費等				(5,355,810)	(5,355,810)
小計			3,199,190,131	3,193,500,263	△ 5,689,868
11 一般管理費	(1)	式	319,919,013	318,783,764	△ 1,135,249
当初概算契約時			(319,919,013)	(319,919,013)	(0)
光熱水費減による減				(△ 4,000,000)	(△ 4,000,000)
撤去工事減額に伴う減				(△ 13,758,570)	(△ 13,758,570)
追加業務に伴う増				(16,623,321)	(16,623,321)
委託費 計			3,519,109,144	3,512,284,027	△ 6,825,117
消費税及び地方消費税			175,955,457	175,614,200	△ 341,257
委託代金額			3,695,064,601	3,687,898,227	△ 7,166,374
調整額					
委託費調整額	(1)	式	(△ 278,728,191)	(0)	(278,728,191)
消費税及び地方消費税			(△ 13,936,410)	(0)	(13,936,410)
調整後					
委託費 計			3,240,380,953	3,512,284,027	271,903,074
消費税及び地方消費税			162,019,047	175,614,200	13,595,153
最終値引き				△ 249,568,201	△ 249,568,201
委託代金額			3,402,400,000	3,438,330,026	35,930,026



## 1 アサツーディ・ケイ

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」ヒルサイドエリア実施業務委託(平成21年度)

《内訳》

業務内容	数量	単位	金額(円)		増▲減
			概算契約	確定	
1 市民創発プロジェクトを中心としたコンテンツ制作開発	(1)	式	179,121,000	145,081,920	△ 34,039,080
創発支援プログラム後半「コンテンツ」作成ワークショップ			(26,196,000)	(21,776,920)	(△ 4,419,080)
「市民創発運営マニュアル」の制作			(1,980,000)	(1,615,000)	(△ 365,000)
伴走体制での個別相談会の実施			(50,400,000)	(38,500,000)	(△ 11,900,000)
ヒルサイドエリアリハーサルの実施			(10,900,000)	(4,570,000)	(△ 6,330,000)
主催者コンテンツ企画および実施			(69,500,000)	(60,205,601)	(△ 9,294,399)
出展者に対する出展制作金残金の支払い			(20,145,000)	(18,414,399)	(△ 1,730,601)
2 「竹の海原」を中心とした会場内施設設備工事	(1)	式	269,435,000	326,210,136	56,775,136
「竹の海原」および「会場内施設」建築・設備工事実施			(238,750,000)	(282,151,963)	(43,401,963)
展示什器・サイン等の開発、設置			(24,285,000)	(21,187,920)	(△ 3,097,080)
会期終了後の撤去工事の実施			(6,400,000)	(0)	(△ 6,400,000)
竹の海原脇テント			(0)	(30,313,800)	(30,313,800)
減額				(△ 7,443,547)	(△ 7,443,547)
3 会場運営詳細計画	(1)	式	303,671,905	301,471,781	△ 2,200,124
会期中の会場全体運営マニュアルの策定			(6,300,000)	(19,257,000)	(12,957,000)
運営スタッフに対する研修の実施			(8,175,000)	(5,425,000)	(△ 2,750,000)
事前整備・事前清掃の実施			(2,900,000)	(3,970,950)	(1,070,950)
会期中の来場者運営及び創発プログラム出展運営の実施			(229,230,000)	(187,852,092)	(△ 41,377,908)
運営備品の選定及び手配			(57,066,905)	(51,633,406)	(△ 5,433,499)
会期中の追加事項			(0)	(36,847,648)	(36,847,648)
上記追加事項のADK負担額			(0)	(△ 3,514,315)	(△ 3,514,315)
4 全体協賛計画	(1)	式	2,280,000	0	△ 2,280,000
協賛目標計画			(880,000)	(0)	(△ 880,000)
企業参加メニューの作成			(1,400,000)	(0)	(△ 1,400,000)
5 全体スケジュール	(1)	式	2,140,000	0	△ 2,140,000
2009年度スケジュール概要			(740,000)	(0)	(△ 740,000)
詳細スケジュール			(1,400,000)	(0)	(△ 1,400,000)
					(0)
6 実施設計書の作成	(1)	式	3,000,000	0	△ 3,000,000
成果物			(3,000,000)	(0)	(△ 3,000,000)
7 その他、上記実施詳細設計策定に必要となる業務全般	(1)	式	15,834,000	2,056,630	△ 13,777,370
業務内容に応じた個別会議の開催			(15,834,000)	(2,056,630)	(△ 13,777,370)
					(0)
8 追加業務			0	24,419,048	24,419,048
公式売店施設工事費				(11,000,000)	(11,000,000)
山崎製パン売店設置費				(4,000,000)	(4,000,000)
シャボン玉(Memorial Rebirth)実施費				(7,619,150)	(7,619,150)
同上端数調整				(△ 102)	(△ 102)
かみなり大王設置費				(1,800,000)	(1,800,000)
9 開幕後のADK負担				19,083,381	19,083,381
主催者テーマコンテンツ費				12,902,400	12,902,400
近隣幼稚園・保育園の封入チラシ等				952,381	952,381
追加動員施策				1,714,285	1,714,285
3会場運営詳細計画におけるADK負担額				3,514,315	3,514,315
小計			775,481,905	818,322,896	42,840,991
委託費 計			775,481,905	818,322,896	42,840,991
消費税及び地方消費税			38,774,095	40,916,145	2,142,050
委託代金額			814,256,000	859,239,041	44,983,041
委託代金額			814,256,000	859,239,041	44,983,041



2 TSP太陽

横浜開港150周年記念テーマイベント交通対策計画策定及び運營業務委託

(内訳)

業務内容	数量	単位	金額(円)		増▲減
			当初契約	確定	
1 事前計画作業費	(1)	式	1,650,000	1,650,000	0
1) マニュアル計画作成費			(1,650,000)	(1,650,000)	(0)
2 開催中運営管理費	(1)	式	217,357,800	190,723,800	△ 26,634,000
1) 総合輸送本部会期中管理ディレ			(24,222,500)	(24,222,500)	(0)
2) ベイサイド会期中管理ディレク			(129,405,000)	(107,205,000)	(△ 22,200,000)
3) ヒルサイド会期中管理ディレク			(62,330,300)	(57,896,300)	(△ 4,434,000)
4) その他経費(通信連絡費)			(1,400,000)	(1,400,000)	(0)
3 募集選考関係費	(1)	式	3,600,000	3,600,000	0
1) 総合輸送本部スタッフ研修日当、他			(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
4 スタッフユニフォーム関係費	(1)	式	190,000	914,000	724,000
1) ディレクターユニフォーム作成費、他			(190,000)	(914,000)	(724,000)
5 全体警備関係費	(1)	式	48,382,200	45,827,130	△ 2,555,070
1) ベイサイド警備関係費			(36,435,000)	(30,917,730)	(△ 5,517,270)
2) ヒルサイド警備関係費			(11,342,400)	(12,548,850)	(1,206,450)
3) 南部市場臨時駐車場警備関係費			(604,800)	(604,800)	(0)
4) ベイサイド事前警備関係費			(0)	(1,755,750)	(1,755,750)
6 シャトルバス関係費	(1)	式	93,092,500	80,868,000	△ 12,224,500
1) ヒルサイドシャトルバス借り上げ費、他			(93,092,500)	(80,868,000)	(△ 12,224,500)
7 サイン関係	(1)	式	3,818,500	4,162,000	343,500
1) ベイサイドサイン関係費			(2,087,500)	(2,004,500)	(△ 83,000)
2) ヒルサイドサイン関係費			(1,731,000)	(2,157,500)	(426,500)
8 交通広報関係費	(1)	式	300,000	300,000	0
1) 交通広報に係る広報宣伝関係費			(300,000)	(300,000)	(0)
9 団体バス駐車場整備	(1)	式	3,000,000	3,500,000	500,000
1) 信号制御システム、他			3,000,000	3,500,000	500,000
10 運営備品・消耗品関係	(1)	式	21,988,100	27,756,670	5,768,570
1) 運営備品関係、他			21,988,100	27,756,670	5,768,570
11 団体バス予約センター	(1)	式	25,568,150	25,568,150	0
1) 予約システム			1,050,000	1,050,000	0
2) 機器類			1,650,000	1,650,000	0
3) 電話機器			385,000	385,000	0
4) 人件費			16,843,150	16,843,150	0
5) 事務局運営経費			1,150,000	1,150,000	0
6) 事務局運営経費			4,490,000	4,490,000	0
12 ベイサイド歩行者整理誘導	(1)	式	146,824,750	136,354,150	△ 10,470,600
1) 管理ディレクター関係費			33,337,000	30,061,000	△ 3,276,000
2) 運営スタッフ関係費			10,688,500	9,573,400	△ 1,115,100
3) スタッフユニフォーム関係費			65,000	65,000	0
4) 警備関係費			94,934,250	88,854,750	△ 6,079,500
5) 運営備品・消耗品関係			7,800,000	7,800,000	0
13 無料回遊シャトルバス	(1)	式	69,708,000	69,708,000	0
1) 実施計画作成費			1,990,000	1,990,000	0
2) バス関係費			39,425,000	39,425,000	0
3) 運営管理費			26,728,000	26,728,000	0
4) サイン看板関係費			300,000	300,000	0
5) 備品関係費			429,000	429,000	0
6) 無線関係費			836,000	836,000	0
14 ヒルサイド内覧会・開会式	(1)	式	0	3,498,100	3,498,100
1) 内覧会シャトルバス(中山駅)				736,000	736,000
2) 内覧会シャトルバス(鶴ヶ峰)				575,000	575,000
3) 内覧会シャトルバス(遊撃)				241,500	241,500
4) 内覧会シャトルバス(園内)				115,000	115,000
5) 内覧会ズーラシア2P運営費				427,600	427,600
6) 開会式シャトルバス				1,081,000	1,081,000
7) ボランティア研修シャトル				322,000	322,000
小計			635,480,000	594,430,000	△ 41,050,000
諸経費(10%)	(1)	式	63,548,000	59,443,000	△ 4,105,000
委託費計			699,028,000	653,873,000	△ 45,155,000
消費税及び地方消費税			34,951,400	32,693,650	△ 2,257,750
委託代金額			733,979,400	686,566,650	△ 47,412,750



## 債務超過の増理由である追加イベントの経費一覧

### 1 博報堂JV関係

- ・ 通常運営追加経費 129,182,454 円・・・(P95 参照)
- ・ 危機管理費 17,978,704 円・・・(P96 参照)
- ・ 協賛予算案件費 19,072,050 円・・・(P96 参照)

通常運営追加経費 129,182,454 円

[単位:円(税抜)]

	内 容	金 額
はじまりの森	・ 黒船トリックアート増設	5,195,643
	・ ラマシン搭乗体験(小学生対象の搭乗体験)	5,988,840
	・ ナイトプログラム(週末ライブの実施)	5,589,891
	・ イルミネーション(円環LED)	4,937,213
	・ その他(出口スタッフ増、各種映像放映等)	15,247,911
トゥモローパーク	・ 未来シアター2話3話連続上映	7,443,920
	・ 大道芸(1日2~3回大道芸実施)	2,069,100
	・ その他(舗装、サイン・パネル制作等)	4,168,851
ドリームフロント	・ 海洋研究開発機構ブース設置	1,330,442
	・ フェンス・植木	2,349,536
	・ レイアウト変更	1,338,876
	・ 正面サイン	1,332,196
	・ その他(誘導サイン、たねまるサイン等)	2,531,317
マザーポート	・ マザーマップVOL2増刷り	2,435,488
	・ その他(マザーポートスタンド・ステーション設備)	962,479
共通	・ 開幕式(8街区、赤レンガ、山下)	4,081,427
	・ 黒船乗船 追加実施	26,250,274
	・ その他(横断幕、看板、仮囲い延長等)	2,356,431
ラ・マシン	・ パレード警備増	44,222,114
	・ その他(地盤調査等)	2,268,750
うち営業管理費	・ 営業管理費は別途集計	▲12,918,245
	経費計	129,182,454

危機管理費 17,978,704円

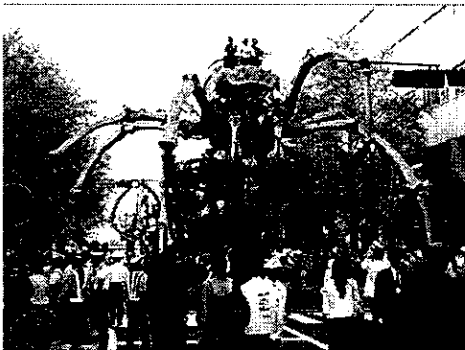
[単位：円(税抜)]

内 容	金 額
・黒船警戒艇	3,907,424
・新型インフルエンザ対策	15,869,150
・うち営業管理費(営業管理費は別途集計)	▲1,797,870
経費計	17,978,704

協賛予算案件費用 19,072,050円

[単位：円(税抜)]

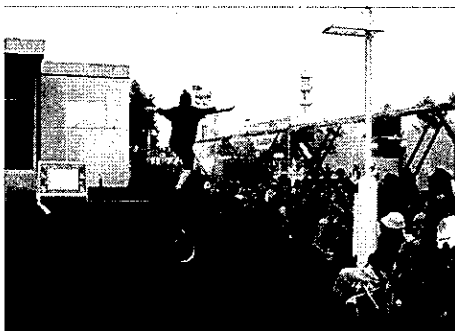
内 容	金 額
基本サイン	5,789,685
横浜ショーケース	8,800,000
その他(風力発電、郵便事業補助事業バント)	6,389,570
・うち営業管理費(営業管理費は別途集計)	▲1,907,205
経費計	19,072,050



ラ・マシンパレード



海洋研究開発機構ブース



大道芸



ラ・マシン搭乗体験



## 2 アサツォーディ・ケイ関連

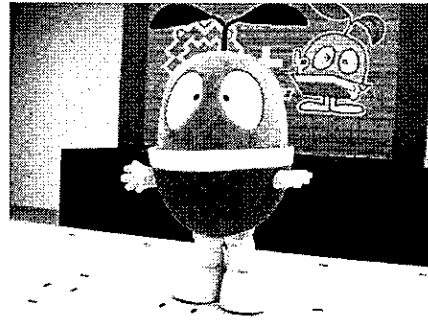
追加イベント等増額 45,677,551円

[単位：円]

事業名	内 容	金 額
セグウェイに乗って ヒルサイド体験	・セグウェイ本体リース料	2,880,000
	・人件費(事前講習、本番、内覧会)	3,452,200
	・企画費、マニュアル作成費等	450,000
	・その他(施工関係費、備品等)	1,632,200
ハー！たねまる体操	・体操企画費、制作費	940,000
	・人件費(ディレクター、着ぐるみスタッフ等)	2,720,800
	・その他(演出費、音楽制作費等)	339,200
巨大バッタ体内 体験ツアー	・人件費(進行スタッフ、アルバイト)	336,000
	・その他(ステッカー制作等)	32,000
いこい広場遊具	・遊具購入実費	120,000
建築等追加業務・追加動員対策	・3会場運営詳細計画におけるADK負担額等	5,228,600
近隣への広報	・近隣タクシー会社への販促、園内看板設置等	952,381
公式売店設置費	・公式売店設置に係る建設及び撤去工事	11,000,000
山崎製パン売店設置費	・山崎製パン売店設置に係る建設及び撤去工事	4,000,000
シャボン玉企画実施費	・シャボン玉企画(Memorial Rebirth)実施	7,619,150
かみなり大王設置費	・かみなり大王設置に係る経費	1,800,000
消費税等		2,175,020
	経費計	45,677,551



セグウェイに乗ってヒルサイド体験



たねまる体操



かみなり大王



シャボン玉企画(Memorial Rebirth)



# 横浜市が参加した調停の市の内部での報告書

## 特定調停参加報告書

－ (財) 横浜開港 150 周年協会・(株) 博報堂 J V (第 4 回調停) －

### ■事件内容

事件番号 平成 22 年 (特ノ) 第 1 号  
 事件名 特定調停 (債務弁済協定) 事件  
 当事者名 申立人 財団法人横浜開港 150 周年協会  
 相手方 株式会社博報堂 J V

■参加日時 平成 22 年 8 月 3 日 (火) 午後 3 時 00 分

■場 所 横浜地方裁判所民事調停室 (3 階)

■参加者 市指定代理人 弁護士 池田直樹

### [調停の概要]

- ・調停委員から、市は総括的な立場で協会を補助金等で支援してきた経緯があり、社会的・道義的責任があるとも考えられるので、利害関係人として呼んだ旨の説明があった。
- ・調停委員から、今回の呼び出しは民事調停法第 11 条第 2 項に基づく強制参加である旨の説明があった。
- ・調停委員から、市の支援の可能性や調停に臨むスタンスの確認があった。
- ・市から、基本的には協会の債務整理の問題であると認識しており、呼出しを受けたため、調停委員会の意見等を聞くスタンスである旨説明した。
- ・市から、仮に追加の支援を検討するには、市会の議決や地方自治法第 232 条で定める公益性を満たすほか、市長の裁量権の範囲と認められる法的妥当性を有することが必要である旨の説明をした。
- ・調停委員から、ADK と TSP 太陽の特定調停は当面併合せず並行して進め、市に利害関係人としての参加を求める旨の説明があった。
- ・調停委員から、1000 万円以下の小額債権は支払いを認めたらどうかとの発言があった。
- ・今後の調停期日は、以下のとおりとなった。

8 月 31 日	…… TSP 太陽	第 2 回	14 時	
		博報堂 J V	第 5 回	15 時
9 月 7 日	…… ADK	第 1 回	13 時	
9 月 27 日	…… TSP 太陽	第 3 回	14 時	
		ADK	第 2 回	15 時
		博報堂 J V	第 6 回	16 時

以上

## 特定調停参加報告書

－ (財) 横浜開港 150 周年協会・(株) 博報堂 J V (第 5 回調停) －

### ■事件内容

事件番号 平成 22 年 (特ノ) 第 1 号  
事件名 特定調停 (債務弁済協定) 事件  
当事者名 申立人 財団法人横浜開港 150 周年協会  
相手方 株式会社博報堂 J V

■参加日時 平成 22 年 8 月 31 日 (火) 午後 3 時 00 分

■場 所 横浜地方裁判所民事調停室 (3 階)

■参加者 市指定代理人 弁護士 池田直樹

### [調停の概要]

- ・博報堂より、平成 22 年 8 月 31 日付け準備書面 (3) を提出。また、J V の各会社の横浜市宛嘆願書を事実上提出。
- ・市から、準備書面を提出し、市と本件事業の関わり、協会の特定調停の当面の課題、市の追加支援の可能性について説明。
- ・協会より、少額債権、今後の運営費を支払うことを前提とした仮の配当率の表を提出。破産配当率は 35: 7%。
- ・調停委員から、以下の案を関係者が持ち帰って検討するよう打診があった。
  - ①倒産处理的解決なので、1,000 万円以下の少額債権は一括弁済
  - ②共益的債権は随時弁済
  - ③現在の配当率 35. 7% の残 64. 3% の 1 / 2 の 32. 15% について横浜市が補助金支出で支援する。
  - ④残 64. 3% の 1 / 2 の 32. 15% について各債権者が免除する。
  - ⑤条項としては、確定した債権額全額の支払義務を認めて、一定の時期までに協会が 67. 85% を支払えば残免除。横浜市は協会に対して補助金を支出する。
- ・今後の調停期日は、以下のとおりとなった。

9 月 27 日 (第 6 回)	16 時～
10 月 12 日 (第 7 回)	10 時 30 分～
10 月 26 日 (第 8 回)	10 時 30 分～

以上

## 特定調停参加報告書

－ (財) 横浜開港 150 周年協会・(株) 博報堂 J V (第 6 回調停) －

### ■事件内容

事件番号 平成 22 年 (特ノ) 第 1 号  
事 件 名 特定調停 (債務弁済協定) 事件  
当事者名 申立人 財団法人横浜開港 150 周年協会  
相手方 株式会社博報堂 J V

■参加日時 平成 22 年 9 月 27 日 (月) 午後 3 時 00 分

■場 所 横浜地方裁判所民事調停室 (3 階)

■参加者 市 代 理 人 高橋事業本部長、川合課長、神部課長、田口補佐

### [調停の概要]

- ・協会より、ドラマヨコハマに対する弁済を行ったことを報告。
- ・協会より、ドラマヨコハマの支払い及び記念コインの販売事業の収入増などにより、予想配当率が変わったため、横浜市の支援を前提とする配当率 67.9%となる配当表を提出。
- ・調停委員会より、今後のスケジュールについて以下のとおり説明
  - ①次回期日 (10 月 12 日) に調停委員会から調停案を勧告
  - ②次々回期日 (10 月 26 日) に調停案に対する当事者の回答を確認
  - ③調停成立の見込みが立てば、以後の期日を、追って指定とし、横浜市会の調停案の承認決議を待つ
  - ④債権者が了解できない、若しくは市会の承認が得られない場合は、不調により調停手続きを終了

以上

## 特定調停参加報告書

－ (財) 横浜開港 150 周年協会・(株) 博報堂 J V (第 7 回調停) －

### ■事件内容

事件番号 平成 22 年 (特ノ) 第 1 号  
事 件 名 特定調停 (債務弁済協定) 事件  
当事者名 申立人 財団法人横浜開港 150 周年協会  
相手方 株式会社博報堂 J V

■参加日時 平成 22 年 10 月 12 日 (火) 午前 10 時 30 分

■場 所 横浜地方裁判所民事調停室 (3 階)

■参加者 市指定代理人 弁護士 池田直樹

### [調停の概要]

- ・ 協会より、第 5 準備書面を提出し、ADK 及び T S P 太陽に対する平成 21 年度の分割払い金の支払いについて説明。
- ・ 協会より、チケット訴訟の進捗状況を報告。
- ・ 調停委員会より、ADK 及び T S P 太陽の調停の状況を踏まえ、10 月 14 日頃までに勧告案を示す意向である旨の説明。
- ・ 調停委員会より、調停の勧告案が示されたあとに、各当事者が検討し、10 月 26 日の期日に諾否を回答するよう指示。
- ・ 協会より、期日間にチケット訴訟の和解の状況を調停委員会及び各債権者あてに報告する旨を説明。
- ・ 次回の調停期日は 10 月 26 日 (第 8 回) 午前 10 時 30 分となった。

以上

## 特定調停参加報告書

— (財) 横浜開港 150 周年協会・(株) 博報堂 J V (第 8 回調停) —

### ■事件内容

事件番号 平成 22 年 (特ノ) 第 1 号  
事件名 特定調停 (債務弁済協定) 事件  
当事者名 申立人 財団法人横浜開港 150 周年協会  
相手方 株式会社博報堂 J V

■参加日時 平成 22 年 10 月 26 日 (火) 午前 10 時 30 分

■場 所 横浜地方裁判所民事調停室 (3 階)

■参加者 市指定代理人 弁護士 池田直樹

### [調停の概要]

- ・ 調停委員会より、博報堂 J V は以下の条件であれば修正勧告案を受けて、調停を受諾することが可能との説明。
  - ① 博報堂 J V として 70% 以上の配当率を確保。J V 内部の分配については J V 内で処理。
  - ② 他の債権者の意向に拘らず調停を成立させる。
  - ③ 他の債権者に 70% 以上の配当を行う場合 (確定判決に基づく支払いを除く)、博報堂 J V にも同率で配当。
  - ④ 協会が破産して、破産管財人に否認されることを避けるため、横浜市から博報堂 J V に直接支払って欲しい。
- ・ 調停委員会より、本日の調停を踏まえ、修正勧告案を明日以降に示す。当事者はそれぞれこれに回答。回答期限は 11 月 5 日。

以上





## 協会が減額を求めた要因

◆ 調停委員会より困難とされましたが、協会としては当初以下の考えで交渉に臨みました。

1 博報堂JVに対しては、業務の遂行にあたり、大手広告代理店としての経験を活かし、プロとしての実力を発揮しながら業務を実施することを期待していたが、実際にはそうならなかった。

その点を概算契約の査定として評価し、減額すべきである。

項目	減額主張額	根拠
Y150 トゥモローパーク	3,400 万円	・各コンテンツ間の運用スケジュール調整等
アニメBATON	3 億円	・「1 話完結 3 部作」と「1 話の長編を 3 分割」
ラ・マシン①	4 億 1,500 万円	・協会の当初想定額との差額
ラ・マシン②	4,900 万円	・プレイベント実施に伴う、警備員人件費等追加経費
追加イベント	1 億円	・コンテンツ追加に伴う経費
プロデュース費	1 億 1,600 万円	・全体プロデュース能力への期待
協賛金獲得不達成	7 億 600 万円	・協賛金獲得への努力不足
解体・撤去費	1 億 5,900 万円	・他業者による実施
合計	18 億 7,900 万円	

2 協会の債務超過についての対応

協会の資産では債権者に対する債務を支払うことはできないので、債権者に対応を求める。

(平成22年12月10日ヒアリング)



平成19年度から平成22年度までの協会の収支

「平成22年度(見込み)」は、調停勧告案に基づき、以下の考え方により、算定した。

- ・ 協会の債務については、その確認された数値としたこと
- ・ 入場料収入は、これまでの全額回収前提ではなく、債務超過額に計上等

[単位:千円]

	H19年度	H20年度	H21年度	3カ年合計	H22年度(見込み)	総計	(補足)平成22年度収支状況の説明
<b>記念テーマイベント</b>							
支 出	392,196	4,338,715	7,580,419	12,311,330	193,128	12,504,458	
ベイサイドステージ	77,605	2,706,900	3,402,400	6,186,905	注1 166,155	6,353,060	注1 【ベイサイドステージ】博報堂JVのH21年度契約金額確定に伴う増(調停条項案に基づく)調停勧告案3,438,330千円-(概算契約金額3,402,400千円-撤去工事別発注130,225千円)=166,155千円
ヒルサイドステージ	177,870	838,732	814,256	1,830,858	注2 82,573	1,913,431	注2 【ヒルサイドステージ】アサツーディ・ケイの調停勧告案に基づくH21年度契約金額の増調停勧告案652,721千円-(概算契約金額814,256千円-支払済額206,518千円-撤去工事別発注37,590千円)=82,573千円
交通輸送対策	3,973	66,574	733,979	804,526	注3 ▲47,413	757,113	注3 【交通輸送対策】TSP太陽の調停勧告案に基づく平成21年度契約金額の増調停勧告案121,552千円-(H21年度TSP契約金額733,979千円-支払済額565,014千円)=▲47,413千円
入場券販売管理・入場券製作	11,986	243,605	313,519	569,110		569,110	
施設・物品協賛	0	0	528,307	528,307		528,307	
プロデューサー等委託	68,250	169,890	119,650	357,790		357,790	
情報センター	0	71,916	220,000	291,916		291,916	
協会主催市民参加事業	31,707	65,960	138,091	235,758		235,758	
ボランティアセンター	0	59,955	94,500	154,455		154,455	
業務奨励金	0	0	67,890	67,890	注4 ▲8,187	59,703	注4 入場料収入未回収による業務奨励金の減67,890千円-59,703千円=▲8,187千円
共催事業等	0	0	125,000	125,000		125,000	
教育サポートセンター	0	21,579	36,363	57,942		57,942	
全体運営費	20,805	93,604	986,464	1,100,873		1,100,873	
収 入	396,464	4,389,634	5,397,997	10,184,095	▲226,500	9,957,595	
横浜市補助金	372,000	2,772,460	2,307,245	5,451,705		5,451,705	
入場料収入	0	973,618	1,483,263	2,456,881	注5 ▲226,500	2,230,381	注5 入場料収入未回収分▲237,101千円+販売奨励金減額8,309千円+仮受金相殺による増2,292千円=▲226,500千円
協賛金等	24,464	643,556	1,607,489	2,275,509		2,275,509	
<b>広報宣伝</b>							
支 出	153,818	939,380	751,062	1,844,260	0	1,844,260	
広告宣伝プロモーション関連	91,580	257,547	153,288	502,415		502,415	
広域広報	0	330,000	168,186	498,186		498,186	
メディア活用広報	0	180,651	231,033	411,684		411,684	
地域広報	0	171,182	198,555	369,737		369,737	
その他広報宣伝活動費	62,238	0	0	62,238		62,238	
収 入	153,818	939,380	751,062	1,844,260	0	1,844,260	
横浜市補助金	143,275	841,625	540,190	1,525,090		1,525,090	
協賛金等	10,543	97,755	210,872	319,170		319,170	
<b>事務費</b>							
支 出	312,491	557,493	640,827	1,510,811	137,165	1,647,976	
人件費	190,443	330,658	301,934	823,035		823,035	
物件費(管理費等)+賛助会員事業	122,048	226,835	338,893	687,776	注6 137,165	824,941	注6 平成22年度 協会事務費の計上137,165千円(協会人件費44,783千円、DO-RA-MA追加支援支出29,844千円、委託費・賃借料・弁護士報酬等事務費62,538千円)
収 入	312,491	557,493	476,295	1,346,279	34,280	1,380,559	
横浜市補助金	291,240	508,082	419,883	1,219,205		1,219,205	
協賛金等	21,251	49,411	56,412	127,074	注7 2,280	129,354	注7 平成22年度 協会収入の計上2,280千円(記念メダル販売収入2,208千円、雑収入72千円)
出えん金取崩し					注8 32,000	32,000	注8 出えん金の取崩しによる増32,000千円
<b>合計</b>							
支 出(総事業費)	858,505	5,835,588	8,972,308	15,666,401	330,293	15,996,694	
収 入	862,773	5,886,507	6,625,354	13,374,634	▲192,220	13,182,414	
横浜市補助金	806,515	4,122,167	3,267,318	8,196,000	0	8,196,000	
入場料収入	0	973,618	1,483,263	2,456,881	▲226,500	2,230,381	
協賛金等	56,258	790,722	1,874,773	2,721,753	2,280	2,724,033	
出えん金取崩し					32,000	32,000	
未確定額(債務超過額)	4,268	50,919	▲2,346,954	▲2,291,767	▲522,513	▲2,814,280	収支不足額(▲2,577,179千円)、入場料収入未回収分(▲237,101千円)